

口頭発表 3月25日(土) (Oral Presentation, 25 March, Saturday Afternoon)

Time	Room I JES 植物生理生態	Room A EAFES EAFES Plenary Symposium	Room B JES 生態系管理	Room C JES 動物個体群	Room D JES English
14:00	JI101 熱帯樹木の形態と樹高成長効率 *饗庭正寛(京大・生態学研究センター)・中静透(総合地球環境学研究所)		JB101 刈り取り時期の違いによる放棄草原の植生変化 *小路敦・平野清・中西雄二(九州沖縄農業研究センター)	JC101 ニホンジカにより更新を阻害された林地の植物現存量 *田戸裕之・伊藤直弥・桑野泰光(山口県林業指導センター)・細井栄嗣(山口大・農)	JD101 Diversity-stability relationships in a system of a herbivore and many species of plants. *Toshiyuki Namba (Osaka Pref. Univ.), Ikumi Niwa (Osaka Women's Univ.), Norio Yamamura (Kyoto Univ.)
14:15	JI102 タイの落葉フタバガキ林におけるフェノロジーと水利用 *三浦優太・野瀬正・岡田直紀(京大・農)・Somkid Siripatanadilok・Teera Veenin(カセサート大学)		JB102 畑地の緑肥間作の導入が大型土壌動物群集および作物の生育・収量に及ぼす影響 *藤田正雄(自農セ・農試)・藤山静雄	JC102 トガリネズミ二種の集団遺伝学的特性とメタポピュレーション理論 *大館智氏・内藤由香子(北大・低温研)	JD102 The influence of immune cross-reaction on epidemic patterns in a mathematical model of dengue epidemiology. Ben Adams (Kyushu University)
14:30	JI103 キナバル山の熱帯山地林樹種の最大樹高と材解剖特性・水分生理特性との関係 *清野達之・北山兼弘(京大・生態研センター)・杉原正通(筑波大・環境)・岡田直紀(京大・農)		JB103 生物標本が語る琵琶湖生態系100年史:安定同位体による食物網動態解析 *奥田昇(京大・生態研センター)・小宮竹史・加藤義和・奥崎穰・堀道雄(京大・理)・陀安一郎・永田俊(京大・生態研センター)	JC103 DNA分析と安定同位体比分析によるアマミヤマシギの集団構造の解析 *江田真毅(学振)・三原正三(九大・比文・学振)・阿部慎太郎(奄美野生生物保護センター)・鳥飼久裕・木村健一(奄美野鳥の会)・高原建二(沖縄県立博物館)・小高信彦(やんばる野生生物保護センター)・小池裕子(九大・比文)	JD103 Wolbachia, r eproductive parasitism and gene flow distortion. *Arndt Telschow, Norio Yamamura (Center for Ecological Research, Kyoto University), John H. Werren (University of Rochester)
14:45	JI104 落葉広葉樹における水分通導器官の形成とフェノロジーの関係 *高橋さやか・野瀬正・岡田直紀(京大・農)		JB104 トキの採餌環境再生に向けて:水田の栽培管理形態と餌生物量の評価 *大石麻美・鈴木孝子(新潟大・自然)・浅野圭菜・石間妙子・田中将徳・永瀬弘喜(新潟大・農)・関島恒夫(新潟大・自然)	JC104 シオダマリミジンコ (Tigriopus japonicus)のメタ個体群における局所個体群動態の空間的同調性 *白鳥和佳子(北大・院・地球環境)・野田隆史(北大・地球環境)	JD104 cancel
15:00	JI105 つる植物における主根と不定根の水分供給としての役割 *鎌倉真依(奈良女大・院・人間文化)・野原精一(国立環境研究所)・古川昭雄(奈良女大・共生科学研究センター)		JB105 農業地での生態系保全に関する基礎的研究 -青森県十和田市の耕作水田を利用するカエルを対象として- *渡辺一哉・堀内大数・加藤布美子・窪桂一郎・嶋栄吉・堤聡(北里大・獣医畜産)	JC105 高知県物部川における放流ウナギ2群の個体群過程 *立川賢一(東大・海洋研)・中島敏男(高知県水産試験場)	JD105 cancel
15:15	JI106 大気中CO2濃度の増加が落葉樹稚樹の蒸散特性と葉柄道管構造に与える影響 *江口則和・森井紀子(北大・院・環境)・上田龍四郎(北海道ダルトン)・高木健太郎(北大・生物圏セ)・船田良(農工大・院・環境資源)・日浦勉・笹賀一郎・小池孝良(北大・生物圏セ)		JB106 都市近郊の水草一分布と生物群集への貢献 *大槻真紀・小池文人(横国大・院・環境情報)	JC106 四国太平洋岸のスナガニ属3種の生息場所利用、生理的コンディションと種の置き換わり *真野泉(愛媛大・院/敬和学園高校)・柳澤康信(愛媛大・理)・大森浩二(愛媛大・沿岸環境科学研究センター)	JD106 Photosynthetic activity of temperate seagrass species in Akkeshi bay, Hokkaido, Japan. *Maria Luisa Sasil-Orbita, Hiroshi Mukai (Akkeshi Marine Station, Hokkaido University)

口頭発表 3月25日(土) (Oral Presentation, 25 March, Saturday Afternoon)

Time	Room E JES 群落	Room F JES 外来種	Room G JES 行動	Room H JES 進化
14:00	JE101 動的全球植生モデル SEIB-DGVMによる、陸面生態系の変動予測 *佐藤永 (FRCGC-JAMSTEC)・伊藤昭彦 (FRCGC-JAMSTEC)・甲山隆司 (FRCGC-JAMSTEC/北大・院)	JF101 外来魚の侵入が底生動物群集に与えた影響—山梨県内の自然湖沼を例に10年間のデータを検討 *平林公男 (信州大)・吉澤一家・有泉和紀 (山梨衛研)・吉田雅彦 (山梨県短)・風間ふたば (山梨大)	JG101 ニホンミツバチ概日リズムに及ぼす温度効果 *淵側太郎・兵地梓・清水勇 (京大・生態研センター)	JH101 溪流沿い植物の狭葉化現象と光合成効率 *野村尚史・瀬戸口浩彰 (京大・院・人環)・高相徳志郎・安田恵子 (総合地球環境学研究所)
14:15	JE102 東京湾小櫃川河口干潟における塩湿地植生 *矢部徹 (独・国環研・生物圏)・金子是久 (財・日本生態系協会)・小田倉碧 (茨城大・理工)・野原精一 (独・国環研・生物圏)	JF102 淀川におけるオオクチバスの食性について *内藤馨・平松和也 (大阪府水生生物センター)	JG102 マルハナバチの採餌経験による他個体への反応の違い:「先客」が好まれる場合・疎まれる場合 *川口利奈・大橋一晴・徳永幸彦 (筑波大・生命環境科学)	JH102 植食者群集に対するヤナギの遺伝変異の伝播と生長へのフィードバック *林珠乃・大串隆之 (京大・生態研センター)
14:30	JE103 森林のパッチモザイク構造と過去40年のギャップ履歴 真鍋徹 (北九州博物館)・河原崎里子 (成蹊大学)・相川真一 (茨城大)・*島谷健一郎 (統計数理研究所)	JF103 照葉樹林に侵入した外来種ナギとナンキンハゼの分布拡大 *前迫ゆり (奈良佐保短大・生態)・名波哲 (大阪市大・院・理)・神崎護 (京大・院・農)	JG103 メス精子貯蔵器官と精子競争からみた繁殖戦略の進化 *中原美理 (東大・農学生命)・椿宜高 (国立環境研)	JH103 生殖干渉が植食性昆虫の寄主範囲を狭める 西田隆義 (京大・農)・高倉耕一 (大阪市環科研)・*巖圭介 (桃山学院大)
14:45	JE104 徳之島亜熱帯林の林分構造に対する台風の影響 西修平・神岡新也・慶田祥子・*米田健・水永博己 (鹿児島大・農)	JF104 セイヨウオオマルハナバチの野外における空間分布とその季節変化 *国武陽子・今藤夏子・五箇公一 (国立環境研究所)	JG104 ハクセンシオマネキUca lacteaの交尾戦略とフード (external ornament)の関係 *村松大輔 (京大・動物行動)	JH104 ハラヒシバツタの微小生息場所に対応した斑紋多型 *鶴井香織・西田隆義・本間淳 (京大・院・農)
15:00	JE105 常緑広葉樹林帯と落葉広葉樹林帯との移行部における主要林冠優占種の空間分布とサイズ構造の標高による変化 *澤田佳美 (東農大・院・林学)・武生雅明 (東農大・地域環境)・吉田圭一郎 (横国大・教育人間)・磯谷達宏 (国士館大・人文)	JF105 小笠原諸島におけるグリーンアノールの生息環境と行動圏 *戸田光彦・中川直美・尾園暁・鋤柄直純 (自然環境研究センター)	JG105 雄の羽色二型とmale-male interaction~青色構造色は闘争結果に影響するのか~ *森本元 (立教大・院・理)・山口典之・上田恵介 (立教大・理)	JH105 ダニの来た道~昆虫輸入がもたらす寄生性ダニの侵入~ *五箇公一 (国立環境研究所)・岡部貴美子 (森林総研)・米田昌浩 (アビ株式会社)
15:15	JE106 乗鞍岳西部山麓の溶岩流上における亜高山性および山地性針葉樹林の分布特性 *山本哲朗・大野啓一 (横国大・院・環境情報)	JF106 受精囊精子DNA解析によるマルハナバチにおける異種間交雑の検出 *今藤夏子・国武陽子 (国立環境研究所)・山中大生 (岐阜大・応用生物)・神戸裕哉・米田昌浩 (アビ株式会社)・土田浩治 (岐阜大・応用生物)・五箇公一 (国立環境研究所)	JG106 淡水域におけるケミカルコミュニケーションによる被食回避行動のメカニズム *高原輝彦 (京工繊大・院・工芸)・神松幸弘 (地球研)・丸山敦 (龍谷大・理工)・山岡亮平 (京工繊大・院・工芸)	JH106 アイナメ属3種で見られた方向性のある交雑 *木村幹子 (北大・院・水)・宗原弘幸 (北大・FSC)

口頭発表 3月25日(土) (Oral Presentation, 25 March, Saturday Afternoon)

Time	Room I JES 植物生理生態	Room A EAFES	Room B JES 生態系管理	Room C JES 動物個体群	Room D JES English
15:30	JI107 落葉広葉樹数種における個葉光合成の窒素・水利用と個体サイズ *鍋嶋絵里・日浦勉(北大・苫小牧研究林)		JB107 亜熱帯域におけるマングローブ・干潟・サング礁生態系の仕組みに関する研究 赤松良久(東工大・院・総合理工)	JC107 北海道内2河川におけるカワシンジュガイ(Margaritifera laevis)の個体群比較 *秋山吉寛(北大・地球環境)・岩熊敏夫(北大・環境科学院)	JD107 The role of soil seed banks in the rehabilitation of Nakoudojima island, severely damaged by introduced goats. *Udayani Rose Weerasinghe (University Museum, University of Tokyo), Seiki Takatsuki (University Museum, University of Tokyo), Palitha Jay
15:45	JI108 モデル植物ミヤコグサ野性系統の成長特性と窒素利用効率 *中田望(東京都立大・院・理)・可知直毅(首都大・理)		JB108 外来種マングースの駆除がすすむ奄美大島の照葉樹林生態系管理 *石田健(東大)・前園泰徳(九大)・宮下直・亘悠哉(東大)	JC108 フィンランド亜寒帯林の成立に伴うアリ塚由来のCO2放出量の変化 *大橋瑞江, Leena Finer, Timo Domisch (Finnish Forest Research Institute)	JD108 cancel
16:00	JI109 シラカンパー次枝成長に対する前年光環境の影響 *梅木清(千葉大・院・自然)・巴特尔(京セラケミカル)・本條毅(千葉大・園芸)・林恩美(千葉大・院・自然)		JB109 河川敷に生息するホンドタヌキの土地類型の選択性と河川改修工事におけるその変化 *竹下毅(北大・文)・岩本俊孝(宮崎大学・教育文化)・島谷幸宏・傳田正利	JC109 ゴール形成ハバチ(Phyllocolpa sp.)における産卵選好性と幼虫パフォーマンスの不一致 *井関高平(大阪府大・院・理)・武田悠美子(大阪女大・理)・石原道博(大阪府大・院・理)	JD109 Invasive black rats and Minamijima island in Ogasawara, What is happening there? *Palitha Jayasekara, Hidetoshi Kato, Kasuo Horikoshi, Yuji Ide (University of Tokyo)
16:15	JI110 ウダイカンバ弱齢・壮齢木における枝構造とその発達様式 *石原正恵(京大・農)		JB110 森林の更新動態からみたシカ的环境収容力 明石信廣(北海道林試)	JC110 アブラムシの翅多型機構に関する生態発生学-I. 翅形成に関する組織形態学的解析 *本郷紗希子(東大・総合文化)・石川麻乃(北大・地球環境)・松本忠夫(放送大・教養)・三浦徹(北大・地球環境)	JD110 Embryonic development of the estuarine crab neosarmatium trispinosum from the mangroves of the Okinawa Island, Japan. *Moniruzzaman Sarker, Sirajul Islam, Tsuyoshi Uehara (Department of Chemistry, University of the Ryukyus)
16:30	JI111 インドネシア熱帯山地林における樹木8種の林冠ギャップに対する樹形の可塑性: 温帯の落葉広葉樹種との比較 *高橋耕一(信州大・理)・Rustandi, A. (インドネシア科学院)		JB111 屋久島の林床植生の減少とヤクシカによる摂食の関連 *千葉かおり・脇山成二(自然環境研究センター)・矢原徹一(九学・院・理)	JC111 親世代の寄主植物は子世代の生活史に影響するか: カンザワハダニでのケーススタディ *伊藤桂(北大・院・農)	JD111 Temporal and spatial patterns in the raiding behavior of Asian elephants in southeastern Sri Lanka: analyzing the human-elephant conflict. *Ahimsa Campos-Arceiz, Seiki Takatsuki (University of Tokyo)

口頭発表 3月25日(土) (Oral Presentation, 25 March, Saturday Afternoon)

Time	Room E JES	Room F JES	Room G JES	Room H JES
	植物個体群	外来種	行動	進化
15:30	JE107 ヒノキ実生苗個体群における自己間引きと現存量密度の林分発達に伴う変化 小川一治(名大・生命農学)	JF107 異種間交尾を行ったマルハナバチの胚はどこまで发育するのか 神戸裕哉(アビ株)・岡田育子(岐阜大)・米田昌浩(アビ株)・五箇公一(環境研)・*土田浩治(岐阜大)	JG107 北海道北部の小河川におけるサケ科希少種イトウの初期分散に関する研究 *野本和宏(北大・院・地球環境)・江戸謙顕(文化庁・記念物課)・秋葉健司(野生生物総合研究所)・大光明宏武(酪農学園大・環境システム)・後藤健一(地域環境計画)・東正剛(北大・院・環境科学)	JH107 可塑性が更なる可塑性を呼ぶ一エゾサンショウウオ幼生における捕食者誘導の外鰓形態一 *岩見斉・西村欣也(北大・院・水産)
15:45	JE108 東シベリアにおけるカラマツ成熟林の林分構造の林分間変動 *城田徹央(北大・低温研)・斎藤秀之(北大・造林)・アヤル マキシモフ・アレキサンダー コノノフ・アレキサンダー イサエフ・トロフィン マキシモフ(ロシア凍土域生物研)・渋谷正人・高橋邦秀(北大・造林)	JF108 セイヨウタンポポによる在来種への繁殖干渉 *高倉耕一(大阪市環科研・水)	JG108 アサギマダラの移動の年変動 藤井恒(京都学園大・人間文化)	JH108 非対称な捕食による種内二型(魚類の右利き左利き)の進化 *中嶋美冬(東大・海洋研)・Peter A. Abrams(トロント大)・松田裕之(横国大・環境情報)
物質生産				
16:00	JE109 シナユリノキの遺伝的多様性 *生方正俊(林木育種センター)・管蘭華・岡村政則・丁小飛・曹健・河野耕蔵(日中協力林木育種科学技術センター)	JF109 熱帯雨林でアロメトリーを検証する *新山馨(森林総合研究所 森林植生)・Azizi Ripin・Abd.Rahman Kassim・Nur Supardi Md.Noor (Forest Research Institute Malaysia)	JG109 渡り中継地の農地管理がマガンの脂肪蓄積と農業被害に及ぼす影響を予測する *天野達也(東大・農)・牛山克己(美唄市)・森口紗千子・藤田剛・樋口広芳(東大・農)	JH109 資源分割競争と性淘汰の連動による同所的種分化機構:形質分布の分岐を集団遺伝学でとらえる 佐々木顕(九大・理)
16:15	JE110 サラワク州ランビル国立公園におけるフタバガキ科樹種の遺伝構造 *名波哲・伊東明・山倉拓夫(大阪市立大・院・理)・Sylvester Tan・Bibian Diway(サラワク森林研究所)	JF110 立山亜高山帯林における異なる地形に成立するオオシラビン林の地上部および地下部の構造と生産 *土井裕介(京大・院・森林生態)・森章(サイモンブレーザー大)・武田博清(京大・院・森林生態)	JG110 渡りを行う水鳥の干潟での採餌量が飛行可能距離に与える影響 *松原圭(琉球大・理工)・土屋誠(琉球大・理)	JH110 CO2噴出地におけるオオバコの進化:遺伝子流動と局所適応 *河田雅圭・中村伊都・横山潤・彦坂幸毅(東北大・生命科学)
16:30	JE111 北タイのケシアマツとメルクシマツの年輪 *山名郁実(大阪市大・院・理)・Witchaphart Sungpalee・Kriangsak Sri-ngernyuang (Maejo University)・Kajit Suntrakorn (F10)・名波哲・伊東明・山倉拓夫(大阪市大・院・理)	JF111 人工林のCO2固定に対する間伐効果 千葉幸弘(森林総研)	JG111 二つの繁殖分集団の採食海域の比較:外洋性海鳥はどこで繁殖するのが有利か *岡奈理子(山階鳥類研究所)・松本経・越智大介・綿貫豊(北大・院・水産)・佐藤克文(東大・海洋研・国際沿岸海研センター)	JH111 幼若ホルモンアゴニストによるDaphnia magnaビテロゲン遺伝子の発現調節 *時下進一・小林拓・加藤泰彦・太田敏博・山形秀夫(東京薬大・生命科学)

口頭発表 3月25日(土) (Oral Presentation, 25 March, Saturday Afternoon)

Time	Room I JES 植物生理生態	Room A EAFES	Room B JES 生態系管理	Room C JES 動物生活史	Room D JES English
16:45	JI112 樹木の分枝率によるコスト・ベネフィット関係の違い *吉村昌悟・長山泰秀(鳥根大・生物資源)		JB112 湖沼生態系管理におけるコミュニケーション促進のためのシナリオアプローチの研究 *谷内茂雄(総合地球環境学研究所)・石井励一郎(地球環境フロンティア研究センター)・加藤元海(愛媛大・沿岸環境科学研究センター)・中島久男(立命大・理工)・田中拓弥・中野孝教(総合地球環境学研究所)	JC112 テナガツノヤドカリのガードペアサイズおよび産卵数 里中美哉・*古賀庸憲(和歌山大)	JD112 Nutrients transported by bird feces into forests along an urban-rural gradient. *Motoko Fujita, Fumito Koike (Yokohama National University)
17:00	JI113 植物生理生態学的観点からみた日本における気候・環境変動の地域性の重要性 *久米篤(富山大・理)・和田直也(富山大・極東センター)		JB113 衛星データを用いたモンゴル草地における植生・土壌情報の分離および土壌水分推定 *関山絢子・島田沢彦・豊田裕道	JC113 ミドリアマモウミウシの餌海藻と生活史変異 島津陽一・*平野弥生(千葉大)・Trowbridge Cynthia(オレゴン州立大学)・平野義明(千葉大)	JD113 cancel
17:15	JI114 リモートセンシングを用いた中央カリマンタンにおける森林火災跡泥炭地の蒸発散量推定手法の開発 *大場悠介・島田沢彦(東京農業大)		JB114 比企丘陵森林公園における自然度評価とハイパースペクトル画像との関連 *白石貴子(立正大・院・地球)・後藤真太郎(立正大・地球)・渡邊定元(森林環境研究所)・崎尾均(埼玉県農総研・森林)・川西基博(帝京大・高)	JC114 オオサンショウウオの繁殖期前後における移動 田口勇輝(大阪府大・生命環境)	

口頭発表 3月25日(土)(Oral Presentation, 25 March, Saturday Afternoon)

Time	Room E	Room F	Room G	Room H
	JES	JES	JES	JES
	群落	外来種	行動	進化
16:45	JE112 南アルプスにおけるムカゴトラノオの生育特性 *冨田美紀(静岡大・理工)・西谷里美(日本医科大)・佐々木明彦(東北大・院・理)・長谷川裕彦(明治大・地理)・増沢武弘(静岡大・理工)	JF112 航空機レーザースキャナを用いた微地形とブナ林冠構造の解析 *西上愛・千葉幸弘(森林総研)	JG112 2つの繁殖地を比較することによって明らかとなる、繁殖期におけるオオミズナギドリの採餌行動について *松本経・越智大介・綿貫豊(北大・院・水産)・佐藤克文(東大・海洋研)・岡奈理子(山階鳥研)・廣瀬愉芸子(東京海洋大・院)	JH112 カブトミジンコ <i>Daphnia galeata</i> のmicrosatellite markerの開発 *小林拓(東京薬大・生命)・渋谷浩之・時下進一・太田敏博・花里孝幸(信州大・山地水環境教育センター)・山形秀夫
17:00	JE113 競争・非競争条件下でのアサガオ個体の成長に栄養塩の総量とそのパッチ状の分布が及ぼす影響 *中村亮二・鈴木準一郎・可知直毅(首都大)	JF113 温度と水分による土壌呼吸速度の変動 *森麻美(奈良女大・院・人間文化)・古川 昭雄(奈良女大・共生科学研究センター)	JG113 ケリの集団防衛行動 *高橋雅雄・大河原恭祐(金沢大・自然)	
17:15			JG114 2種のオナガザルの遊動ルートと混群形成 深谷(郷)もえ(京大・霊類研)	

口頭発表 3月26日(日)(Oral Presentation, 26 March, Sunday Morning)

Time	Room I	Room A	Room B	Room C	Room D
	JES				EAFES
					Animal ecology 1
9:30	日本生態学会 受賞講演・総会				ED201 Effects of the timing of oviposition on larval growth of the salamander, <i>Hynobius nebulosus nebulosus</i> *Yuko M. Murakami, Eiiti Kasuya
9:45					ED202 Macronutrient imbalance and anuran metamorphosis; response of tadpoles to different protein content in their food. *Noriko Iwai, Takashi Kagaya
10:00					ED203 Long distance migration of the Chestnut Tiger, <i>Parantica sita niponica</i> (Lepidoptera; Nymphalidae). *Hisashi Fuji
10:15					ED204 Genetic variation in the gray-sided vole, <i>Clethrionomys rufocanus</i> (Sundevall, 1846) from Akkeshi and Daikoku Island, Hokkaido, Japan *Anna Pauline de Guia et al.
10:30					ED205 Early succession of carabid beetles (Carabidae, Coleoptera) in abandoned paddy fields *DO Yuno et al.
10:45					ED206 Diversity of beetles on isolated old broad-leaved trees in larch plantations *Masashi Ohsawa
11:00					ED207 Evaluation of biological diversity on the semi-natural grassland resulting from the interactions of butterfly communities and plant communities *Kumiko Okubo et al.
11:15					ED208 Pollen choice of bumblebees and its influence on colony growth - A recipe for survival *Dulee Munidasa et al.
11:30					ED209 Colonizer assemblages of adult dragonflies on small man-made ponds: effects of life history traits and landscape structure on the assemblage composition *Taku Kadoya et al.
11:45					ED210 Physicochemical properties of termite mounds and surrounding soils on a toposequence of inland valley in the southern Guinea savanna zone of Nigeria *Shin Abe et al.

口頭発表 3月26日(日)(Oral Presentation, 26 March, Sunday Morning)

Time	Room E	Room F	Room G	Room H
		EAFES	EAFES	EAFES
		Ecosystem	Environment	Plant Ecology 1
9:30		EF201 Decomposition of litter in a subtropical forest *Xingjun Tian et al.	EG201 The overground carbon storage of Northeast China main forest area *Zaiping Xiong et al.	EH201 Inter-taxa community analysis and environmental assessment (Tentative) *Mi-Young Song et al.
9:45		EF202 Linking decomper to plant; a field evidence of tree growth promotion by a soil ecosystem engineer, the train millipede. *Nobuhiro Kaneko	EG202 A global scale analysis of the sensitivity of photosynthesis by terrestrial vegetation to cloud-induced variations in diffuse radiation *Dennis G. Dye et al.	EH202 What kind of environmental factors are controlling the distribution of two types of <i>Abies mariesii</i> forest on Mt. Kurikoma, northeastern Japan *Nobuhiko Wakamatsu et al.
10:00		EF203 The activities and community wturcture of methanotrophs in a temperate forest soil in Korea *Inyoung Jang et al.	EG203 The effects of CO ₂ enrichment on typical steppe in Inner Mongolia *Wu Dong-Xiu et al.	EH203 A Phytosociological study of the Diambour Forest Reserve, Southeastern Senegal (West Africa) *Diane Abdoulaye, Fujiwara Kazue
10:15		EF204 Plant litter effects on the soil microbial community structure- PLFA analysis *Mohammad Zabed Hossain, Shu-ichi Sugiyama	EG204 Impacts of elevated CO ₂ on quality of DOC in salt marsh sediment *Soohyun Jung et al.	EH204 Deciduous forests in north east China and their ecological situation *Haimei You et al.
10:30		EF205 The effects of ectomycorrhiza and charcaol on Japanese larch seedlings *Laiye Qu et al.	EG205 Soil CO ₂ effluxes in east Asian forests *Naishen Liang et al.	EH205 The edge effect in an oak-dominated maritime woodland:tree assemblage structures *Makoto Yoko-o, Mutsunori Tokeshi
10:45		EF206 Theoretical model of interactions between particle-associated and free-living bacteria to predict functional composition and succession in bacterial communities *Takeshi Miki, Norio Yamamura	EG206 Impact of Elevated CO ₂ on the community structure of denitrifiers and methanogens in wetland ecosystem *Seung-Hoon Lee et al.	EH206 Community structure and disturbance regime of a riparian forest established on a small alluvial fan in southern Kyushu, Japan *Hiroka Ito et al.
11:00		EF207 Testate amoebae (Protozoa: Rhizopoda) – A new tool for tracking environmental change in mires in Hokkaido *Stefan Hotes	EG207 Emergy evaluation of estuarine ecosystems in Korea *Daeseok Kang et al.	EH207 Classification and ecological character of steppe vegetation in Russia for vegetation mapping *Irina Safronova
11:15		EF208 The effects of root-exudates from wetland vegetation on microbial functions under elevated CO ₂ *Seon-Young Kim et al.	EG208 Urbanization and urban environment *Xiaoqing Shi	EH208 Plant communities have only one functional type *Fumito Koike, Ryoko Tanaka
11:30		EF209 Nitrogen removal and denitrification rate in constructed wetland *Keunyea Song et al.	EG209 Link watershed and water quality models to calculate total maximum daily loads fora samll coastal embayment *Shucun Sun et al.	EH209 Positive and negative effects of exotic <i>Spartina alterniflora</i> in China *Qin Pei et al.
11:45		EF210 Study on the oxidation enzyme and environmental adaptability of ecological system in Mount Beigu wetland *Wu Yanyou et al.	EG210 Dynamics of groundwater resources in the region irrigated using groundwater in North China Plain: Its ecological effects and strategies for conservation *Chunsheng Hu	EH210 Inbreeding problems in the restored plant population *Shinichi Takagawa et al.

口頭発表 3月27日(月)(Oral Presentation, 27 March, Monday Afternoon)

Time	Room I JES 保全	Room A EAFES Biodiversity	Room B JES 物質循環	Room C JES 送粉・種子散布	Room D EAFES Plant Ecology 2
14:00	JI301 アカガシラカラスバトの繁殖環境と保全学上の課題 *鈴木創・堀越和夫(小笠原自然文化研究所)	EA301 Frugivores, pollinators, and genes: molecular tools to track the consequences of plant-animal interactions *Pedro Jordano	JC301 取り消し	JC301 左右相称花はなぜ横向きに咲くのか? *丑丸敦史(神戸大)・堂園いくみ(東北大)・高見泰興(京都大)・兵藤不二夫(地球研)	ED301 Scaling up from a single leaf to GPP of plant community *Kihachiro Kikuzawa
14:15	JI302 列状間伐はイヌワシの採餌環境として有効か? *石間妙子(新潟大・農)・大石麻美・布野隆之・関谷義男(新潟大・院)・井上武亮(日本鳥類保護連盟)・本村健(中野市教育委員会)・梨本真・松木吏弓・阿部聖哉・竹内亮(電力中央研究所)・由井正敏(岩手県立大・総合政策)・関島恒夫(新潟大・院)	EA302 Herbivory effect on declinational <i>Betula</i> Forest in northern Japan *Sawako Matsuki et al.	JB302 マルチ大型自動開閉チャンバーを用いたカラマツ植林地炭素収支の推定 *梁乃申・藤沼康実・井上元(国立環境研究所)	JC302 マルハナバチにおける巡回ルートの「かたち」の最適化 *大橋一晴(筑波大・生命環境)・James D. Thomson(トロント大・動物)	ED302 Biomass-stand density relationship of <i>Larix gmelinii</i> populations on continuous permafrost soils in Siberia *Akira Osawa et al.
14:30	JI303 水田の栽培環境の違いがカエル類の生息状況に与える影響 村上裕(愛媛県立衛生環境研究所)	EA303 Latitudinal variation in species interactions: facilitation or competition *Takashi Kawai	JB303 根の呼吸も昼寝をする? ヒノキとミズナラの根の呼吸速度の日中低下とその要因 *坂田(別宮)有紀子(都留文科大)・坂田剛(北里大)・中野隆志(山梨環境研)	JC303 河畔性ヤナギの種子散布における綿毛の定着適地検出機能 戸澤宗孝・上野直人・木村恵・加納研一・*清和研二(東北大・院・農)	ED303 Whole-plant distribution of photosynthetic capacities of leaves in <i>Oenothera biennis</i> *Kohei Kohama, Kihachiro Kikuzawa
14:45	JI304 国内淡水魚を対象とした生息地ポテンシャルの推定とその時空間的变化 *亀山哲・福島路生(国環研)・韓美徳・雨宮護(筑波大)・金子正実(酪農学園大)	EA304 Forest ecosystem with alien mangoose on Amami Island, southwestern Japan. *Ken Ishida et al.	JB304 熱帯林生態系におけるリン制限 ~ポルネオ島キナバル山での施肥実験と土壤呼吸~ *藤木泰斗(京大・農)・和頼朗太・北山兼弘(京大・生態研)	JC304 岩塊地における野ネズミの貯蔵行動がミズナラ実生の分布に与える影響 三浦優子(千葉大・自然)	ED304 Distribution of photosynthetic pigments in a core of peat mass as a reflection of climate change in Holocene *Klimin M.A., Sirotsky S.E.
15:00	JI305 湿原の乾燥化の原因について-湿原の成立場所と水流出量・葉量の関係 *片岡博行(津黒いきものふれあいの里)・西本孝(岡山県自然保護センター)・波田善夫(岡山理大・総合情報)	EA305 An analysis on agricultural dependency of biodiversity in the rice paddy fields of Japan *Kazumasa Hidaka et al.	JB305 熱帯林生態系における土壌炭素動態制御:リターと土壌鉱物粒子の反応という新しい側面からのアプローチ *和頼朗太(京大・生態研)・Lawrence M. Mayer(Univ. of Maine, USA)・北山兼弘(京大・生態研)	JC305 小型発信機を用いたカケスによるミズナラ堅果散布の追跡調査 飯田滋生(森林総研・北支)	ED305 A study on photosynthesis and its ecological adaptation of <i>Phalaris arundinacea</i> L in Beigu Mountain wetland *Li Pingping et al.

口頭発表 3月27日(月)(Oral Presentation, 27 March, Monday Afternoon)

Time	Room E JES 動物群集	Room F JES 種多様性	Room G JES 景観生態	Room H JES 数理
14:00	JE301 ヒトクテタケをめぐる昆虫群集 *門脇浩明・西田隆義(京大・農)	JF301 多様な生物が持続的に利用されるしくみ:コモンズ論の限界を補うには? 百瀬邦泰(愛媛大・農)	JG301 直線化による河川環境の均質化と淡水魚類群集との関係 *福島路生(国環研)・岩館知寛(北大)・金子正美(酪農大)・矢吹哲夫(酪農大)・亀山哲(国環研)	JH301 植物の多種共存～ロツタリーモデルを用いた解析～ *岩田繁英(静大・院)・今隆助(九大・COE研究員)・竹内康博(静大・院)
14:15	JE302 放置コナラ二次林の植生処理に伴う地表徘徊性甲虫群集の反応 *渋谷園実(東京大・院・新領域創成)	JF302 植物プランクトンの多様性維持機構:空間サイズと絶滅時間 *向坂幸雄・宮崎龍雄・富根辰也(千葉大・海洋バイオ)・泰中啓一・林太朗・吉村仁(静大・工)	JG302 海草藻場の時空間動態におけるべき乗則とスケール依存性 *山北剛久・仲岡雅裕・近藤昭彦(千葉大・院・自然)	JH302 負の密度依存効果をもつ推移系の局所安定性解析 *高田壮則・甲山隆司(北大・地球環境)
14:30	JE303 樹液に集まる昆虫群集の構造 *吉本治一郎・西田隆義(京大・院・農)	JF303 岩礁潮間帯において生物多様性は生態系機能にどのように影響するか *相澤章仁・仲岡雅裕・辻野昌広(千葉大・自然)・野田隆史(北大・環境)・堀正和(東大・農学生命)・山本智子(鹿児島大・水産)	JG303 海岸域の湧水・伏流水の動態と砂浜沖のアマモ場のTN, TP濃度について一尾道市向島立花海岸にて *島田基世(広大・院・国際協力)・菊池亜希良(広大・総合科学)・田尾友希・斉藤大輔(広大・院・国際協力)・中越信和(広大・総合科学)	JH303 生息地破壊がメタ個体群動態に与える影響 佐藤一憲(静大・工)
14:45	JE304 羽化個体データを用いた卵の空間分布の推定にかかるとのバイアス 高橋一男(北大・院・地環研)	JF304 ヒノキ人工林列状間伐跡地植物種の7年後の変化 *佐々木啓(宇都宮大・農)・渡邊定元(立正大・ORC)・及川尚志・大久保達弘(宇都宮大・農)	JG304 カンボジア低地熱帯季節林における土壌水分環境の空間変動とフェノロジーの関係 *伊藤江利子・荒木誠(森林総研)・谷明洋・鳥山淳平・平松玲子・神崎護・太田誠一(京大・院・農)・Pol Sopheavuth・Tith Bora・Lim Sopheap・Khorn Saret・Pith Phearak(カンボジア森林野生生物研究所)	JH304 食物連鎖の長さは一次生産性と生態系サイズにどう応答するか? 瀧本岳(北大)
15:00	JE305 ボルネオ低地熱帯林における樹上性アリ類の空間分布様式とその決定要因 *田中洋・市岡孝朗(京大・院・人環)・山根正気(鹿大・理)	JF305 熱帯山地林における土壌微生物群集の樹種依存的模式 *潮雅之・北山兼弘(京大・生態研)	JG305 数値地図を用いた都市緑地における社叢の立地と斜面との関係性に関する景観生態学的研究 *藤田直子・熊谷洋一(東大・院・新領域創成)	JH305 プランクトン群集の数理モデルにおける多重安定性と状態遷移 *松下博明(横浜国大・院・環境情報)・Axel G. Rossberg・雨宮隆・伊藤 紀

口頭発表 3月27日(月)(Oral Presentation, 27 March, Monday Afternoon)

Time	Room I JES 保全	Room A EAFES Biodiversity	Room B JES 物質循環	Room C JES 植物の繁殖・生活史	Room D EAFES Plant Ecology 2
15:15	JI306 キンラン増殖・保全の試み:無菌苗の自生地への植栽と植栽苗の菌根共生 *大和政秀・岩瀬剛二 (KANSOテクノス生環研)	EA306 Present status and perspectives of nature restoration in Lakes Shinji and Nakaumi, newly registered Ramsar sites in Japan *Hidenobu Kunii	JB306 ブナおよびアカマツの落葉分解過程における窒素およびタンパク質の動態 *小野賢二・平出政和(森林総研)・長谷川元洋(森林総研木曾)・高橋正通(森林総研)	JC306 堅果の豊凶で変化するブナ樹冠葉の窒素濃度と回収率 *市栄智明(高知大・農)・及川夕子・星崎和彦(秋田県立大・森林)	ED306 Arranged lognormal distributions of plant volume index in plant communities *Akira Kikuchi
15:30	JI307 ブナのハプロタイプ高密度化のための葉緑体DNA多型の探索とマーカークリア *高橋誠・戸丸信弘・渡邊敦史(林木育種センター)	EA307 Bio-diversity in the winter-flooded paddy field *Tadao Aoda	JB307 炭素・窒素安定同位体比による達古武沼生態系の評価 *高村典子・中川恵・五十嵐聖貴(国立環境研究所)・仲島広嗣(野生生物総合研究所)・若菜勇(阿寒湖畔エコミュージアムセンター)・伊藤富士	JC307 雌雄異株樹木ナギの個体あたりの繁殖投資 *塩見修平・名波哲・伊東明・山倉拓夫(大阪市立大・院・理)	ED307 cancel
15:45	JI308 アマモの遺伝的多様性解析に基づく保全・再生指針の作成 *仲間雅裕・出店映子(千葉大・自然科学)・田中法生(国立科学博物館)	EA308 Function and benefit of <i>Hippophae rhamnoides</i> L. improving eco-environment in China *Chengjiang Ruan	JB308 酸素安定同位体比を用いた、琵琶湖北湖沖合における溶存酸素動態解析 *陀安一郎(京大・生態研)・由水千景(科学技術振興機構)・和田英太郎(地球環境フロンティア)・永田俊(京大・生態研)	JC308 雄性両性異株マルバアオダモ(モクセイ科)個体群の空間構造と遺伝構造 *岡崎純子・川長奈津美・山岡正史(大阪教育大・教員養成)・名波哲(大阪市大・院・理)・石田清(森林総研・関西)	ED308 Accumulated old leaves increase leaf area ratio of evergreen broadleaved trees *Yoshiyuki Miyazawa et al.
16:00	JI309 QTL情報を用いた組換え遺伝子の拡散リスク評価:栽培アズキとヤブツルアズキの種子生産性に関わるQTLの挙動から *北本尚子(筑波大・生命環境)・伊勢村武久・加賀秋人・黒田洋輔(生物研)・大澤良(筑波大・生命環境)	EA309 Some implications to Japanese Oak Wilt: Newly emerged forest pest in Japan *Naoto Kamata et al.	JB309 釧路湿原の水循環における湧水の重要性 *野原精一・広木幹也(国立環境研究所)・環境省東北北海道地区自然保護事務所	JC309 コナラ林におけるシュート成長および葉群動態 *石田千春(東大・院・農)・千葉幸弘(森林総研)・丹下健(東大・演)	ED309 Life history strategies in temperate seagrass species in Akkeshi bay, Hokkaido, Japan *Maria Luisa Sasil-orbita, Hiroshi Mukai
16:15	JI310 日本の絶滅危惧維管束植物に対する絶滅リスク評価再考 ~レッドリスト掲載基準に関して~ *宗田一男・松田裕之(横浜国大)・藤田卓・矢原徹一(九州大)	EA310 Biological control of <i>Rumex obtusifolius</i> in Korea *Ohseok Kwon	JB310 大気由来窒素を吸収する腐朽菌-窒素安定同位体比の変動解析から *高津文人・宮島利宏・立石貴浩・渡辺隆司・高橋旨象・和田英太郎	JC310 マングローブ林で共存するAvicennia属2種の稚樹の樹冠形:サイズと光環境からの比較 *緒方淳二・富田瑞樹・鈴木邦雄(横浜国大・院・環境情報)	ED310 Growth, physiology and development of woody plants in Kushiro Mire, Japan *Fukuju Yamamoto, Fumiko Iwanaga

口頭発表 3月27日(月)(Oral Presentation, 27 March, Monday Afternoon)

Time	Room E JES 動物群集	Room F JES 種多様性	Room G JES 遷移・更新	Room H JES 数理
15:15	JE306 モンゴルにおける家畜放牧密度と穴居性小型哺乳類の関係 *須田知樹(立正大)・高槻成紀(東大)・Sukhchuluun Gansukh・Badamjavın Lhagvasuren (Mongolian Academy of Science)・吉原佑(東大・院)・佐藤雅俊(帯広畜産大)	JF306 雑草管理法(除草手段)が農耕地の土壤棲息性昆虫相に及ぼす影響 *白井洋一・中谷至伸(農環研)	JG306 富士山森林限界における20年間の森林動態 *崎尾均(埼玉農総研森林研究所)・増沢武弘(静岡大・理)	JH306 外来細菌遺伝子導入による環境浄化過程の長期評価モデル *三木健・植木昌也(京大・生態研)・川端善一郎(総合地球環境学研究所)・山村則男(京大・生態研)
15:30	JE307 動物プランクトンと魚の捕食回避の隠れ家としての沿岸植物帯をめぐるゲーム *加藤元海(愛媛大・沿岸環境科学研究センター)	JF307 落葉広葉樹林保残帯と周辺人工林の鳥類の種多様性 東條一史(森林総合研究所)	JG307 富士山北斜面における森林限界植生の一次遷移進行速度 *田中厚志・斉藤良充・鬼澤一仁・山村靖夫(茨城大・理)・中野隆志(山梨県環境科学研究所)	JH307 流体中における微生物のサイズとリソース粒子サイズに関する理論的考察:最適サイズは存在するか? 吉山浩平(京大・生態研)
		社会生態		
15:45	JE308 動物プランクトンの優占種と共存に対するデトリタス食の役割 *山村則男(京大・生態研)・占部城太郎(東北大・生命科学)	JF308 協同繁殖種ハイガシラゴウシュウマルハシの社会構造 *江口和洋(九大・院・理)・山口典之・上田恵介(立教大・理)・永田尚志(国環研)・高木昌興(大阪市大・院・理)・R. Noske (CDU)	JG308 亜高山帯針葉樹林における稚樹定着場所と積雪環境 -富士山、早池峰、八幡平の比較- *杉田久志(森林総研・東北)・長池卓男(山梨県森林総研)	JH308 種子食害量が予測不能な環境における、最適な種子の大きさの数 酒井聡樹(東北大・院・生命科学)・原田泰志(三重大・生物資源)
16:00	JE309 ダム下流における支川合流が底生動物群集に与える影響 -夏季・冬季での比較- *片野泉・河口洋一・田代喬・皆川朋子・萱場祐一	JF309 ヤマトシロアリのコロニーサイズが共生原生生物群集に及ぼす影響 榎田まり子・北出理(茨城大・理)	JG309 長野県黒姫山亜高山帯岩塊斜面における高山性植物の遺存的分布 *石井浩之(新潟大・農)・加々美寛雄・平英彰(新潟大・院・自然)	JH309 報酬を介した相利共生の進化と個体群動態 *山内淳(京大・生態研)・Maurice Sabelis(アムステルダム大)
16:15	JE310 底泥攪乱者bioturbatorの生態的影響:コイ vs. ザリガニ *松崎慎一郎(東大・院・農)・西川潮・高村典子(国立環境研究所)・鷲谷いづみ(東大・院・農)	JF310 ヤマトシロアリにおいてニンフとワーカーへのカースト分化を決定する要因 *林良信・宮田仁・北出理(茨城大・理)	JG310 季節的な水位変動が著しいトシラサップ湖氾濫原において優占する <i>Barringtonia acutangula</i> の生態的特性 *荒木祐二(横国大・院・環境情報)・Powkhy Dornng(ピースインツアー)・平吹喜彦(東北学院大・教養)・Rachna Chay(アンコール遺跡整備機構)・塚脇真二(金沢大・自然計測応用研究センター)・富田瑞樹・鈴木邦雄(横国大・院・環境情報)	JH310 北海道マイマイガの遺伝子浸透モデル *五十嵐章裕・山口博史・東浦康友(東薬大・生命)・石原通雄(兵庫医大・生物)・重定南奈子(同志社大・文化情報)

口頭発表 3月27日(月)(Oral Presentation, 27 March, Monday Afternoon)

Time	Room I JES 保全	Room A EAFES Biodiversity	Room B JES 物質循環	Room C JES 植物の繁殖・生活史	Room D EAFES Plant Ecology 2
16:30	Jl311 都道府県レッドデータブックにおける日本産哺乳類の指定状況 横畑泰志(富山大・理)	EA311 Conservation effort for a population in a fluctuating environment and assessment of the population size *Hiroyuki Yokomizo et al.	JB311 底生動物の選択的な餌資源同化—安定同位体比による検討— *土居秀幸・菊地永祐・高木茂人・鹿野秀一(愛媛大・農)	JC311 針葉樹人工林の攪乱体制に対する植物の適応パターン 酒井敦(森林総研・四国)	ED311 Costs of reproduction in lady's slipper orchids, genus <i>Cypripedium</i> *Richard P. Shefferson
16:45	Jl312 取り消し	EA312 Predicting ecological health indicator and assessing habitat suitability at different waterbody types through ecological informatics approaches *Young-Seuk Park, P. Verdonshot	Jl312 取り消し	JC312 冬緑性草本のリーフフェノロジー 大野啓一(千葉県立中央博物館)	ED312 Restoration of <i>Scirpus triquetus</i> stands: Effect of salinity, soil texture, density, and tidal regime *Kim Gu Yeon et al.
17:00	Jl313 モウコガゼルと同所的な家畜の食性比較 吉原佑・*高槻成紀(東京大・総合研究博物館)	EA313 Maximal yields from multi-species fisheries systems: Rules for harvesting top predators and systems with multiple trophic levels *Hiroyuki Matsuda, P. A. Abrams	JB313 鉱山由来のCd汚染土壌水田モデルの浸透型が稲の重金属吸収に及ぼす影響 佐々木長市(弘前大・農学生命)・野田香織(弘前大・理工)・*成田瑞季(弘前大・院・理工)・坂口良介(弘前大・理工)・川島一就(弘前大・院・農学生命)	JC313 絶滅危惧植物ユキモチソウ <i>Arisaema sikokianum</i> の性転換に対する経年影響 *浦川裕香・小林剛・深井誠一(香川大・農)	
17:15	Jl314 Predictive habitat distribution models of Gray-faced Buzzard wintering in the Sakishima Islands, southwestern Japan *呉盈瑩・藤田剛・樋口広芳(東大・生物多様性)		JB314 フクロウの重金属蓄積における指標部位 *野田香織・要智久・渡邊泉(弘前大・理工)・鈴木美成(東京農工大)・竹内健悟・東信行(弘前大・農学生命)	JC314 多回繁殖を行う短命多年生草本トウカイモウセンゴケの種子異型性 *中野真理子・木下栄一郎(金沢大・自然計測応用研究センター植物園)	

口頭発表 3月27日(月)(Oral Presentation, 27 March, Monday Afternoon)

Time	Room E JES 動物群集	Room F JES 社会生態	Room G JES 遷移・更新	Room H JES 数理
16:30	JE311 北上川河口域におけるベントスの群集および食物網構造の空間変異 *松政正俊(岩手大・教養)・土居秀幸(愛媛大・農)・牧陽之助(岩手大・人社)・溝田智俊(岩手大・農)・菊地永祐(東北大・東北アジア)	JF311 ヤマトシロアリの生殖虫分化と複眼の発達 *前川清人・水野さやか(富山大・理)・越川滋行・三浦徹(北大・院・地球環境)	JG311 統計データに基づく気象害による森林の攪乱規模 *鈴木覚・吉武孝・岡野通明(森林総合研究所)	JH311 囚人のジレンマゲームによる協調文化の拡大パターン *川崎廣吉・重定南奈子(同志社大・文化情報)
16:45	JE312 岩礁潮間帯における機能群構造と群集動態の空間スケール依存性 *辻野昌広・仲岡雅裕・相澤章仁(千葉大・自然)・山本智子(鹿児島大・水産)・堀正和(東大・農学生命)・野田隆史(北大・環境)	JF312 シロアリのカースト分化機構はどこまでわかったか *三浦徹・越川滋行・Richard Cornette・石川由希(北大・地球環境)・北條優(玉川大・農)・前川清人(富山大・理)・松本忠夫(放送大・教養)	JG312 腐朽倒木上に定着する針葉樹実生の生長に大規模風倒が及ぼす影響 勝又暢之(千葉大・院・自然)	JH312 ヒトによる行動選択動態と生態系動態とのカップリング:湖の水質管理を例に *巖佐庸・内田智恵・横溝裕行(九大・理)
17:00	JE313 沖縄本島におけるミドリイシ類サンゴ群集の回復過程 *部奈千晶(琉球大・理工)・山本広美・野中正法(海洋博覧会記念公園管理財団沖縄美ら海水族館)	JF313 取り消し	JG313 植食者と気候変動が与える植生パターンへの影響:砂漠-草原-森林間の不連続的移行の可能性とその条件の理論的考察 *石井励一郎・鈴木力英・Dennis Dye・和田英太郎(地球環境フロンティア研究センター)	
17:15		JF314 カドフシアリ <i>Myrmecina nipponica</i> における中間型繁殖カーストの発生的起源 *宮崎智史(北大・地球環境)・村上貴弘(北大・創成機構)・東典子(北大・水産科学)・東正剛・三浦徹(北大・地球環境)	JG314 シカ防護柵が樹木の更新に及ぼす影響 *鈴木和次郎(森林総研)・石田香織(山口県)・由田幸雄(福島森林管理署)・小島幸彦(日光森林管理署)	

口頭発表 3月28日(火) (Oral Presentation, 28 March, Tuesday Morning)

Time	Room I	Room A	Room B	Room C	Room D
	JES	EAFES	JES	JES	JES
		Vegetation history			
9:30		EA401 Multiproxy paleoenvironmental study of the Beloe Lake, Novosibirsk region, Russia *Krivonogov S.K. et al.			
9:45		EA402 Late Quaternary climate changes of the East Asian monsoon inferred from pollen records around the Yellow Sea *Sangheon Yi et al.			
10:00		EA403 Tephrastratigraphy of Central Kamchatka peat sections – a basement for detail paleoenvironmental research *Oleg Dirksen et al.			
10:15		EA404 The Holocene climate changes and their influence on cultural development in Southern Siberia *Veronika Dirksen, G. Zaitseva			
10:30		EA405 Environment and climate of Novosibirsk region in the middle-late Holocene (based on pollen data) *Irina Khazina et al.			
10:45					
11:00					
11:15					
11:30					
11:45		EAFES Closing Ceremony			

口頭発表 3月28日(火) (Oral Presentation, 28 March, Tuesday Morning)

Time	Room E JES	Room F JES	Room G EAFES	Room H EAFES
			Animal Ecology 2	Landscape
9:30			EG401 Relationship between <i>Corallina pilulifera</i> and hermit crabs *Miyoko Kurimoto, Mutsunori Tokeshi	EH401 Geographical characteristics of the MAEULSOOP (Korean village groves) between Southwestern Flat Region and Eastern Hilly Region *Jino Kwon et al.
9:45			EG402 Intraspecific diversity of waving display in the fiddler crab, <i>Uca lactea</i> *Daisuke Muramatsu	EH402 Classification of Korean maeulsoops based on the location in landscape and preliminary survey of major tree species *Chan-Ryul Park et al.
10:00			EG403 Realized and fundamental spatial niche use in intertidal fishes *Seiji Arakaki, Mutsunori Tokeshi	EH403 Eco-culture and Village Fengshui Forest in China *Zhou Hong
10:15			EG404 Disturbance on the fish communities: the impact of fire and typhoon in the mountain streams in the northeastern part of S. Korea *Yoon Ju-Duk et al.	EH404 An agent-based model for deforestation *Akiko Satake et al.
10:30			EG405 A game model for display duration in animal contest *Takashi Uehara et al.	EH405 Importance of the grassland habitats along river ecosystems: viability of Skylarks <i>Alauda arvensis</i> occurrence *Hazuki Matsuno et al.
10:45				EH406 Review of Chinese desert ecosystem long-term observation and research *Wang Xuequan et al.
11:00				EH407 Perspectives of nature restoration in the Mizoro-ga-ike Pond in Kyoto City *Yasuhiro Takemon et al.
11:15				EH408 Changes of water level in a riparian zone and plant invasion - studies of <i>Humulus japonicus</i> in Korea streams *Soonyoung Park et al.
11:30				
11:45				

ポスター発表3月25日(土)10:30-16:00

(#: ポスター賞対象発表)

植物繁殖

- JP1-001# Plant seed ecology of chasmophyte, *Spiraea thunbergii*, in the River Tama, Japan *Kazuya Ashizawa, Noboru Kuramoto (Fac. of Agri., Meiji Univ., Japan)
- JP1-002# ガマズミ属4種の開花及び結実フェノロジーと繁殖様式の比較 *吉本敦子(金沢大・教育)・笠木哲也(金沢大・自然)・中野真理子・木下栄一郎(金沢大・自然計測・植物園)
- JP1-003# ササは一回繁殖か?ークマイザサ個体群の開花様式一 *宮崎祐子(奈良県森技セ)・大西尚樹(森林総研・関西)・日野貴文(北大・院・農)・日浦 勉(北大・苫小牧研究林)
- JP1-004 ブナの豊作年(2005年)における標高と開花結実特性の関係 *小谷二郎(石川県林試)・鎌田直人(金沢大)
- JP1-005 フキの3つの花序型の進化的意義:訪花昆虫の誘引と繁殖成功に違いはあるか? *鈴木由佳・板垣智之・牧野崇司・辻沢央・酒井聡樹(東北大・院・生命科学)
- JP1-006 一回繁殖型多年生植物オオウバユリの個体群動態と繁殖特性 *大原雅・吉実朋子・高田壮則(北大・院・環境科学)
- JP1-007 ヤマユリの花の香り:花齢・昼夜・個体サイズに依存した変異と、それが繁殖成功に与える影響 *太田彩子・森長真一(東北大・院・生命)・熊野有子・山岡良平(京工繊大・化学生態)・酒井聡樹(東北大・院・生命)
- JP1-008# 小石原川ダムにおける重要な植物の移植試験に関する中間報告 真鍋徹(北九州市立自然史博物館)・成富秀樹・島田浩一・関根隆好(水資源機構小石原川ダム調査所)
- JP1-009# 雪田に生育する二型花柱性植物において、開花時期の違いが花の形と性投資に与える影響 *辻沢央・酒井聡樹(東北大・院・生命)
- JP1-010# 分断化がコナラの受粉効率と散布前堅果捕食に及ぼす影響:豊凶年度間の比較 *田辺慎一・木村一也(金沢大・自然計測)・大脇淳・中村浩二(金沢大・院・生態)
- JP1-011# ニッコウキスゲ・エゾリンドウにおける蜜分泌戦略:蜜量・蜜濃度を開花順・開花からの時間経過によっていかに変化させるか? *加藤真也・酒井聡樹(東北大・院・生命)
- JP1-012# 一回繁殖型多年生植物オオウバユリの繁殖特性と集団間の遺伝的分化 *鳴海匡・大原雅(北大・院・環境)
- JP1-013# 果実中絶がキスゲとハマカンゾウの生殖隔離に与える影響 *安元暁子・新田梢・矢原徹一(九大・理)
- JP1-014 一斉開花への実験的アプローチ:シラビソの摘花は花芽分化を誘導した *館野正樹(東大・院・理)
- JP1-015 雪解け傾度に沿ったツガザクラ属植物の分布パターンと形態的・遺伝的分化 *亀山慶晃(北大・地球環境)・笠木哲也(金沢大・里山自然学校)・工藤岳(北大・地球環境)
- JP1-016 早池峰山北斜面に生育するアカエゾマツ林冠木の種子生産について *関剛・杉田久志(森林総研・東北)・高橋利彦(木工舎「ゆい」)
- JP1-017# アカマツ地域性品種における樹冠部位別着果数の個体間変異とその球果サイズの変異 *岩泉正和・生方正俊・山田浩雄(林木育種センター)
- JP1-018 北海道北部の針広混交林における林内落下種子群集の12年間の変動パターン *吉田俊也・早柏慎太郎・植村滋(北大・FSC)
- JP1-019 北方林樹木グイマツにおける花芽形成に関する気象要因と遺伝子発現 *岩崎(葉田野)郁・小野清美(北大・低温研)・杉本真一・柳田元継(岡山県生物科学総合研究所)・内山和子・渡辺一郎・来田和人(北海道林試)・小川健一(岡山県生物科学総合研究所)・原登志彦(北大・低温研)
- JP1-020# 装飾花の適応的意義:オオカメノキとノリウツギの装飾花は繁殖成功に寄与しているのか? *内野佑佳・酒井聡樹(東北大・院・生命)
- JP1-021 ミズナラ天然林における花粉飛散距離の推定 *那須仁弥(林育セ・北海道)・星比呂志・渡辺敦史(林育セ)
- JP1-022 タネツケバナのFLCと開花調節との関係 *宮城和章(神戸大・自然)・工藤洋(神戸大・理)
- JP1-023 フランス・アランソンのセイヨウトネリコ採種園におけるジーンフローと繁殖能力の性差 *宮本尚子(北海道育種場)・Raquin Christian・Bertolino Paola・Morand-Prieur Marie-Elise・Marie Frederic・Nathalie Frascalina-Lacoste (Universite Paris-Sud (XI), Laboratoire Ecologie, Systematique et Evolution: ESE)
- JP1-024# 3年続けて伐採した低木・亜高木種の萌芽特性 *菅原未知登・百瀬邦泰(愛媛大)・田中憲蔵(森林総研)・二宮生夫(愛媛大)・林田光祐(山形大)
- JP1-025# 発芽生理学により支持される埋土種子集団形成の適応的意義における新たな観点 *本田裕紀郎・加藤和弘(東大・院・農学生命)
- JP1-026# 種子食鳥類イカルによるニレ科エノキに対する散布前種子捕食—なぜ樹木個体間において被食の時間的パターンが異なるのか?— *吉川徹朗・菊喜喜八郎(京大・院・農)
- JP1-027 サクラソウの繁殖成功に対するクローンサイズ・モルフ比の影響 *田中良典(東大・農生)・石濱史子(環境研究所)・鷲谷いづみ(東大・農生)
- JP1-028 クロウン成長で維持されるオオクグ群落で種子が機能する条件 *荒木悟・國井秀伸(島根大・汽水域研究セ)
- JP1-029# タチギボウシにおける順次開花戦略 *井田崇(北大・院・環境)・Lawrence, D. Harder(カルガリー大)・工藤岳(北大・院・環境)
- JP1-030 森林下層に生育する風媒性・雌雄異株低木エゾユズリハの個体群構造と繁殖生態 *平山貴美子(森林総研・関西)・寄元道徳(京大・フィールド研)
- JP1-031# 屋久島におけるヤマモモ(*Myrica rubra*)の散布前種子捕食 *藤田真梨子・松井淳(奈良教育大)・寺川真理(広大)・駒井古実(大阪芸大)・湯本貴和(総合地球環境研)
- JP1-032# フタバガキ科4種における種子・花粉散布の効果 *竹内やよい(京大・生態研)・田中健太(シェフィールド大)・中静透(総合地球研)
- JP1-033# ヒメシャガの花と果実への食害が繁殖に与える影響 *小黒芳生・酒井聡樹(東北大・院・生命)
- JP1-034# 多年生草本レンゲショウマの種子生産に影響をおよぼす要因の解析 *木村恵(東北大・院・農)・鈴木まほろ(岩手県立博物館)・陶山佳久(東北大・院・農)
- JP1-035# 無葉緑ラン科植物ヒメノヤガラ菌の菌根菌はモミに外生菌根を形成する *谷亀高広(千葉大・自然)・大和政秀(環境総合テクノス)・鈴木彰(千葉大・自然)・岩瀬剛二(環境総合テクノス)
- JP1-036# オオヤマオダマキにおける花序内の機能分化:開花の遅い花の種子生産は補償的か? *板垣智之(東北大・院・生命)・木村恵(東北大・院・農)・酒井聡樹(東北大・院・生命)
- JP1-037 北海道の亜高山性針葉樹林におけるエゾマツの繁殖構造および花粉動態 *富田基史(北大・農)・斎藤秀之(北大・院・農)・陶山佳久(東北大・院・農)

ポスター発表3月25日(土)10:30-16:00

(#: ポスター賞対象発表)

送粉・種子散布

- JP1-038# Dispersal of *Canarium euphyllum* (Burseraceae), a large-seeded tree species, in a moist evergreen forest in Thailand *北村俊平(マヒドン大)・鈴木俊介(滋賀県立大)・湯本貴和(総合地球環境研)・Pilai Poonswad (マヒドン大)・Phitaya Chuailua(サイチョウプロジェクト)・Kamol Plongmai(サイチョウプロジェクト)・丸橋珠樹(武蔵大)・野間直彦・Chumphon Suckasam(タイ国立森林局)
- JP1-039 堅果サイズのばらつきは何のため? シマリスの貯食行動から考えるー *植村滋・藤井麻美子(北大・北方生物圏フィールドセ)
- JP1-040 照葉樹林におけるユズリハの種子散布と実生定着の年変動 小南陽亮(静岡大・教育)
- JP1-041 木の果の豊凶とヒヨドリの個体数変動 山口恭弘(中央農研・鳥獣害研)
- JP1-042# 送粉者を介した植物種間相互作用ーマルハナバチ媒植物の例ー *辻村希望(京大・生態研)・湯本貴和(総合地球環境研)
- JP1-043# ランビルヒルズ国立公園における植物と果実食者との関係 *鴨井環・百瀬邦泰(愛媛大・農)
- JP1-044# Buzz-pollination は有利か?ーヨツバシオガマを例としてー *川合由加・工藤岳(北大)
- JP1-045 種子クリーニング行動を通じたアリと熱帯果樹との共生関係について *大河原恭祐・木村一也・Henny Herwina(金沢大・自然)・Emiwati (LIPI インドネシア生物学研究センター)
- JP1-046# コシキソウの種子散布における種子運搬行動のアリの種による違い *大西義浩・鈴木信彦(佐賀大・農)
- JP1-047# 他種が採餌した花を見分けるアカガネコハナバチの採餌行動 *横井智之・藤崎憲治(京大・院・農)
- JP1-048# ツキノワグマによって散布された植物種子の行方 *小池伸介(東京農工大・院・連農)・森本英人・葛西真輔・小坂井千夏(東京農工大・院・農)・山崎晃司(茨城県自然博)・古林賢恒(東京農工大・院・農)
- JP1-049 Plant-pollinators relationship in restored satoyama paddy fields in Kanazawa, Japan. *Ramadhani Eka Putra, Koji Nakamura (Graduate School of Natural Science and Technology, Kanazawa University)
- JP1-050# 排泄物分析による果実食性鳥類の種子散布行動解析 *松平有加・大河原恭祐(金沢大・自然)
- JP1-051 雄性両全異株・雌雄異熟をしめすイタヤカエデの送粉パターン *菊地賢・柴田銃江・吉丸博志(森林総研)
- JP1-052 株の花数と近隣株の花数がマルハナバチ個体の誘引におよぼす効果:「常連客」をふやすのか、「立ち寄り客」をふやすのか? *牧野崇司(東北大・院・生命)・大橋一晴(筑波大・生命環境)・酒井聡樹(東北大・院・生命)
- JP1-053# 花粉一粒ずつを対象としたDNA分析によるクリの送粉パターンの解明 *長谷川陽一・陶山佳久・清和研二(東北大・院・農)
- JP1-054# 果実の豊凶が果実食鳥類の動態に与える影響について *田知宏(滋賀県立大・院)・近雅博・野間直彦(滋賀県立大・環境)
- JP1-055# 立山高山帯におけるライチョウなどによる種子散布 *曾根綾子(滋賀県立大)・川村信嘉・飯田肇(カルデラ砂防博物館)・近雅博・野間直彦(滋賀県立大)
- JP1-056 取り消し
- JP1-057 果実が少ない冬に沖縄・奄美へ渡る本土のヒヨドリ *野間直彦・濱田知宏(滋賀県立大・環境)・辻野亮(京大・生態研)

- JP1-058# 多摩川の河床堆積物中に含まれる種子の発芽実験による分析 *岩田・星野・吉川(東京農工大・植生管理)
- JP1-059 取り消し
- JP1-060# 一本のコナラになるドングリは均質か?ータンニン濃度の種子間変異と散布者の採食選択ー *高橋明子(京大・院・農)・島田卓哉(森林総研・関西)
- JP1-061 里山林の分断化が鳥による種子散布パターンに及ぼす影響:果実の豊凶と飛来鳥数の関係 *木村一也・田辺慎一(金沢大・自然計測セ)・大脇淳・中村浩二(金沢大・院・生態)
- JP1-062 シカの採食によるアオキ個体群の低密度化が受粉成功と果実寄生に与える影響~複数の生物間相互作用プロセスへの着目 *寺田佐恵子(東大・院・農)・国武陽子(国立環境研)・高田まゆら・宮下直(東大・農)
- JP1-063# クロマツ林の林縁・混交の有無による鳥散布種子と土壌攪乱により発芽する植物種との対応関係 *工藤萌絵子・佐藤佳奈子・紙谷智彦(新潟大・農)
- JP1-064 コナラの人工交配から見た花粉制限の影響について *鶴田燃海・向井謙(岐阜大・院・連農)

遷移・更新

- JP1-065 海岸砂丘に侵入するクロマツの時系列解析 *笹木義雄・森本幸裕(京大・地球環境学舎)
- JP1-066 シカ高密度生息下における照葉樹二次林の12年間の動態 *揚妻直樹(北大・北方生物圏フィールドセ)・日野貴文(北大・農)・辻野亮(京大・生態研)
- JP1-067 木曾川下流域ケレップ水制における水辺林構成樹種の立地特性 *比嘉基紀・大野啓一(横国大・院・環境情報)
- JP1-068# 亜高山帯老齢針葉樹林における25年間の主要樹種の動態 *森章(サイモンフレーザー大)・水町衣里(京大)・小宮山章(岐阜大)
- JP1-069 京都近郊の二次林における12年間の林相の変化 伊東宏樹(森林総研・関西)
- JP1-070 岩手山北東面における植生分布と立地環境ー大規模噴火が森林発達におよぼす影響ー *山口健太(横浜国大・院・環境情報)・杉田久志(森林総研・東北)・土井宣夫(岩手県総務部総合防災)・大野啓一(横浜国大・院・環境情報)
- JP1-071# 樹冠投影図と地形データを用いたGISによる林床光環境推定方法 *高嶋敦史(九大・生物資源)・久米篤(富山大・理)・吉田茂二郎・村上拓彦・溝上展也(九大・農)
- JP1-072 年輪が語る大台ヶ原における森林攪乱 吉野拓也(京大・農)・日野輝明(森林総研・関西)
- JP1-073# 新潟県の海岸クロマツ林に侵入した常緑広葉樹の成長と環境 *山口友平(新潟大・農)・中田誠(新潟大・院・自然)
- JP1-074# 北海道北部のササかき起こし地における炭素貯留量の時系列的な変化 青山圭一(北大・院・環境)
- JP1-075# 北見地方の針広混交林における択伐施業下の林分構造と動態 *野口麻穂子・吉田俊也(北大・院・地球環境)
- JP1-076# ワタスゲ・ホロムイセグが形成する谷地坊主の定着促進(facilitation)効果 *小山明日香・露崎史朗(北大・環境)
- JP1-077# アカマツ林伐採跡地における侵入樹種の更新特性と遷移過程 *西畑敦子・佐野淳之(鳥取大・院・農)
- JP1-078# Structure of the forest canopy and gap, and the topoedaphic dependency in a Tropical Rain Forest of Sarawak: Combining aerial photographs with large scale plot data *Ohkubo T (Utsunomiya Univ.), Itoh A, Yamakura T (Osaka City Univ.), Tani M (Gakuyukan High School), Palmiotto P (Antioch New England Grad. School), Tan S (Sarawak Forest Research

ポスター発表3月25日(土)10:30-16:00

(#: ポスター賞対象発表)

- Center)
- JP1-079 磐梯山のアカマツ林における20年間の遷移過程
*斎藤芳郎(山形大・院・理工)・高木恵一(山形大・理)・原慶太郎(東京情報大・環境情報)・辻村東國(山形大・理)
- JP1-080# 放棄棚田における樹木の定着および成長と立地環境要因 *佐藤輝明・松山恵子(新潟大・農)・中田誠(新潟大・院・自然)
- JP1-081# GISを用いた京都市東山イシ林の拡大過程の解析
*奥田賢・美濃羽靖・高原光(京都府大・院・農)・小椋純一(京都精華大・人文)
- JP1-082 標高傾度に沿ったアカエゾマツ個体群における直径成長の時間自己相関~Digital Microprobeを用いた年輪解析~ *長谷川成明・北村知洋・甲山隆司(北大・地球環境)
- JP1-083# 屋久島照葉樹林における樹木の空間獲得パターン
*矢澤佳子(千葉大・園芸)・梅木清(千葉大・院・自然)・本條毅(千葉大・園芸)・林恩美(千葉大・院・自然)
- JP1-084# 攪乱履歴と現在環境が及ぼす林床植生への影響一伐採と台風の影響は多様性をどこまで説明できるか?一 *日野貴文(北大・院・農)・日浦勉(北大・苫小牧研究林)
- JP1-085# 標高勾配に沿ったミネヤナギパッチの定着促進(facilitation)効果の変化 *松田深雪・露崎史朗(北大・環境)
- JP1-086# 関東地方における社寺林の23~34年間の種組成の変化 *窪山恵美・藤原一繪(横浜国大・院)
- JP1-087 火入れ跡地におけるブナ科樹種の遷移過程 *菅原敬(鳥取大・農)
- JP1-088# 落葉広葉樹の実生の定着を阻害する Colletotrichum 属菌の病原性と種特異性の検証 *山崎実希(東北大・院・農)・岩本晋(協発酵工業)・市原優(森林総研)・清和研二(東北大・院・農)
- JP1-089# 冷温帯落葉広葉樹林における地形依存的な環境の違いが群集構造に与える影響 *寺原幹生・今治安弥・高橋玲奈・山崎実希・長谷川陽一・加納研一・陶山佳久・清和研二(東北大・院・農)
- JP1-090# 湧水湿地ではどのように植生遷移が進むのか? 立地する地形への着目 富田啓介(名古屋大・環境)
- JP1-091 中国雲南省石漠化地域における木本種の初期定着過程 *西尾 孝佳(宇都宮大・野生植物研セ)・楊良(雲南省環境観測センター)・陸樹剛(雲南大・生態研)・王鉄華(雲南大・生命)
- JP1-092 高緯度北極氷河末端域におけるコケ植物の侵入動態 *上野健・内田雅己(極地研)・鮎川恵理(八戸工大)・神田啓史(極地研)
- JP1-093# 非在来木本植物が在来優占種稚樹の加入・成長・生存に与える影響 *赤坂宗光・露崎史朗(北大・院・地球環境)
- JP1-094 森林火災跡地での再生がなぜ困難か?一モンゴル北部フスグル湖周辺のシベリアアカマツ林の場合 草加伸吾(滋賀県立琵琶湖博物館)
- JP1-095# 東京西部のシカ生息地と非生息地の人工林下層植生の比較 *前山絵里(東大・院・生物多様性)・高槻成紀(東大・総合研究博物館)
- JP1-096 北海道標津川における河畔林の更新阻害とその要因 石川幸男(専修大・北海道短大・園芸緑地)

景観生態

- JP1-097 衛星画像による湿原植生の区分と変化モニタリング *高田雅之・布和敖斯尔・棗庄輔(北海道環境科研セ)・齋藤健一・加藤晃司(シン技術コンサル)
- JP1-098# 湖底堆積物の花粉組成からみた朱鞠内湖集水域における過去60年間の植生変化 *佐々木尚子・小川安紀子・吉岡崇仁(総合地球環境研)・日野修次(山形大・理)・高

- 原光(京都府大・農)・柴田英昭・吉田俊也(北大・北方生物圏フィールドセ)
- JP1-099# 生息地の消失と分断化の視点の裏返し:マトリックスの鳥類へのランドスケープ構造の重要性 *山浦悠一・加藤和弘・高橋俊守(東大・農)
- JP1-100 豪雪地帯の農村における森林利用形態 *井田秀行・後藤彩(信州大・教育)
- JP1-101 景観解析による富栄養化物質の発生源の推定一土師ダム水源地域の事例一 *磯崎由行(広大・院・国際協力)・菊池亜希良(広大・総合)・齋藤大輔・島田基世(広大・院・国際協力)・中越信和(広大・総合)・永田智久・坂村晃(国土交通省中国地方整備局土師ダム管理所)・山崎互(ジャグラス)
- JP1-102# Patterns and consequences of vegetation responses to grazing among different landscapes in Mongolian rangelands *Takehiro Sasaki (Tokyo Univ), Tomoo Okayasu, Yasuhito Shirato, Jamsran Undarmaa, Kazuhiko Takeuchi
- JP1-103# 川はなぜ蛇行すべきなのか? 三橋弘宗(兵庫県立人と自然の博物館)
- JP1-104# 野外集団活動に、景観生態学的な学びを!: 国立花山少年自然の家を事例とした自然体験学習支援プログラムの開発 *平吹喜彦(東北学院大・教養)・中條裕(宮城教育大・院・環境教育実践)・林出美菜(東北学院大・教養)・川村寿郎・西城潔(宮城教育大・教育)・千葉文彦・中村織江(国立花山少年自然の家)
- JP1-105# 広島県中部におけるDEMを用いた森林エコトープの解析 *田尾友希(広大・院・国際協力)・中越信和(広大・総合)・磯崎由行(広大・院・国際協力)・菊池亜希良(広大・総合)
- JP1-106# ダム湖の富栄養化予防のための流域の健康診断一土師ダムの事例一 *齋藤大輔(広大・総合)・菊池亜希良(広大・院・国際協力)・田尾友希・磯崎由行・島田基世・鈴木重雄(広大・総合)・永田智久・坂村晃(国土交通省中国地方整備局土師ダム管理所)・中越信和(広大・院・国際協力)
- JP1-107 オブジェクト指向型画像分類手法を用いた西アフリカサバンナにおける樹木分布の推定 *大黒俊哉(農業環境技術研究所)・Joerg Szarzynski・Lazare Tia・Paul Vlek
- JP1-108# 広島市の緑地保全計画とその基礎資料の検討 *橋本千賀子・中越信和(広大・総合)
- JP1-109# 過去の土地利用が現存草地植生の多様性に与える影響について *橋本良延・岩崎巨典(農業環境技術研究所)・小柳知代(東大・院)・大黒俊哉・デイビッド スプレイグ・井手 任(農業環境技術研究所)
- JP1-110 京都近郊里山に生育するアカマツの近年の成長速度 小椋純一(京都精華大・人文)
- JP1-111 景観化学量論:湖沼代謝と集水域土地利用の視点から *占部城太郎・加藤恵理子(東北大)・伴修平(滋賀県立大)・日野修次(山形大)

動物繁殖

- JP1-112 カシノナガキクイムシはミズナラ大径木を好む *衣浦晴生(森林総研・関西)・小林正秀・野崎愛(京都府林業試験場)
- JP1-113# スズムシは死が近いとより求愛に投資する *栗和田隆・粕谷 英一(九大・理)
- JP1-114# ハシトガラスによる卵捕食に対するウミネコの反応の個体差と集団営巣における機能 *風間健太郎(北大・水産)
- JP1-115# カワトンボ類における日齢に伴うオスの精子の劣化

ポスター発表3月25日(土)10:30-16:00

(#: ポスター賞対象発表)

- *土屋香織・林文男(首都大・院・理)
- JP1-116# ウトウの親鳥と雛の餌は違うのか? ~安定同位体分析を用いた食性解析~ *伊藤元裕(北大・院・水産)・南浩史(水産総合研究センター)・綿貫豊(北大・院・水産)
- JP1-117# ヤナギルリハムシにおけるヤナギの葉の質に依存した産卵の抑制と抑制解除 *久保陽子(大阪女大・理)・石原道博(大阪府大・院・理)
- JP1-118# イモゾウムシの繁殖行動は齢の影響を受けるのか? *熊野了州・小濱継雄(沖縄県ミバエ対策事業所)
- JP1-119# 野生ニホンザルの繁殖パラメータに影響を及ぼす要因 *藤田志歩(医薬基盤研)・杉浦秀樹(京大・霊長研)・佐藤静枝(宮城のサル調査会)・高橋弘之(鎌倉女大・児童)・辻大和(東大・院・農学生命)・風張喜子(北大・院・農)
- JP1-120 チョウゲンボウの集団繁殖となわばり行動および周辺環境の関係 *本村健(中野市教育委員会)・堀藤正義(広島市)・金清翔(日大・生物資源)・大石麻美(新潟大・院・自然)
- JP1-121 AFLP マーカーが示すヤツデヒトデのクローン構造 *原本真二・小松美英子・山崎裕治(富山大・理)
- JP1-122 台風の攪乱はエゾアカガエルの繁殖生態を変えたか竹中 中(北東海大・工)
- JP1-123# ベビーシッター選びは文脈依存? 一貝に卵をあずける魚、ピワヒガイの繁殖戦略— 小宮竹史(京大・院・理)
- JP1-124 同所的に生息するタナゴ亜科魚類4種の繁殖生態と産卵宿主利用 北村淳一(京大・院・理)
- JP1-125 散布後の種子捕食者であるツチカメシの繁殖生態とその重要性 *中村仁・林田光祐(山形大・農)
- JP1-126 ニホンアカガエルの繁殖生態:若い個体は遅く産卵する? *松島野枝・河田雅圭(東北大・院・生命)
- JP1-127# 繁殖戦略としての体温調節 *鮫島由佳(東大・農)・楢宜高(国立環境研究所)
- JP1-128# ノネコのメスにおける発情の同調性 *布施名利子・粕谷 英一(九大・理)
- JP1-129 ソフトコーラルに生息する貝類ウミウサギガイの繁殖生態 河合溪(鹿児島大・多島園研究センター)
- JP1-130# 野外におけるサクラマス雄の攻撃行動と繁殖成功 *渡辺正宏・前川光司(北大・F S C)
- JP1-131 シギ・チドリ3種の争い頻度の年変化と環境要因 *笠原里恵・加藤和弘(東大・農)
- JP1-132# オオニワシドリのDNAを用いた性別判別とその外部形態との関係 *勝野陽子(九大・院・比文)・沖田智樹(九大・理)・山口典之(立教大・理)・小池裕子(九大・院・比文)・江口和洋(九大・理)

動物群集

- JP1-133# 広葉樹林とスギ人工林のササラダニ群集は異なるのか? —林齢の異なる16林分における比較— *長谷川元洋(森林総研・木曾)・福山研二・牧野俊一・大河内勇(森林総研)・後藤秀章(森林総研・九州)・岡部貴美子(森林総研)・溝口岳男(森林総研・関西)・阪田匡司(森林総研・北海道)・田中浩(森林総研)
- JP1-134# 生態化学量論にもとづく最適摂餌選択と食物網の進化 *加藤聡史・占部城太郎・河田雅圭(東北大・院・生命)
- JP1-135 ヤンバルの森におけるオオタニワタリ類の分布様式、および、そこに生息するササラダニ類の群集構造 *唐沢重考・肘井直樹(名大・院・生命農)
- JP1-136# Experimental analysis of spatial niche use in intertidal fishes *新垣誠司・渡慶次睦範(九大・理)
- JP1-137 森林構成の異なる流域に生息する底生生物群集の比較 *吉村真由美(森林総研・関西)

- JP1-138# Monitoring of molluscan dynamics in intertidal of subtropic island, Iriomote *栗元美代子・高伏剛・渡慶次 睦範
- JP1-139# 岩礁潮間帯の固着生物群集における群集構造の季節変化の空間変異性 *赤阪俊介(北大・水産)・野田隆史(北大・環境)・仲岡雅裕(千葉大・自然)・山本智子(鹿児島大・水産)・堀正和(東大・農学生命)
- JP1-140 岩礁潮間帯固着生物群集における帯状分布の空間スケール変異性 *岩崎藍子(北大・水産)・野田隆史(北大・環境)・仲岡雅裕(千葉大・自然)・山本智子(鹿児島大・水産)・堀正和(東大・農学生命)
- JP1-141# ゴール形成者アオキミタマバエとカメムシ類種子食者間の非対称な種間相互作用 今井健介(京大・院・農)
- JP1-142# マレーシア・サラワク州における森林利用が小型哺乳類群集に与える影響 *中川弥智子(地球研)・箕口秀夫(新潟大)・中静透(地球研)
- JP1-143# 鬼怒川河川敷における直翅目昆虫の群集構造 *吉岡明良・角谷拓・村中孝司・須田真一・鷲谷いづみ(東大・保全生態)
- JP1-144 北海道釧路町における繁殖期の森林性鳥類 玉田克巳(北海道環境科学センター)
- JP1-145# 里山林を伴った大学キャンパスにおける生態系(1)環境多様性とチョウ類群集構造 *東條達哉・釜我美菜子・桜谷保之(近畿大・農)
- JP1-146 伐採後に生じるボトムアップ・カスケード:ヤナギの補償生長が植食性・捕食性節足動物の多様性を促進する *中村誠宏(自然環境研セ)・加賀田秀樹・大串隆之(京大・生態研)
- JP1-147 Change in the diversity and structure of soil animal communities during the restoration of satoyama in Kanazawa, Japan *Ida Kinashi, Koji Nakamura (Kanazawa University)
- JP1-148 Changes in the diversity and structure of diptera communities during the restoration of satoyama in Kanazawa, Japan *Indah Trisnawati D T, Koji Nakamura (Kanazawa University)
- JP1-149# 山で行う島の生物学:ユスリカ局所群集の構造決定機構 *室榎博幸・鈴木孝男・河内正一郎・下山稔・占部城太郎(東北大・院・生命)
- JP1-150 石垣島宮良湾、石西礁湖内シモビシ、カタグアーの魚類群集構造の比較 *洪野拓郎・高田宜武(西海水研・石垣)・藤岡義三(JIRCAS)・大葉英雄(東京海洋大)・下池和幸・木村匡(自然研)・鈴木淳・長尾正之(産総研)・阿部寧・橋本和正(西海水研・石垣)
- JP1-151# 河川底生動物の生態機能—リター分解の決定機構— *森照貴・村上正志(北大・苫小牧研究林)
- JP1-152# 河川性底生動物の群集構造と落葉分解速度との関係 *神山聖(北大・低温研)・森照貴(北大・苫小牧研究林)・三宅洋(愛媛大・工)
- JP1-153# 鈴鹿山系御池岳における訪花性カミキリムシの群集構造の解析 *牛島帆広(ラーゴ)・沢田裕一(滋賀県立大・環境)
- JP1-154# 市街地を流れる小河川のトンボ相と河川環境 *山田梢恵・並川寛司(北教大・札幌)
- JP1-155# オオクチバスとその被食者の形態および行動に見られる左右性 *八杉公墓・堀道雄(京大・院・理)
- JP1-156# 里山の棚田復元に伴う水田の昆虫類・クモ類の変化について *菊池知子(金沢大・院・生態)・中村浩二(金沢大・自然計測応用研セ)
- JP1-157# 水域から森林への異地性流入:アオサギを介した流入の途絶が林床の生物群集に及ぼした影響 *上野裕介(北大・院・水産)・堀正和(東大・院・農)・野田隆史(北大・

ポスター発表3月25日(土)10:30-16:00

(#: ポスター賞対象発表)

院・環境)

- JP1-158# 都市鳥の法則 ~群集生態学的アプローチ~ 三上修(九大・理)
- JP1-159# 対抗的表現型可塑性への上位捕食者による干渉 *岸田治・西村欣也(北大・院・水産)
- JP1-160# タイ・カオヤイ国立公園の林床における哺乳類・鳥類の果実訪問パターン *鈴木俊介(滋賀県立大)・北村俊平(サイチョウプロジェクト)・近雅博(滋賀県立大)・Pilai Poonswad・Phitaya Chuailua・Kamol Plongmai(サイチョウプロジェクト)・Takakazu Yumoto(総合地球環境研)・野間直彦(滋賀県立大)・丸橋珠樹(武蔵大)・Chumphon Suckasam(タイ王立森林局)
- JP1-161 ボルネオの熱帯雨林におけるアリ形グモ群集の多様性 *遠藤知二(神戸女学院大・人間)・橋本佳明(兵庫県立大・自然環境)・館卓司(九大・熱帯農)・マリアッティ・モハメド(マレーシア国立サバ大)
- JP1-162# 海草藻場の葉上動物群集の空間変異に対する地域的要因と局所的要因の相対的重要性 *恵良拓哉・山田勝雅・仲岡雅裕(千葉大・理)
- JP1-163# 森林ギャップが促進させるアリ-半翅目-植物三者相互作用系 *半田千尋・市岡孝朗(京大・人間環境)
- JP1-164 IBOY データを用いた昆虫群集の種数-個体数分布の解析 *村上正志・平尾聡秀(北大・苫小牧研究林)・小木広行(北大・低温研)・柏崎昭(北海道道環研)・平井善幸(北大・歯)・田辺慎一(金沢大・理)・稲荷尚記・萬屋宏・戸田正憲(北大・低温研)
- JP1-165# 寄生強度の空間相関を推定するランダムフィールドモデル *平尾聡秀・村上正志(北大・苫小牧研究林)・久保拓弥(北大・地球環境)
- JP1-166# リン制限環境下におけるミジンコ2種の成長応答:餌の質は競争に重要か? *岩淵翼・占部城太郎(東北大・院・生命)
- JP1-167 栄養段階から見た岩礁潮間帯における群集構造の緯度勾配 *山本智子(鹿児島大・水産)・野田隆史(北大・水産)・仲岡雅裕(千葉大・自然)・堀正和(東大・農)
- JP1-168# 寄生虫の感染による宿主の表現型の変化 *三浦収(東北大・生命科学)・千葉聡(東北大・生命科学)
- JP1-169# パーライトを用いた野外実験によるトビムシ群集の制限要因の検討 *齋藤星耕・武田博清(京大・院)

物質循環

- JP1-170 冷温帯落葉広葉樹林の光合成能の季節変化とその年変動 *村岡裕由・小泉博(岐阜大・流域圏センター)
- JP1-171 Nitrogen dynamics in decomposing leaf litter with reference to acid-insoluble lignin fraction and stable isotopes *Takashi Osono, Hiroshi Takeda (Graduate School of Agriculture, Kyoto University)
- JP1-172# タイ国熱帯林における雨期と乾期の土壌呼吸速度 *安立美奈子(農業環境技術研究所)・Sarayudh Bunyavejchewin・奥田敏統・小泉博
- JP1-173 近年の日本における農地での窒素・リン酸過剰の動向 *三島慎一郎・谷口悟・駒田充生(農業環境技術研究所)
- JP1-174 Functional classification of community structure and its relationships with primary production in a seagrass meadow *Masakazu Hori, Natsuki Hasegawa, Katsumasa Yamada, Yoshiyuki Tanaka
- JP1-175# Spatial variations of primary producers between seagrass beds in Akkeshi-ko estuary *Natsuki Hasegawa (Hokkaido Uni.), Masakazu Hori, Yoshiyuki Tanaka (Uni.Tokyo), Katsumasa Yamada (Chiba Uni.), Hiroshi Mukai (Hokkaido Uni.)

- JP1-176# Among-site and seasonal variability of d13C and d15N for primary producers in Akkeshi water system *Yoshiyuki Tanaka(Univ.Tokyo), Toshihiro Miyajima (Univ.Tokyo), Katsumasa Yamada (Chiba Univ.), Masakazu Hori (Univ.Tokyo), Natsuki Hasegawa (Hokkaido Univ.), Yu Umezawa (Univ. Hawaii), Isao Koike (Univ.Tokyo)
- JP1-177# Effect of predation to size distribution of macrofaunal assemblage in seagrass bed, northern Japan *Katsumasa Yamada (Chiba Univ.), Masakazu Hori, Yoshiyuki Tanaka (Univ.Tokyo), Natsuki Hasegawa (Hokkaido Univ.), Masahiro Nakaoka(Chiba Univ.)
- JP1-178# 安比高原のブナ二次林における土壌呼吸平面分布と立木位置の関係 *橋本徹・三浦覚(森林総研・東北)・池田重人(森林総研)・志知幸治(森林総研・東北)
- JP1-179 Comparison of two open-flow chamber techniques for measuring soil CO₂ efflux in a cool-temperate broadleaf deciduous forest *莫文紅・安立美奈子・横沢正幸(農環研)・小泉博(岐阜大)
- JP1-180# 冷温帯落葉広葉樹林における二次遷移に伴った純生産量の変化 *谷村尚之・大塚俊之(茨城大・理)
- JP1-181 冷温帯落葉広葉樹林の斜面に沿った土壌窒素無機化特性の時空間的変動 *廣部宗(岡山大・農)・菱拓雄(京大・農)・館野隆之輔(鹿児島大・農)
- JP1-182 立山・浄土山における湿性沈着負荷量の測定 *丹羽英介(富山大・理工)・久米篤(富山大・理)・和田直也(富山大・極東地研セ)
- JP1-183# Radiative transfer simulation of three-dimensional distribution of photosynthetically active radiation of forest canopy under various atmospheric conditions *小林秀樹(JAMSTEC-FRCGC)・デニス ダイ(JAMSTEC-FRCGC)
- JP1-184# 新潟県における陸水pHの長期的変動と酸性雨(雪)との関係 *森元伸吾(新潟大・農)・穂積祐・植田洋匡(酸性雨研究センター)・中田誠(新潟大・院・自然)
- JP1-185 日本列島の温度傾度に対するスギ・ヒノキ材の重量減少と窒素動態 *稲垣善之・高橋正通・阪田匡司・酒井佳美・池田重人・金子真司・漢那賢作(森林総研・四国)
- JP1-186# 基礎生産構造を推定する生物データロガーとして有効なアコヤガイ *福森香代子(愛媛大・CMES)・大井美沙・奥田昇・速水祐一・小泉喜嗣
- JP1-187# 北極圏ゾンドラ生態系における凍結リターからのCO₂放出 *菅尚子(岐阜大・流域圏センター)・内田雅己(国立極地研)・吉竹晋平(広大・院・生物圏)・神田啓史(国立極地研)・小泉博(岐阜大・流域圏センター)
- JP1-188# 東カリマンタン熱帯林土壌系の微生物バイオマスと窒素・リンの関係 *喜多智(東農工大・院・農)・Cahyono Agus (Gajah Mada University)・戸田浩人・生原喜久雄(東農工大・院・農)
- JP1-189 Decomposition process (litterfall, litter decomposition and soil respiration) at a Quercus glauca stand under global warming environment (1) During three years after the start of experiment. *Nakane K., Joo S J, Yim M H (Graduate School of Biosphere Science, Hiroshima University)
- JP1-190# 安定同位体を用いた日本の森林土壌における炭素蓄積メカニズムの解明 *新井宏受(京大・院・農)・徳地直子(京大・フィールド教育研セ)・木庭啓介(東工大・院・総合理工)
- JP1-191 嫌氣的土壌中酢酸の安定同位体比測定 *藤村栄貴・山田桂大・木庭啓介・吉田尚弘(東工大)
- JP1-192# 隣接するモウソウチク林と二次林の現存量の比較 *小川遼・徳地直子(京大・院・農)
- JP1-193# 半島マレーシア熱帯雨林における個葉生理特性と

ポスター発表3月25日(土)10:30-16:00

(#: ポスター賞対象発表)

- 樹冠上フラックス *高梨聡・小杉緑子・松尾奈緒子・大久保晋治郎・福井祐介・中西理絵・谷誠(京大・農)・Abdul Rahim Nik(マレーシア森林研究所)
- JP1-194# 木津川砂州におけるヤナギ類を起点とする食物網の解析 *上田泰子・松井淳(奈良教育大)
- JP1-195# 二次遷移に伴う土壤炭素動態変化のモデルシミュレーション *石川真知子(筑波大・院・環境)・横沢正幸・白戸康人(農業環境技術研究所)・鞠子茂(筑波大・院・生命環境)
- JP1-196# 塩生湿地における植物の帯状構造と土壤炭素フラックスの時間変動 *山本昭範(筑波大・院・環境)・廣田充(国立環境研究所)・遠藤政弘・鈴木静男(環境科学技術研究所)・鞠子茂(筑波大・院・生命環境)
- JP1-197 伐採後 20 年経過した冷温帯落葉広葉樹林における土壤炭素動態 *西脇愛・李美善(岐阜大・流域圏センター)・安立美奈子(農環研)・小泉博(岐阜大・流域圏センター)
- JP1-198 取り消し
- JP1-199# 洞窟生態系は存在するか? ~その境界と独立性を考える~ *新部一太郎・星川和夫(島大・生物資源)
- JP1-200 垂高山帯針葉樹林の土壤呼吸に対する細根呼吸の占める割合 *藤吉正明(東海大・教養)・内田雅己(国立極地研究所)・中坪孝之(広大・院・生物圏)・小泉博(岐阜大・流域圏科研セ)
- JP1-201# 北方林における土壤-大気間の温室効果ガスのフラックスとそれに関わる微生物の群集構造 *堤正純・小島久弥(北大・低温研)・加藤京子(JST/CREST、北大・低温研)・戸田求(北大・低温研)・植村滋(北大・北方生物圏フィールド科学センター)・隅田明洋・原登志彦・福井学(北大・低温研)
- JP1-202 サンゴ礁に生息するウデフリクモヒトデの餌資源推定 *田村裕(沖縄県三バ工対策事業所)・土屋誠(琉球大・理)
- JP1-203 取り消し
- JP1-204 チベット高山草原の標高傾度に伴う土壤炭素蓄積量の変化 *大塚俊之(茨城大・理)・廣田充・下野綾子・唐艶鴻
- JP1-205 山地源頭部における人工林林齢と溪流の底生動物群集、流下有機物の対応関係 *小林草平・五味高志・Roy C Sidle(京大・防災研)
- JP1-206# 高齢林からの窒素流出: 現状と予測 *福島慶太郎・徳地直子・館野隆之輔・大守信人(京大・院・農)
- JP1-207 高山生態系における植物の窒素安定同位体比 *深山景亮・中下留美子・楊宗興(東京農工大・院)
- JP1-208# 糞塊生産性ミミズ(陸生大型貧毛類)の物質循環への寄与(キナバル・与那) *川口達也・R J Blakemore・伊藤雅道・金子信博(横浜国大・環境情報)・北山兼弘(京大・生態研セ)
- JP1-209# ササ摘葉強度と土壤の窒素無機化速度の関係~中程度の摘葉は窒素の無機化を最大化するか? ~ *丹羽慈・金子信博(横浜国大・院・環境情報)・岡田浩明(農環研)
- JP1-210 北極氷河後退域における土壤呼吸速度におよぼす構造土の影響 *内田雅己(極地研)・吉竹晋平(広大・院・生物圏)・菅尚子(岐阜大・流域圏センター)・神田啓史(極地研)
- JP1-211# チベット高山草原における植生と土壤炭素フラックス *張鵬程(筑波大・院・生命環境)・唐艶鴻(国立環境研)・廣田充(国立環境研)・山本昭範(筑波大・院・環境)・鞠子茂(筑波大・院・生命環境)
- JP1-212# 安定同位体を用いた琵琶湖における亜酸化窒素生成・消費メカニズムの解析 *眞壁明子・木庭啓介(東工大・総理工)・由水千景(科技構)・陀安一郎・金詰九(京大・生態研)・小川奈々子・大河内直彦(海洋開発機構)・豊田栄(東工大・総理工)・戸張賀史(東工大・総理工)・吉田尚弘(東工大・フロンティア)・永田俊(京大・生態研)
- JP1-213# 水鳥が飛来する池沼における水質季節変動の比較研究 *中村雅子(島根大・生物資源)・牛山克巳(北海道美幌市)・江面康子(日本野鳥の会)・神谷要(中海水鳥国際交流基金財団)・嶋田哲郎(宮城県伊豆沼内沼環境保全財団)・田尻浩伸(日本野鳥の会)・相崎守弘(島根大・生物資源)
- JP1-214# N施肥が永久凍土帯カラマツ林生態系内N循環に及ぼす影響 *近藤千真(京大・院・農)・徳地直子・廣部宗・松浦陽二郎・梶本卓也・大沢晃・Zeryanova O A・Abaimov A P
- JP1-215 Recent and ongoing studies at Jamstec-Frcgc on photosynthetically active radiation and the terrestrial carbon cycle *Dennis G Dye, Hideki Kobayashi, Akihiko Ito (Jamstec-Frcgc)
- JP1-216# モンゴル半乾燥草原における土壤炭素フラックス *浦野忠朗(筑波大・院・生命環境)・鞠子茂(筑波大・生物)・杉田倫明・浅沼順(筑波大・地球科学)・及川武久(筑波大・生物)

種多様性

- JP1-217# 森林の鳥類多様性に及ぼす景観構造の影響 尾崎研一(森林総研)
- JP1-218# Foliage structure, prey abundance and tree preference of tits at Gwangneung deciduous forest in Korea Chan-Ryul Park (Division of forest ecology, Korea Forest Research Institute)
- JP1-219# 岩礁潮間帯における植食性軟体動物群集のβ多様性の空間変異性 *萩野友聡(北大・水産)・野田隆史(北大・環境)・仲岡雅裕(千葉大・自然)・山本智子(鹿児島大・水産)・堀正和(東大・農)
- JP1-220 獣道を利用する野生動物のカメラ・トラップによる評価と植生構造の関連性 *園田陽一(明治大・農)・田村典子・倉本宣
- JP1-221# 餌選択の進化が生態系の複雑性-安定性関係に与える影響 *山口和香子(東北大・理)・近藤倫生(龍谷大・理工)・河田雅圭(東北大・生命)
- JP1-222# 群島における生物群集の多様性と進化: 環境攪乱とアリー効果 *阿部友紀・嶋田正和(東大・広域システム)
- JP1-223# 日本産エンレイソウ属植物における種間系統関係の再検討 *久保田涉誠・亀山慶晃・大原雅(北大・院・環境)
- JP1-224# 森林管理方法の違いが菌類子実体の多様性におよぼす影響 -マレーシア・サラワク州における場合- *山下聡(総合地球環境研)・百瀬邦泰(愛媛大)・中川弥智子・中静透(総合地球環境研)
- JP1-225# ダム建設の淡水魚類への影響解析-全国スケールでの評価 *韓美德・福島武彦(筑波大・生命環境)・福島路生・亀山哲(国立環境研究所)
- JP1-226 自然環境保全基礎調査データを用いた鳥類の生息分布予測 *永田尚志(国環研)・金井裕(日本野鳥の会)
- JP1-227# 材分解速度の局所変動と樹木の空間分布は対応するか? *森早苗・名波哲・伊東明・山倉拓夫(大阪市立大・院・理)
- JP1-228# 松島島嶼における蝶の種多様性: 資源分布は多様性パターンを説明するか *山本直明・横山潤・河田雅圭(東北大・院・生命)
- JP1-229 富士山北西麓の半自然草原におけるチョウ類群集と植物群落の関係: チョウ類の多様性と成虫資源について *北

ポスター発表3月25日(土)10:30-16:00

(#: ポスター賞対象発表)

- 原正彦・安田泰輔・杉田幹夫・中野隆志(山梨環境研)・後藤徹寛(農業工研)
- JP1-230 富士山北西麓の半自然草原におけるチョウ類群集と植物群落の関係: 草本群落の種多様性と季節的変動について *安田泰輔・北原正彦・杉田幹夫・中野隆志(山梨環境研)・後藤徹寛(農業工研)
- JP1-231# ススキを利用する動物 *山中みのり(滋賀県立大・院)・桜谷保之(近畿大・農)
- JP1-232# 西条盆地に生育する絶滅危惧植物シヤジクモ類の保全に向けた分子系統学的研究 *波多江智子・井鷲裕司(広大・総合)
- JP1-233# タンガニカ湖シクリッドの適応放散による食物網形成: 安定同位体からのアプローチ *武山智博(京大・院・理)・奥田昇・永田俊・陀安一郎(京大・生態研セ)・堀道雄(京大・院・理)
- JP1-234 ヤマアリ亜科における表面炭化水素組成の多様性 *潘宇・市野隆雄(信州大・理)
- JP1-235# 体表炭化水素とDNAによるアリーアブラムシ系の共進化の研究 *遠藤真太郎・市野隆雄(信州大・理)
- JP1-236# アリ植物マカランガに共生するカイガラムシ類の分子地理系統解析 *上田昇平(信大・院・総工)・Swee-Peck Quek・市岡隆雄・Penny Gullan・市野隆雄
- JP1-237# 低地フタバガキ林の非一斉開花期に植物食コウモリが多様性はどのように維持されるか *福田大介(京大・生態研セ)・鴨井環・百瀬邦泰(愛媛大・森林修復)・Oswald Braken Tisen (Sarawak Forestry Corporation)・酒井章子(京大・生態研セ)
- JP1-238# 夏緑広葉樹林構成種にみられる遺伝的分化の地理的パターン *岩崎貴也(京大・理)・青木京子(京大・人環)・瀬尾明弘・村上哲明(京大・理)
- JP1-239 落葉広葉樹二次林の遷移とハナバチ相 *牧野俊一・後藤秀章・井上大成・岡部貴美子・田中浩・大河内勇(森林総研)
- JP1-240 取り消し

数理

- JP1-241# Community structure and stability analysis for intraguild interactions among host, parasitoid, and predator *仲澤剛史・山村則男(京大・生態研セ)
- JP1-242 雄の体サイズと雌の好みの進化 - 共食いするクモでは小さな雄が好まれるのか? *上原隆司・岩下和泉・巖佐庸(九大・理)
- JP1-243 要因の効果は、データ解析で使うモデルに依存する粕谷英一(九大・理)
- JP1-244# Optimal conservation strategy in fluctuating environments: Protection of endemic and extermination of alien species *Hiroyuki Yokomizo, Patsy Haccou, Yoh Iwasa (Kyushu Univ.)
- JP1-245 取り消し
- JP1-246 空間構造と協力的行動の進化 *江副日出夫・松田真水(大阪女大・理)
- JP1-247 フーリエ記述子に基づく葉縁鋸歯形状の定量的評価 - ケヤキを用いた評価手法の検討 - *岩田洋佳(中央農業総合研究センター)・高橋誠(林木育種センター)
- JP1-248 富栄養化の逆説を解く *舞木昭彦・西村欣也(北大・院・水産)
- JP1-249 侵入生物による絶滅のコンピュータシミュレーション 吉田勝彦(国立環境研)
- JP1-250# キタキツネの空間分布及び駆虫剤散布によるエキノコックス感染率変動の数理モデル *加藤直人・松田裕之(横

- 国大・院・環境情報)
- JP1-251# Theory of grazing optimization with herbivory improving photosynthetic ability *林素行・山内淳(京大・生態学研究中心)
- JP1-152 取り消し
- JP1-253 An Investigation on the relationship between the land use change and water quality of rivers in the Chugoku district of Japan: Part 2 *Amiri Bahman Jabbarian, 中根周歩(Hiroshima Univ.)
- JP1-254# 格子空間における感染の流行を防ぐための栽植パターン *鈴木清樹・佐々木顕
- JP1-255 花資源の質と分布がコマルハナバチの営巣場所に与える影響 *鈴木ゆかり・川口利奈・Dulee Munidasa・徳永幸彦(筑波大・共存生物)

古生態

- JP1-256 栗駒山のオオシラビソ小林分周辺における植生変遷 *池田重人・橋本徹・若松伸彦(森林総研)
- JP1-257 縄文時代の森林利用 - 新潟県青田遺跡でのクリ・コナラの建物の材としての利用 木村勝彦(福島大・理工)

保全・都市生態

- JP1-258# 地球温暖化にともなうシデコブシの分布域の変化 - インフラによる分断化の影響 - 丸田泰司・*安久裕介(名工大・社会工)
- JP1-259 侵入種除去による孤立社寺林の植生維持・管理方法の提唱 *岩崎絢子・石井弘明(神戸大・自然)
- JP1-260 シラタマホシクサの現存状況と繁殖システムについて *増田理子(名工大・都市社会)・岩井貴彦(名工大・都市循環)・浅井聡司(名古屋県立天白高校)
- JP1-261# 北の丸公園における植栽がもたらすシイ林の交雑 小林悟志(国立情報学研究所)
- JP1-262 希少淡水魚保護の現場から(JES52 アユモドキ自由集会報告) 新村安雄(リバーリバイバル研究所)
- JP1-263# 世界最南限のイワナ個体群「キリクチ」の保全生態学的研究 - 隔離された小個体群の実効的管理策について - *佐藤拓哉・有園正弘・原田泰志(三重大・院)・名越誠・森誠一(岐阜経済大)・渡辺勝敏(京大・院)
- JP1-264 オオタカにおける個体群間の遺伝的多様性の比較 - オオタカの先行型保全手法に関連して - *高木義崇・河原孝行・工藤琢磨(森林総研・北海道)・北村尚士(EFP)
- JP1-265 分布特性と遺伝的固有性に基づく絶滅危惧ザリガニの保護管理計画案 *西川潮(国立環境研究所)・小泉逸郎(University of Helsinki)・川井唯史(北海道原子力環境研究センター)・増田隆一(北大)
- JP1-266 自然資源特性30項目に基づく植物群落評価の試みとその保全学的有効性 *矢ヶ崎朋樹(国際生態学センター)・鈴木邦雄(横浜国大・院・環境情報)
- JP1-267 赤井谷地における湿原再生地の初期植生 竹原明秀(岩手大・人文社会)
- JP1-268 上信越高原国立公園 苗場山における踏みつけによる湿原植生の変化 *尾関雅章・大塚孝一(長野県環境保全研究所)
- JP1-269 川辺林と残地林がホンダタヌキ(*Myctereutes procynoides viverinus*)の行動圏利用に果たす役割 千々岩哲(ラゴ)
- JP1-270# 洪水とハタバカンガレイの影響 *北村孔志・吉村仁・泰中啓一(静岡大・工)
- JP1-271 地球温暖化影響の指標としてのハイマツの年枝生長

ポスター発表3月25日(土)10:30-16:00

(#: ポスター賞対象発表)

- 名取俊樹(国立環境研究所)
- JP1-272# One-sided barrier effect of a railroad on the migration of Mongolian gazelles *伊藤健彦(鳥取大)・岡田あゆみ(茨城県立医療大)・B Buuveibaatar・B Lhagvasuren(モンゴル科学アカデミー)・高槻成紀(東大)・恒川篤史(鳥取大)
- JP1-273# 絶滅危惧種ヒヌマイトンボの生息環境として創出されたヨシ群落の構造と動態 *森本正俊・山村靖夫(茨城大・理)・渡辺守(筑波大・生物)
- JP1-274# 孤立社寺林における20年間の林分構造の変化 *武野真也・石井弘明(神戸大・自然)
- JP1-275 絶滅危惧種ヒヌマイトンボの生息環境として創出されたヨシ群落における幼虫の分布 *寺本悠子(筑波大・保全生態)・諏佐晃一・倉内洋平(筑波大・環境)・渡辺守(筑波大・院・生命環境)
- JP1-276 置換不能度をもちいたサンゴ礁保全候補地の生物群(サンゴ・海藻・魚)による相違 *高田宜武(西海区水研石垣)・辻宣行(国立環境研)・渋谷拓郎(西海区水研石垣)・藤岡義三(JIRCAS)・大塚英雄(東京海洋大)・木村匡・下池和幸(自然研)・阿部寧・橋本和正(西海区水研石垣)
- JP1-277 ムササビの出巢時刻の変化:10年前との比較(一例報告) 高取浩之・*森貴久(帝京科学大・アニマルサイエンス)
- JP1-278 カヤネズミの淀川水系における営巣適地の要因と連続性 *畠佐代子(大阪自然環境保全協会)・夏原由博(大阪府立大)
- JP1-279 絶滅危惧植物を用いた除草剤グリホサートの急性毒性評価 喜多晃一・*池田浩明
- JP1-280# ふゆ・みず・たんぼ(冬期湛水田)の生物相復元効果 平井利明(東北大・院・農)
- JP1-281# 霞ヶ浦における在来4種と移入3種のタナゴ類の現状と保全 *諸澤崇裕(筑波大・生物資源)・藤岡正博(筑波大・農技セ)
- JP1-282 琵琶湖沿岸食物網の空間的異質性—安定同位体からのアプローチ(予報) *荻部甚一・奥田昇・陀安一郎(京大・生態研)
- JP1-283# 絶滅危惧種ヒヌマイトンボの生息環境として創出されたヨシ群落における成虫の季節消長と分布 *東敬義(三重県埋蔵文化財センター)・松浦聡子(筑波大・環境)・渡辺守(筑波大・院・生命環境)
- JP1-284 沿岸地域における地上脊椎動物相の類型化と地理的環境要因 *阿部聖哉・梨本真・松木吏弓・竹内亨・小林卓也(電力中央研究所)
- JP1-285# 礫下間隙を用いた河床礫環境の追跡と底生魚トウヨシノボリによる礫利用 *小野田幸生(京大・生態研)・遊磨正秀・丸山敦(龍谷・理工)
- JP1-286 ギフチョウの産卵密度に対する二次林の植生管理の効果 *須賀丈・尾関雅章・浜田崇・岸元良輔(長野県環境保全研究所)
- JP1-287 屋上緑化の植生及びその植栽密度が土壌温度、水分に及ぼす影響 *小野勝義・宮原望美・中根周歩(広大・生物圏)
- JP1-288 緑藻マリモの補償深度モデルに基づく湖水浄化事業の定量的評価 *若菜勇(阿寒湖畔EMC)
- JP1-289# 絶滅危惧種オガサワラヨシノボリの保全単位と保護対策 *横井謙一・細谷和海(近畿大・院・農)
- JP1-290# 絶滅危惧種マメナシにおける種子の生産性と自家不和合性 *加藤珠理(岐阜大・連農)・岩本祐佳・松岡美帆・向井譲(岐阜大・応生)
- JP1-291# 野生鳥類の「死因」についてのスケーリング *長雄一(道環研)・金子正美(酪農大・環境)・浅川満彦(酪農大・獣医)
- JP1-292# 溶存酸素、水温条件とフナの呼吸生理特性の関係—生息場所評価への基礎として— *山中裕樹(京大・生態研)・神松幸弘(地球研)
- JP1-293# 赤外線センサーカメラを用いた都市緑地でのタヌキ・アナグマ・ハクビシンの生態 *小林まや・坂本信介(都立大院・理)・鈴木惟司(首都大・生命)
- JP1-294# 河川敷植生における帰化植物オオバタクサの生育環境条件について *清水静也・山村靖夫(茨城大・理)・安田泰輔・池口仁・中野隆志(山梨県環境科学研究所)
- JP1-295# 洞爺湖中島におけるエゾシカの樹皮食いと樹木の肥大成長 *草嶋乃美・並川寛司(北教大・札幌)・宮木雅美(北海道環境科学研究所)・石川幸男(専修大・北海道短大)
- JP1-296# トンボ目の潜在的な生息適地の広域的評価 *布川洋之(徳島大・工)・吉田一夫(市場町にトンボの里を作る会)・原田悦子(徳島大・院・工)・三橋弘宗(人と自然の博物館)・鎌田磨人(徳島大・工)
- JP1-297# ボルネオ島の異なる人為的攪乱下の植生における鳥類相 相原由美(愛媛大・農)
- JP1-298 茨城県坂東市のオニバス群落における一考察 小幡和男(茨城県自然博物館)
- JP1-299 荒川河口域における絶滅危惧種トビハゼの生息状況 *横山泰宏・倉本宣(明治大・農)
- JP1-300# どのような湿地で絶滅したか:愛知県におけるシラタマホシクサの減少 *藤原直子(豊橋市自然史博物館)・富田啓介(名大・環境)
- JP1-301 人間活動がエゾシカの生息地利用に与える影響 *鈴木透・立木靖之(EnVision)・宇野裕之(北海道環境研)・平川浩文(森林総研・北海道)・赤松里香(EnVision)
- JP1-302# サケ科魚類イトウの絶滅危機河川における個体群復元実験 *大光明宏武(オビラメの会/酪農学園大)・秋葉健司(オビラメの会/野生生物総合研究所)・野本和宏(オビラメの会/北大)・上畑勇騎(オビラメの会/北海道工大)・江戸謙顕(オビラメの会/文化庁)
- JP1-303 水田に雑草として生育するRDB種の分布特性に関する一考察—栃木県中東部の水田を事例として— *嶺田拓也・石田憲治(農業工学研究所)
- JP1-304# 開設後の経過時間が異なる林道の森林構造に対するエッジ効果 *五十嵐秀一・榎木勉・辻和希(琉球大・農)
- JP1-305# 多摩川におけるカワラナデシコの繁殖生態および種子発芽特性 *植松拓理・倉本宣(明治大・農)
- JP1-306# 小笠原諸島父島東平地域における外来種ノヤギによる希少植物への食害の現状、及び個体群持続可能性を考慮したノヤギ防護柵設置地域の検討手法の提案 *藤田卓(九大・理)・松崎泰憲(ピー・アール・オー)・安井隆弥・和田美保・吉井信秋(小笠原野生生物研究会)・安部哲人(森林総研)・鋤柄直純(自然環境研究センター)
- JP1-307# 都市分断林におけるミヤマナルコユリ、ナルコユリ、ハウチャクソウの分布 *粕谷絵美子・倉本宣(明治大・農)
- JP1-308 復田された谷戸田におけるカエル類の生息状況の経年変化 福山欣司(慶応・生物)
- JP1-309 都市近郊の大学農場とその周辺の里山を活用した保全教育の基盤づくり *倉本宣・多田聡・加納明彦・興水肇・古賀陽子(明治大・農)
- JP1-310# ヤクシカのスポットライトカウント調査の問題点:見通し距離と道路からの距離によるシカ分布について *太田碧海(横浜国大)・高橋裕史(北大)・立澤史郎(北大)・松田裕之(横浜国大)
- JP1-311# AFLPによる絶滅危惧種ヒゴタイの野生集団および栽培集団の遺伝解析 *兼子伸吾・井鷲裕司・中越信和(広大・院・国際協力)

ポスター発表3月25日(土)10:30-16:00

(#: ポスター賞対象発表)

- JP1-312 吉野川上流域における針葉樹人工林の適正間伐が
土壌孔隙率と最大容水量に及ぼす影響 *金行悦子・中根周
歩(広大・院)
- JP1-313# 谷戸田におけるトウキョウダルマガエルの体長と年
齢構成 *戸金大(明治大・院・農)・福山欣司(慶応・生
物)・倉本宣(明治大・農)
- JP1-314# 谷戸環境におけるホトケドジョウの保全に関する基
礎的研究 *持田美和・倉本宣(明治大・農)
- JP1-315 伊豆・紀伊半島におけるハマボウ群落の現状とその
繁殖成功に係るいくつかの要因 *越前未帆・齋藤陽子・井
出雄二(東大・院・農生圏)
- JP1-316 希少猛禽類生息地におけるノウサギ生息数と哺乳類
相の把握-把握手法と餌資源評価の課題- *山田文雄(森林
総研)・安藤元一(東京農大・野生動物)
- JP1-317 スポットライト・カウント法によるニホンジカの発見率
*高橋裕史・島絵里子・上野真由美・梶光一(北大・院・文)
- JP1-318 長野市西部山地における雑木林の変遷 三上光一
(長野市立博物館)
- JP1-319# QstとFst~量的形質と分子マーカーによる野生サク
ラソウ集団の遺伝的分化の把握~ *吉田康子(筑波大・生命
環境)・本城正憲(東京大・環境生命) 北本尚子・大澤良
(筑波大・生命環境)
- JP1-320# 谷戸地形における地表性昆虫の安定同位体比と土
地利用 *馬谷原武之・河野英一・笹田勝寛・宮地俊作(日
大・院・生物資源)
- JP1-321 全国水生生物調査における指標生物と河川環境との
関係について 宮下衛(国立環境研究所)
- JP1-322 取り消し
- JP1-323# 土砂堆積構造に基づく生息場把握法? カワヨシノボ
リの生活史を通じた研究例- *石田裕子・竹門康弘・池淵
周一(京大・院・工)
- JP1-324# 三宅島2000年噴火被害林における火山灰除去が植
生回復に及ぼす効果 *下川真季(愛植物設計事務所)・上條
隆志(筑波大)・岡部宏秋(森林総研)・阿部琢時(日大)

ポスター発表3月27日(月)10:30-16:00

(#: ポスター賞対象発表)

群落

- JP3-001# 中国黒竜江省における落葉広葉樹林の植生生態学的研究 *王林・藤原一繪(横浜国大・院・環境情報)
- JP3-002 ブナーウラジロモミ林の種組成と構造に及ぼす人為攪乱と地形の影響 *長池卓男(山梨県森林研)・高橋一秋・大谷雅人(東大)・阿部みどり(秋田県立大)・新井伸昌(新潟大)
- JP3-003 南極湖沼生態研究Ⅱ. 植生構成の多様性と変動 *伊村智・工藤栄(極地研)
- JP3-004# 里山における半自然植生に関する研究 *河野円樹(東大・院・新領域創成)
- JP3-005 丹沢山地におけるシカ食害による偏向遷移について *村上雄秀(国際生態学センター)・中村幸人(東京農大)
- JP3-006 取り消し
- JP3-007# 利根川上流域氾濫原の樹木群集組成を決める地域的要因 *指村奈穂子(所属なし)・井出雄二(東大・生圏システム)
- JP3-008 計測密度の異なる航空機レーザーキャナデータによって抽出された森林植生パラメータの比較 *橋本啓史(京大・院・農)・今西純一・萩原篤・森本幸裕・北田勝紀
- JP3-009 東日本太平洋側におけるブナの生態地理 原正利(千葉県立中央博物館)
- JP3-0010 コクサギは石灰岩地に多いか? *柳沢直・御宿成美(岐阜県立森林文化アカデミー)
- JP3-0011# 洪水による自然攪乱と焼き払いによる人為攪乱が河川高水敷の植物種組成に与える影響 *石田真也(新潟大・農)・紙谷智彦・中静透
- JP3-012# 野辺山高原におけるサクランボ湿生群落と乾生群落との種組成および構造比較 *花岡若奈(信州大・院・農)・大窪久美子(信州大・農)
- JP3-013 北関東における山地および亜高山針葉樹林の種組成と分布 *鈴木伸一(国際生態学センター)・吉井広始(高崎経済大・付属高校)・片野光一(群馬県立館林女子高校)・大森威宏(群馬県立自然史博物館)
- JP3-014# 東南アジアとアマゾンにおける熱帯雨林樹種の生長動態と多様性維持機構の比較 目黒伸一(国際生態学センター)
- JP3-015# モウソウチク侵入前線におけるモウソウチク稈の分布と太さの変化 *鈴木重雄(広大・院・国際協力)・菊池亜希良(広大・総合)・中越信和(広大・院・国際協力)
- JP3-016 多摩川における礫河原造成後の植生回復と立地条件の関係 *畠瀬頼子(自然環境研究センター)・阿部聖哉(電力中央研究所)・長岡総子(国土館大・工)・和田美貴代(東大・院・理)・一澤麻子(横浜植生研究会)・奥田重俊(建設環境研究所)
- JP3-017# 岡山県備前瀬戸及び岡山北部地域の植生-植生-表層地質-地形の対応関係 *太田謙(岡山理大・院・生物地球)・石川笑子・波田善夫
- JP3-018 福井県沿岸に生育するクロマツ林の類型化について *林寿則・村上雄秀(国際生態学センター)
- JP3-019# 放棄棚田を復元した溜池群に出現する水生植物群落の組成と環境要因 *松元淳(新潟大・農)・中田誠(新潟大・院・自然)
- JP3-020# 北海道黒松内町周辺のブナ林における種組成と林分構造 *安東まゆ美(北教大・院)・並川寛司(北教大・札幌校)
- JP3-021 釧路湿原広里再生事業区におけるハンノキの分布と環境 *中村隆俊(東京農大・生物産業)・仲川泰則(北大・FSC)・山田浩之・中村太士(北大・農)

- JP3-022 岩塊斜面上の植生分布と地形の関係 *池田史枝・菊池多賀夫(横浜国立大)
- JP3-023# A phytosociological study on *Zanthoxylum ailanthoides* forests occurring on the coastal regions along the Pacific Ocean from southern Kanto to southern Kyushu in Japan (太平洋沿岸地域に分布するカラスザンショウ林に関する植物社会学的研究) *Qinlan Xu, Keiichi Ohno (Yokohama Nat. Univ.)
- JP3-024# 本州東部におけるナラ型河畔林の分布特性 *野田浩(東京農工大・院・連農)・吉川正人・福嶋司(東京農工大・農)
- JP3-025# ハケ岳の火山麓扇状地上における森林群落の多様性と空間配置 *佐野哲也・大澤雅彦(東大・院・新領域)
- JP3-026 シベリアにおける流域スケールの植生変化が大気循環へ与える影響 *大島和裕・山崎孝治(北大・院・地球環境)・渡辺力(森林総研)・高田久美子(地球環境フロンティア研究セ)・江守正多(国立環境研究所)・原登志彦(北大・低温研)
- JP3-027 隣接関係に着目した淡路島の植生構造解析 *藤原道郎・美濃伸之(兵庫県立大・自然環境研/兵庫県立淡路景観園芸)・吉村亨子(淡路景観園芸学校/プラトー研究所)・浅見佳世・田村和也・赤松弘治(里と水辺研究所)・武田義明(神戸大・発達)・服部保(兵庫県立大・自然環境研/兵庫県立人と自然の博物館)

植物生理生態・物質生産

- JP3-028 針葉樹の樹形と生理機能の相互作用: シュート光合成の順化反応におけるシュート三次元構造と生理特性の相互寄与率 *石井弘明・吉村謙一・藤崎泰治(神戸大・自然)・北岡哲・小池孝良(北大・フィールド科学セ)
- JP3-029 植物個体のシュート間の生理的統合性と個体の生産性の関連: 2つのシュートを持つ個体の葉群動態モデル *長田典之・彦坂幸毅(東北大・院・生命)
- JP3-030 冬緑性草本ヒガンバナにおける、呼吸速度の季節変化 *西谷里美(日本医大・生物)・中村敏枝・可知直毅(首都大東京・生命)
- JP3-031 根圏の酸欠及び塩濃度上昇とハンノキの光合成活性 *岩永史子・山本福壽(鳥取大・院)
- JP3-032 南極湖沼生態研究Ⅰ. 湖底植生と湖沼環境の特徴 *工藤栄・伊村智(極地研)
- JP3-033 チシマザサ、クマイザサ、ミヤコザサの光合成速度の季節変化 *香山雅純(森林総研・北海道)・飛田博順・宇都木玄・北尾光俊・丸山温・小池孝良
- JP3-034# 地下水位の高さが塩生植物・ケイリュウの成長に及ぼす影響について *田村悠旭・山中典和・玉井重信(鳥取大・乾燥地研)
- JP3-035 天然更新施業地のササ植生におけるブナ稚樹の樹形変異 八木貴信(森林総研・東北)
- JP3-036 北方林における落葉樹の葉の色素量・窒素量・酵素活性の季節変化 *小野清美・江藤典子(北大)・内山和子・渡辺一郎・来田和人(北海道林試)・原登志彦(北大)
- JP3-037 取り消し
- JP3-038 取り消し
- JP3-039# 異なる地下水位条件下におけるウラジロハコヤナギの成長 *今田省吾・山中典和・玉井重信(鳥大・乾燥地研)
- JP3-040 2年間の煤塵暴露がヤマザクラの生長に及ぼす影響 *馬卓良(広大・院)・片山富雄・尹朝熙・田上公一郎・中根周歩
- JP3-041# Cold resistance, physiological and biochemical changes of *Picea glehnii* during cold acclimation, chilling, freezing and recovery: Photosynthesis, antioxidative enzymes, water content,

ポスター発表3月27日(月)10:30-16:00

(#: ポスター賞対象発表)

- protein content. *Jeong-Jin Bae, Kiyomi Ono, Akihiro Sumida, Toshihiko Hara (The Institute of Low Temperature Science)
- JP3-042 種子生産における窒素の重要性 衣笠利彦(鳥取大・乾燥地研)
- JP3-043 林床のトドマツ同齡個体群における樹形のバリエーション 田代直明(九大・演習林)
- JP3-044 北方域に分布するカバノキ属樹木における個葉ガス交換特性の地域間相違と類似 *加藤京子(JST/CREST, 北大・低温研)・桑田孝(JST/CREST, 名大・院・生命農)・三木直子(岡大・院・環境)・小林剛(香大・農)・松本一穂(名大・院・生命農)・隅田明洋(北大・低温研)・太田岳史(名大・院・生命農)・原登志彦(北大・低温研)
- JP3-045# 木部の養分プールに注目した湿原性ハンノキの成長パターンと養分利用 *高田恵利(北大・農)・中村隆俊(東京農大)・仲川泰則・植村滋(北大・FSC)・矢部和夫(札幌高専)
- JP3-046 高 CO₂ における一年草シロザ群落の炭素バランス *アラマス・彦坂幸毅(東北大・生命)・広瀬忠樹(東京農大・国際農業開発)
- JP3-047# CO₂ 噴出地におけるオオバコの進化: 生理生態的特性 *中村伊都・小野田雄介1・河田雅圭・彦坂幸毅(東北大・院・生命科学, 1現コトレヒト大)
- JP3-048 取り消し
- JP3-049 樹木内部における通導性と季節変化 *堀幸代・吉川賢・坂本圭児・広部宗・三木直子(岡山大・農)
- JP3-050 中緯度高山帯におけるチョウノスケソウの個葉特性 *宮崎円(富山大・院・理工)・和田直也(富山大・極東)・久米篤(富山大・理)
- JP3-051# 亜熱帯常緑広葉樹林におけるツル植物のリター生産への寄与 *楠本剛太郎・榎木勉(琉球大・農)
- JP3-052 異なる光と栄養条件に対する葉の力学的性質と光合成の応答 *小野田雄介・Niels PR Anten・Feike Schieving・Thijs L Pons(コトレヒト大学)
- JP3-053# 異なる土壌リン可給性を持つ2つの熱帯山地林における樹木リン利用効率 *日高周(京大・理)・北山兼弘(京大・生態研)
- JP3-054 標高と栄養条件がシラベ稚樹の成長・炭水化物貯蔵に与える影響 壁谷大介(森林総研・木曽)
- JP3-055 葉身サイズに対する葉身の水輸送機能の応答 *種子田春彦(東大・院・日光植物園)・寺島一郎(阪大・理)
- JP3-056# 大気汚染による根系衰退に基づくウメの生育障害発生の予測 *田上公一郎・中根周歩(広大・院・生物圏)
- JP3-057 窒素固定植物の最適物質分配と最適窒素濃度: 窒素固定植物は非窒素固定植物よりも窒素濃度が高いのか? *大曾根陽子(森林総研)・館野正樹(東大・日光植物園)
- JP3-058# 土壌乾燥や窒素沈着物の増加がカバノキ科樹木の成長に与える影響 *遠藤郁子(北大・院・農)・香山雅純(学振/森林総研)・飛田博順・北尾光俊・宇都木玄・田中永晴(森林総研)・北岡哲・小池孝良(北大・生物圏セ)
- JP3-059# 冷温帯落葉樹林の樹木実生におけるギャップ形成後の成長速度と光順化能力の関係 *小口理一(東北大・生命)・彦坂幸毅・日浦勉・広瀬忠樹
- JP3-060 花卉の一生にわたる Alternative pathway を考慮した呼吸コストの評価: 生育温度の影響 *蜂谷卓士・野口航・寺島一郎(阪大・理)
- JP3-061 ヒノキ林下層に生育するササ・シダ類の硝酸態窒素利用に関する生理特性 *小山里奈(京大・情報)・大手信人・上田実希(京大・農)・徳地直子(京大・フィールド研)
- JP3-062# 光・葉・伸長を操作したときのパイプモデル構造の応答と回復 *曾根恒星・鈴木新・宮澤真一・野口航・寺島一郎(阪大・理)

- JP3-063# テイカズラ葡萄シュートにおける正と負の光屈性 *加藤正吾・山本隆史・川窪伸光・小見山章(岐阜大・応用生物)
- JP3-064# 常緑針葉樹の硝酸態窒素利用の季節性とその制御要因に関する生理生態学的研究 *上田実希(京大・農)・小山里奈(京大・情報)・山中典和(鳥取大・乾地研)・徳地直子(京大・フィールド研)
- JP3-065# キナバル山の異なる標高に生育する樹種の水分生理特性 *阪口翔太(京大・農)・加藤雄也(京大・工)・山崎良啓・遊川秀哉(京大・農)・北山兼弘(京大・生態研)・岡田直紀(京大・農)
- JP3-066# 湖岸林から湖への有機物供給の観測 - 熱帯域の劇的な水位変動が産み出す特有な現象 - *石川俊之(北大・院・地球環境)・Trisliana・Yurenfri(インドネシア・パラカラヤ大・農)・岩熊敏夫(北大・院・地球環境)
- JP3-067 性転換する陰生植物ユキモチソウ(Arisaema sikokianum)の人工被陰下におけるクロロフィル蛍光特性と性表現の関係 浦川裕香・小林剛・深井誠一(香大・農)
- JP3-068 Germination characteristics of some key plant species in Horqin sandy land in relation to ecological restoration *Hideyuki Shimizu(Nies), Lijun Chen(Nies; Iae, Cas), Yuanrun Zheng(Nies; Inst.Bot., Cas), Yunjiang Yu(Nies; Craes)
- JP3-069 葉の向軸側気孔と背軸側気孔の光応答性の比較 *Wang Yin・野口航・寺島一郎(阪大・院・理)
- JP3-070 利用可能な資源の量と比が異なるトチノキ実生の成長 長谷潔・川口英之(島根大・生資)
- JP3-071 モンゴル北方林南限地域のカラマツ幹生長と樹液流変動 *飯島慈裕・門田勤・大畑哲夫(地球環境観測研究センター)
- JP3-072 分枝成長するシロザの力学的特性と生産性 *長嶋寿江・館野正樹(東大・理)・広瀬忠樹(東京農大)
- JP3-073 シラカシが低温条件下で受ける光阻害とその光防御機能 *木村円(岐阜大・院・農)・片畑伸一郎(静岡大・院・農)・向井謙(岐阜大・院・農)
- JP3-074# 土壌共生系が花外蜜の分泌パターンを変えるか? *片山昇・西田貴明・大串隆之(京大・生態研)
- JP3-075# 異なる標高における湿原植物群落の構造と種多様性 *神山千穂・及川真平・彦坂幸毅(東北大・院・生命)
- JP3-076# 泥炭採掘跡地における植生タイプ間の養分利用量特性の比較 *西村愛子・露崎史朗(北大・院・地球環境)
- JP3-077 異なる標高に生育するブナ樹冠の光合成特性と分光反射特性の季節変化 *飯尾淳弘・高野正光・角張嘉孝・Quan Wang(静岡大・農)
- JP3-078 アカマツ成木における地上非同化部の呼吸の季節変化 *川崎達郎・千葉幸弘・韓慶民(森林総研)・中野隆志(山梨県環境科学研究所)
- JP3-079# 光環境の違いに対するエゾマツとトドマツの生理・形態・器官量配分反応 *飯島勇人・渋谷正人(北大・院・農)
- JP3-080 取り消し
- JP3-081# マングローブ稚樹の光合成能力と樹形の対応 *浦田悦子・藤原一繪(横浜国大・院・環境情報)
- JP3-082 アカエゾマツ針葉における光環境と窒素含量および光合成能の経年変化 *小林元・田代直明(信州大・AFC)

植物個体群・生活史

- JP3-083# 昭和基地周辺における蘚類分布と周辺微環境の関係評価 *奥田将己(総研大・統計)・伊村智(国立極地研)・種村正美(統計数理研)
- JP3-084 マングローブ林における *Brownlowia tersa* *皆川礼子・中村武久(東京農大)・鈴木邦雄(横浜国大)

ポスター発表3月27日(月)10:30-16:00

(#: ポスター賞対象発表)

- JP3-085 林冠三次元構造を推定する MCMC 計算法 *久保拓弥(北大・地球環境)・小林剛(香川大・農)・加藤京子(JST/CREST)
- JP3-086# 稚樹バンクから一斉更新したシラビソ・オオシラビソ林の空間構造動態—mark correlation 関数を用いた解析 *鈴木智之・鈴木準一郎・可知直毅(首都大・理)
- JP3-087# バイケイソウにおける環状集団の形成機構の推定 谷友和(富山大・極東研)
- JP3-088 新潟県におけるアキノタムラソウとミヤマタムラソウの分布と環境要因 櫻井幸枝(長岡市立科学博物館)・*白崎仁(新潟薬大・生物)
- JP3-089# オオバナノエンレイソウ集団の空間遺伝構造 ~集団維持プロセスの変化が空間遺伝構造に与える影響~ *山岸洋貴(北大・院・環境)・富松裕(首都大東京・理)・大原雅(北大・院・環境)
- JP3-090# オオバナノエンレイソウ集団の遺伝的分化に関する研究—北海道と東北集団の比較— *内藤弥生・佐藤志津子・大原雅(北大・院・環境)・堀井雄治郎・藤田義成・佐々木淑枝(秋田県)・林一彦(大阪学院大・経)・河野昭一(京大・理)
- JP3-091# ヒメギフチョウによる捕食がオウゴンサイシンの種子結実におよぼす影響 *石崎智美・大原雅(北大・院・環境)・水島未記(北海道開拓記念館)
- JP3-092# シカの摂食に対する草本植物の矮小化反応 *鈴木亮・加藤禎孝(奈良女子大)・前迫ゆり(奈良佐保短大)
- JP3-093 トリコームの集団内多型はなぜ維持されるのか? 川越哲博(神戸大・理)
- JP3-094# 低木樹種コバノミツバツツジ(*Rhododendron reticulatum*)における樹冠の発達と分枝構造 *吉村謙一・石井弘明(神戸大・自然)
- JP3-095# Clonal 植物スズランの個体群構造とその変化パターン *荒木希和子(北大・院・環境)・島谷健一郎(統計数理研)・大原雅(北大・院・環境)
- JP3-096# 放置された海岸砂防林内におけるつる植物の林分構造へ与える影響 *二階堂悠馬・佐野淳之(鳥取大・農)
- JP3-097# 樹木は幹をどう維持するか? *鈴木新・菅根恒星・寺島一郎(阪大・理)
- JP3-098# 山地小流域におけるトチノキの空間分布 *幸田怜子・川口英之(島根大・生資)・名波哲(大阪市大・理)・館野隆之輔(地球研)
- JP3-099# 鳥取砂丘に生育する砂丘植物の植生構造 *富永彩恵(鳥取大・院・教育)・永松大(鳥取大・地域)
- JP3-0100# 個体ベースモデルを用いた亜熱帯林の動態に関する解析 *藤井新次郎(鹿児島大・院)・佐藤永・久保田康裕
- JP3-0101 ホスト樹冠におけるつる植物の戦略—樹冠を覆うか、下に止まるか *市橋隆自・長嶋寿江・館野正樹(東大・院・理)
- JP3-102# 時間的に不均質な水分供給が植物個体重におよぼす影響の土壤栄養塩量による変化 *萩原陽介・可知直毅・鈴木準一郎(都立大・理)
- JP3-103 クローナル植物個体群において遺伝的個体数を推定する方法のシミュレーションモデルを用いた検討 *鈴木準一郎(都立大・理)・Tomas Herben (Institute of Botany, Academy of Sciences of the Czech Republic)
- JP3-104# 西表島仲良川流域のマングローブ林における稚樹の動態 *南木大祐・榎木勉(琉球大・農)・上田萌子(大阪府大・農)・諏訪錬平(琉球大・理)
- JP3-105 落葉広葉樹林におけるクリとミズナラの生育段階にともなう空間分布パターンの変化 *今治安弥・寺原幹生・長谷川陽一・清和研二(東北大・院・農)
- JP3-106 北タイ山地常緑林における主要構成種の生存戦略:

- 幼樹期の樹形と成熟期の生育特性の関係 *中島弘起・武田博清(京大・農)・スントンカムヨン(チェンマイ大・農)
- JP3-107# 株型低木コゴメツツギにおける株内の幹組成とその動態 *相川真一・堀良通(茨城大・理)
- JP3-108# 共存低木種クロモジ・タンナサワフタギ・ツリガネツツジにおけるモジュールのフェノロジー、形態、構造—林冠ギャップ下と閉鎖林冠下の比較— *森下和路・寄元道徳(京大・院・農)
- JP3-109# 熱帯性海草類の生物量と生産性に対する水温と堆積物環境の影響 *南出俊郎・仲間雅裕(千葉大・自然)・田中義幸(東大・海洋研)
- JP3-110 SSR マーカーを用いたケヤキにおける花粉の有効飛散距離の推定 *武津英太郎・高橋誠(林木育種センター)
- JP3-111 樹木の抑制芽のデモグラフィと萌芽性の関係—生育環境の異なるアラカシ及びイチイガシでの比較— *伊藤哲・塚本麻衣子(宮崎大・農)
- JP3-112 先駆樹種 *Melaleuca cajuputi* の生存・成長・繁殖開始サイズに対する密度の影響 *富田瑞樹(横国大・院・環境情報)・平吹喜彦(東北学院大・教養)・鈴木邦雄(横国大・院・環境情報)
- JP3-113# 土壌水分勾配が個体群動態に与える影響 *富松元・堀良通(茨城大・理)
- JP3-114# SSR マーカーを用いた秋田スギ天然更新林分における更新動態の解析 *三嶋賢太郎・高田克彦(秋田県立大・木高研)・蒔田明史(秋田県立大・森林)・澤田智志(秋田県森林技術センター)

フェノロジー

- JP3-115 長野県北部におけるザゼンソウ属3種の展葉及び開花パターン 大塚孝一(長野県環境保全研究所)
- JP3-116 暖温帯に生育する絞め殺しイチジクの結実フェノロジー *大谷達也(森林総研・九州)・金谷整一(森林総研)
- JP3-117 食べごろはいつ? ~樹木の開葉フェノロジーとフシヤクガ食害のタイミング~ 松木佐和子(道立林試学振)
- JP3-118 ライラックの開花フェノロジーと環境要因 神田房行(北教大・釧路)
- JP3-119 サクラの開花の早晩はイリッペナツツの結実と連動するか? *山倉拓夫・伊東明・名波哲(大阪市立大・院・理)
- JP3-120 亜熱帯島嶼の水文気候条件がシマリスノキの肥大成長の季節進行に及ぼす影響 *吉田圭一郎(横国立大)・飯島慈裕(地球環境観測研究センター)・岡秀一(首都大東京)・見塩昌子(岐阜大)

動物個体群

- JP3-121# オキナワコキクガシラコウモリのエコーロケーションコールの地域変異と遺伝的分化 *吉野元(東北大・院・生命)・Kyle Armstrong(京大・博物館)・伊澤雅子(琉大・理)・横山潤・河田 雅圭(東北大・院・生命)
- JP3-122# イワメ・無斑アマゴ・無紋アマゴ・無紋ヤマメ等の現状 *鹿野雄一(三重大)・近藤卓哉(九大)・清水義孝(三國谷イワメ調査会)
- JP3-123# なぜ南の地方ではブナアオシャチホコの大発生が少ないのか? *鎌田直人(金沢大)・小谷二郎(石川林試)
- JP3-124# Effect of landscape structure on genetic structure of marine copepod *Tigriopus japonicus* *Shuji Muguruma (Faculty of Fisheries Science Hokkaido Univ.), Takashi Noda (Faculty of Environmental Earth Science Hokkaido Univ.), Mutsumi Nishida, Ryuji Machida (Ocean Research Institute The University of

ポスター発表3月27日(月)10:30-16:00

(#: ポスター賞対象発表)

- Tokyo)
- JP3-125# ウスバシロチョウの移動分散様式 *秋山耕治・西田隆義(京大・院・農)
- JP3-126# テレメトリー手法を用いたモリアオガエルの追跡調査 *長池伸子(山梨県増穂町)・櫻井良樹(当間高原リゾート)・菱川修一(東電環境エンジニアリング)・荒川茂樹(東京電力)
- JP3-127 希少魚ネコギギの長期個体群動態の要因および存続可能性分析 *渡辺勝敏(京大・院・理)・一柳英隆(山梨県都留市)
- JP3-128 植食性テントウムシと寄主植物の生活史 一同所的に生息する近縁な2種について *小泉匡則(新潟大・院・教育)・古川陽子(新潟大・教育)・藤山直之(北教大・函館)・上野秀樹(新潟大・教育)
- JP3-129# 北海道西部におけるヤマトアザミテントウの例外的なマルバヒレアザミ利用の要因 *菊田尚吾・藤山直之(北教大・函館)・片倉晴雄(北大・院・理)
- JP3-130 植食性テントウムシ2種の地域個体群間での生殖隔離 —Muller-Mayr modelでの検討— *富樫朱美(新潟大・院・教育)・藤山直之(北教大・函館)・片倉晴雄(北大・院・理)・上野秀樹(新潟大・教育)
- JP3-131 寄主植物のフェノロジーからみたアサギマダラとマダラヤドリバエの寄主-寄生者関係 *平井規央・石井実(大阪府大・生命環境)
- JP3-132 アリ随伴性及び非随伴性アブラムシの移動・分散能力 *徳永恵美・鈴木信彦(佐賀大・農)
- JP3-133# コバネナガカメムシにみられる体サイズの個体群間変異 *嘉田修平・藤崎憲治(京大・院・農)
- JP3-134# ネムノキマメゾウムシは劣位な競争者 *坂田はな(東大・広域システム)・石原道博(大阪府大・理)・嶋田正和(東大・広域システム)
- JP3-135 マイクロチップを用いたエゾタヌキの生息数推定 *阿部豪(北大・院・文)・的場洋平・佐鹿万里子(酪農大・感染病理)
- JP3-136# 砂防ダムで隔離された河川でのイワナとアマゴの流程分布 *坪井潤一(山梨水技セ)・森田健太郎(北水研)
- JP3-137# 寄生蜂に対するムラサキジミ幼虫のアリ随伴による防衛効果 *西森大樹・鈴木信彦(佐賀大・農)
- JP3-138# エサキクチキゴキブリにおける集団遺伝構造の解析 *中村雄祐(富山大・理)・前川清人(富山大・理)
- JP3-139 海藻穿孔性甲殻類コンブネクイムシ個体群の増大過程 青木優和(筑波大・下田臨海)
- JP3-140 北アルプス周辺に生息するニホンザルの炭素・窒素安定同位体比 泉山茂之(野生動物保護管理事務所)・*中下留美子・深山景亮・楊宗興(東京農工大・院)
- JP3-141 中信高原地域(長野県)のツキノワグマは生き残れるか? *林秀剛(信州ツキノワグマ研究会)・泉山茂之・森光由樹(WMO)・中下留美子(東京農工大・院)・Huysens Oscar C・後藤光章・溝口紀泰・星野敏男(信州ツキノワグマ研究会)・木戸雅子・伊藤建夫(信州大・理)
- JP3-142# 発生拘束が鏡像体の進化を抑制する *宇津野宏樹・浅見崇比呂(信州大・理)
- JP3-143 GPS携帯が捉えた都市近郊に生息するタヌキの環境利用 *竹内亨・松木史弓・阿部聖哉・梨本真・小林卓也(電力中央研究所)
- で繁殖する両生類の場合— 原村隆司(京大・院・動物行動)
- JP3-146# 鳥取県における秋期のツキノワグマの行動調査事例 *西信介(鳥取県林業試験場)・藤田文子・山本福壽(鳥取大)
- JP3-147# カンザワハダニは寄主植物の葉を曲げる *奥圭子・矢野修一・刑部正博・高藤晃雄(京・院・農)
- JP3-148# オオシロアリにおける兵隊の防衛行動と神経系の特殊化 *石川由希・三浦徹(北大・地球環境)
- JP3-149# アオモンイトトンボの雄の選好性からみた雌の色彩2型の維持 *高橋佑磨・渡辺守(筑波大・生物)
- JP3-150# トゲオオハリアリにおける表現型多型の分子社会生物学的研究 *岡田泰和(北大・地球環境)・辻和希(琉大・農)・三浦徹(北大・地球環境)
- JP3-151 シロアリのカーブ分化における幼若ホルモンの役割 *Cornette Richard(北大)・松本忠夫(放送大)・三浦徹(北大)
- JP3-152# 積雪期におけるカラスの最適群れサイズ *近藤太佳彦・中村雅彦(上越教育大・動物生態)
- JP3-153 取り消し
- JP3-154# 長野県伊那盆地におけるダルマガエルの生息状況と移動性、及び冬眠場所について(II) *水野敦(信大・院・農)・大窪久美子(信大・農)・澤畠拓夫(「森の学校」キョロコ)
- JP3-155# 長野県上伊那地方の水田地域に生息するアカネ属3種の行動パターンと環境選択性 *九鬼なお子(信州大・院・農)・大窪久美子(信州大・農)
- JP3-156 飼育下のニホンジカを用いた給餌試験による採食植物の選択性 *及川真里亜(東京農工大・自然環境保全)・時田昇臣(日本獣医畜産大・応用生命)・古林賢恒(東京農工大・自然環境保全)
- JP3-157# タンガニイカ湖産エビ食魚の捕食行動における左右非対称性 *竹内勇一・堀道雄(京大・院・理)
- JP3-158# 単独性が真社会性か?女王とワーカーの繁殖戦略 *平田真規・東正剛(北大・院・地球環境)
- JP3-159# スーパーコロニーの分断化とエゾアカヤマアリの仲間識別行動 *岩倉美沙子・平田真規・東正剛(北大・院・環境)
- JP3-160# チョウの闘争にホームとアウェイの効果は存在するか? *竹内剛(京大・理)
- JP3-161# ニンギョウトビケラ *Goera japonica* 幼虫の移動 *恩地利実(京大・院・農)・谷田一三・藤崎憲治
- JP3-162 垂直円網の上下非対称性とクモの体サイズの関係 中田兼介(東京経済大)
- JP3-163# アオオサムシの精子競争における精包置換と戦略的射精 高見泰興(京大・理)
- JP3-164# コバネヒョウタンナガカメムシの雄による雌の再交尾抑制 *日室千尋・藤崎憲治(京大・院・農)
- JP3-165# 病原菌暴露下におけるトビロケアリの行動 *奥野正樹・藤崎憲治(京大・院・農)・辻和希(琉球大・農)
- JP3-166# ハエの記憶と学習による餌探索の軌跡:ニューラルネットによる解析 *堀部直人・嶋田正和(東大・広域システム)
- JP3-167# 社会寄生種ヤドリウメマツアリの繁殖行動—寄生がホストコロニーの新成虫生産に与える影響— *佐藤あつみ・大河原恭祐(金沢大)
- JP3-168# アリがナナホシテントウ幼虫の採餌行動におよぼす影響 *井手徹・鈴木信彦(佐賀大・農)
- JP3-169# Activity sensor 付きの GPS 首輪を用いたツキノワグマの行動解析 —直接観察による activity sensor の評価と利用可能性について— *小坂井干夏・後藤優介・葛西真輔・小池伸介(東京農工大)・山崎晃司(茨城県自然博物館)・古林賢恒(東京農工大)

行動・社会生態

- JP3-144# ミーアキャットにおける繁殖をめぐる葛藤と繁殖の偏りの維持機構 香掛展之(ケンブリッジ学・動物学)
- JP3-145# どのように産卵場所を選択するのか? —海岸環境

ポスター発表3月27日(月)10:30-16:00

(#: ポスター賞対象発表)

- JP3-170# アカネズミ雌における neighbor-stranger discrimination: dear enemy phenomenon を示さないのは・・・? 坂本信介(都立大・院・理)
- JP3-171# Pioneer-Follower ジレンマにおける意思決定の柔軟性とその影響 *大塚康徳・徳永幸彦(筑波大・生命共存)
- JP3-172# 寄生蜂の性比決定と寄主サイズとの関係 *中村智・徳永幸彦(筑波大・生命共存)
- JP3-173# 2つのメイトチョイス *河野かつら・三上修(九大・理)
- JP3-174# ノネコにおける仔ネコと他個体の関係 降旗初佳(九大・理)
- JP3-175# ヤマトシロアリの兵隊分化の調節と幼若ホルモンとの関係 *土屋真利子・前川清人(富山大・生物)
- JP3-176# 個体レベルにおけるタカハヤの餌利用パターン *池田幸義・山崎裕治(富山大・理)
- JP3-177# アメンボの潜水産卵と溶存酸素 平山寛之(九大)
- JP3-178# 滋賀県湖北地域におけるイノシシの環境選択 *竹村菜穂(滋賀県立大)・山中正元・石庭孫義・保積隆夫(滋賀県農業技術振興セ)・近雅博・野間直彦(滋賀県立大)
- JP3-179# GPS テレメトリを用いたニホンザルサルスの環境選択性の解析 *岩崎巨典・デイビッド スプレイグ(農業環境技術研究所)・萩原光・蒲谷肇(房総の野生生物調査会)
- JP3-180# 近縁他種の求愛歌に対するエゾエンマコオロギの反応 *角恵理(東大・院・総合文化)・佐久間正幸・福井昌夫・関本龍文(京大・院・農)・長谷川寿一(東大・院・総合文化)
- JP3-181# 地中におけるホスト探索と対捕食者防衛: ツチバチとコガネムシ幼虫の場合 *井上牧子・遠藤知二(神戸女学院大・人間)
- JP3-182# ゴホンダイコクコガネの角の二型性と進化 *赤嶺真由美(滋賀県立大)・佐藤宏明(奈良女子大)
- JP3-183# 社会性アブラムシにおける階級分化、労働分業、化学コミュニケーション *柴尾晴信(東大・院・広域システム)・沓掛磨也子・松山茂・鈴木隆久・深津武馬
- JP3-184# ベイツ型擬態におけるモデル種のコスト: 捕食者の記憶との関係 *本間淳・西田隆義(京大・院・農)
- JP3-185# GPS テレメトリー法を用いたニホンジカの季節移動に関する研究 *宇野裕之(道環研)・鈴木透・立木靖之・赤松里香(EnVision 環境保全事務所)・平川浩文(森林総研)
- JP3-186# 社会性昆虫アミメアリにおける利己者・利他者の個体群動態モデル *土畑重人(東大・院・総合文化)・辻和希(琉大・農)・嶋田正和(東大・院・総合文化)
- JP3-187 取り消し
- *田中美希子・田中洋之・平井百合子・平井啓久(京大・霊研)
- JP3-195# ニッチ位置と幅の進化動態における進化的分岐の条件 *伊藤洋・嶋田正和(東大・広域システム)
- JP3-196# 宿主利用の変化はチリイソウロウグモの形質分化および交配可能性に影響しうるか? *馬場友希・宮下直(東大・院・農)
- JP3-197# クロレラ、大腸菌、テトラヒメナから成るマイクロロズムにおけるクロレラ-テトラヒメナの細胞内共生関係の形成過程 *佐野明子(由宇町立ミクロ生物館)・松岡秀哲・中島敏幸(愛媛大・理)
- JP3-198# 左巻きのカタツムリは自然選択で進化した? *細将貴(京大・理)・亀田勇一(京大・人環)・浅見崇比呂(信大・理)・堀道雄(京大・理)
- JP3-199# 遺伝子ネットワークモデルを用いた、表現型可塑性の進化生態モデル *津田真樹・河田雅圭(東北大・院・生命)
- JP3-200# ミヤベイワナの環境変動に伴う形態的变化 *小林春毅・前川光司(北大フィールド科学センター)
- JP3-201# 種内分類群ミヤマアズマギクの蛇紋岩地帯と非蛇紋岩地帯における種分化 *川瀬大樹(京大・理)・湯本貴和(総合地球環境研)・林一彦(大阪学院大)・佐藤謙(北海学園大)
- JP3-202# 大きな親の投資はサイズの性的二型の進化を制限する *岸茂樹・西田隆義(京大・院・農)
- JP3-203# ゲンジボタルの発光パターンと nos 遺伝子の進化 *大槻朝(東北大・院・生命)・近江谷克裕(産総研・セルエンジニアリング)・横山潤・河田雅圭(東北大・院・生命)
- JP3-204# 海洋における宿主特異性の決定機構: 陸上との相違 *熊谷直喜・品川秀夫・佐藤壽彦・土屋泰孝・青木優和(筑波大・下田臨海)
- JP3-205# 細胞内共生の進化: 生態系生態学の視点から *福井眞・嶋田正和(東大・広域システム)
- JP3-206# 日本産サンショウウオ類の系統推定と分子進化速度 *山本朋範・太田宏・千葉聡(東北大・院・生命)
- JP3-207 取り消し
- JP3-208# マイマイカブリにみられる表現型の 2 型と採餌行動 小沼順二(東北大・生命)
- JP3-209# Widespread introgression of mtDNA between native and introduced species of land snails. *Ampom Wiwegweaw, Takahiro Asami (Dept of Biology, Shinshu Univ.)
- JP3-210# ハチネジレバネ科昆虫とその寄主の分子系統 *井坂友一・市野隆雄(信州大・理)
- JP3-211# Hybrid Bigger -ヨツモンマメゾウムシにおける競争様式と発育速度の関係 *真野浩行・徳永幸彦(筑波大・生命共存)
- JP3-212# ヨーロッパおよび日本に生息するライチョウにおける MHC 対立遺伝子とミトコンドリア DNA ハプロタイプ構成の比較 *馬場芳之(九大)・中村浩・森口千英子(信州大)・Alain Caizergues
- JP3-213# 河川の攪乱体制と植食性昆虫の資源選好性の進化 *内海俊介・大串隆之(京大・生態研)

進化

- JP3-188# どこで軍拡競走は加速する?: ツバキゾウムシ共進化の局所性と空間的な階層 東樹宏和(九大・理)
- JP3-189# アロクロニックな生殖隔離と時計遺伝子の関与 宮竹貴久(岡大・院・環境)
- JP3-190# マルカメムシが利用できるエサ植物は腸内共生細菌によって決まる? *細川貴弘・深津武馬(産総研・生物機能工)
- JP3-191# トビケラ目昆虫の分子系統解析 田辺晶史(東北大・院・生命)
- JP3-192# ゲノムレベルの組換えが進化的時間における種間競争に及ぼす効果: 細菌を用いた実験的解析 竹田義明・保木本達也・中島敏幸(愛媛大・院・理工)
- JP3-193# 誘導摂餌形態のコスト *宮崎玄・西村欣也(北大・院・水産)
- JP3-194# チャイロキツネザル種間雑種個体群の染色体分析

外来種

- JP3-214# 国内における外来樹木ニワウルシ(シンジュ)の野外逸出 橋本佳延(兵庫県立人と自然の博物館)
- JP3-215 小笠原に侵入したヌノメカワニナ(予報) *佐竹潔(国立環境研究所)・佐々木哲朗(小笠原自然文化研究所)・土屋光太郎(東京海洋大)
- JP3-216 外来種と在来種のマルハナバチ採餌個体間の相互

ポスター発表3月27日(月)10:30-16:00

(#: ポスター賞対象発表)

- 作用: 在来植物を用いた閉鎖系実験 *永光輝義(森総研)・田中健太・稲荷尚記(北大)・五箇公一(国環研)・日浦勉(北大)
- JP3-217 知床半島へのアライグマの侵入 *立澤史郎(北大・院・文)・池田透・増田泰
- JP3-218 外来種セイヨウオオマルハナバチが在来マルハナバチ類に与える生態的影響 *井上真紀・横山潤・鷲谷いづみ(東大・農)
- JP3-219 河川におけるシナダレスズメガヤのメソスケールにおける侵入予測 *村中孝司・鷲谷いづみ(東大・農)
- JP3-220# サケ科魚類における外来種抑制策の提言をめざして *長谷川功・前川光司(北大・フィールド科学センター)
- JP3-221 小笠原の陸産貝類の生存を脅かすニューギニアヤリガタリクウズムシの高い捕食圧 *杉浦真治・大河内勇(森林総研)・玉田恒
- JP3-222# Should Japanese farmers continue to use introduced *Bombus terrestris* (Hymenoptera: Apidae) for pollination of greenhouse plants? *Baoqi Su, Yukihiko Toquenaga (Graduate School of Life and Environmental Sciences, University of Tsukuba)
- JP3-223# 安定同位体比から探る琵琶湖ブルーギルの餌選択性 *内井喜美子・奥田昇(京大・生態研)・米倉竜次(岐阜県河川環境研究所)・松井一彰(東北学院大・工)・川端善一郎(総合地球環境研)
- JP3-224 セイヨウオオマルハナバチがエゾエンゴサクの繁殖成功に与える影響(予報) *堂園いくみ・横山潤(東北大・院・生命)
- JP3-225# 山火事による二次林焼失地への牧草播種が植生回復に及ぼす影響 *澤田佳宏(岐阜大・流域圏研セ/兵庫県立人と自然博)・窪田圭多(滋賀県東近江地域振興局)・津田智(岐阜大・流域圏研セ)
- JP3-226 2種捕食性外来テントウムシ(フタモンテントウ, ハイイロテントウ)の日本におけるインパクト *桜谷保之・戸田裕子(近畿大・農)
- JP3-227# 半自然草地に定着した外来植物オオキンケイギク *Coreopsis lanceolata* の物質生産からみた繁殖戦略 *斎藤達也(信大・院・農)・大窪久美子(信大・農)
- JP3-228# 日本へ出入港する船舶のバラスト水内容分析及び規制予定値との比較 加藤団(横国大・環境情報)
- JP3-229# ノヤギが排除された小笠原諸島島島における外来樹種ギンネムの侵入過程 *畑憲治・可知直毅・市河三英(都立大・理)
- JP3-230# 日本にアルゼンチンアリは何回侵入したか? *問田高宏・平田真規・長谷川理・東正剛(北大・院・地球環境)
- JP3-231 外来アライグマ対策における合意形成の進め方について 池田透(北大・文)
- JP3-232# 小笠原諸島母島における外来樹種アカギ *Bischofia javanica* の潜在的な分布適地の予測 *深澤圭太(横国大)・田中信行(森林総研)・小池文人(横国大)
- JP3-233 茨城県小貝川におけるオオブタクサ・アレチウリの分布特性 *川田清和(農業環境技術研究所)・土方直美・中村徹(筑波大)・池田浩明(農業環境技術研究所)
- JP3-234 北海道におけるセイヨウオオマルハナバチの野生化の現状—野外での発見個体数に関連する要因の解析— *横山潤・糠塚ゆりか(東北大・生命)
- JP3-235# 河川における侵略的外来植物4種の潜在的ハビタット予測 *宮脇成生(建設環境研究所)・鷲谷いづみ(東大・保全生態)
- JP3-236 北海道における外来両生類トノサマガエルの食性 *高井孝太郎・岩熊敏夫(北大・地環研)
- JP3-237 中山間地におけるセイタカアワダチソウモニタリングを用いた総合的な学習プログラムの開発 *畑田彩(里山科

- 学館キョロ口)・平野浩一(十日町市立浦田小学校)
- JP3-238# 外来植物と外来昆虫の相互関係に在来植物が与える間接効果 *犬塚直寛・大串隆之(京大)
- JP3-239# 奄美大島の森林域におけるノイヌの食性およびマンガースとの比較 *巨悠哉(東大・院・農)・山田文雄(森林総研)・阿部慎太郎(奄美野生生物保護センター)・宮下直(東大・院・農)
- JP3-240 宇治川の魚類に寄生する外来寄生虫・その後 浦部美佐子(滋賀県立大・環境)
- JP3-241 小笠原諸島に生育する植物のアレロパシー活性の生物検定法による評価—とくに外来種と固有種の比較— *藤井義晴・平箱俊太郎・荒谷博(農環研)・清水善和(駒沢大)
- JP3-242 外来植物セイタカアワダチソウの分布に植食性昆虫が与える影響 *安東義乃・大串隆之(京大・生態研)
- JP3-243# 駆除作業年数の異なる池での外来カメ類駆除効果 *佐藤方博・鈴木貴司(生態工房)

動物生活史

- JP3-244# 多化性のクロバネキノコバエ *Ctenosciara japonica* の生態の季節性について 須島充昭(神奈川県)
- JP3-245# 炭素・窒素安定同位体による *Nihonotrypaea* 属 3 種(甲殻十脚目スナモグリ科)の食物源の推定 *下田勝政(長崎大・水産)・荒巻陽介・奈須田潤・横山寿・石樋由香・玉置昭夫
- JP3-246 動物装着型記録計によるオオミズナギドリ越冬・渡り生態の解明 *高橋晃周(極地研)・越智大介・綿貫豊(北大・水産)・出口智広・岡奈理子(山階鳥研)・Phil Trathan(英国南極局)
- JP3-247# 埋設式巣箱により分かったネズミ類の冬期の餌メニュー *奥村みほ子(筑波大・環境)・安田雅俊(森林総研)・福井晶子(日本野鳥の会)・柴田銃江(森林総研)・中村徹(筑波大・生命環境)
- JP3-248 日本海におけるベニズワイの食性と餌料環境 *養松郁子・廣瀬太郎・白井滋(日本海区水産研究所)
- JP3-249# ミジンコにおいて捕食者に誘導される表現型多型の発生制御に関する研究 *今井真木・三浦徹(北大・地球環境)
- JP3-250# 自然界におけるコマルハナバチの花粉利用について—マルハナバチの元気のもと *ムニダサ ドウリー・大橋一晴・徳永 幸彦(筑波大・院・生命環境)
- JP3-251 ハビタット分割のみられないスナヤツメ隠蔽種群間には成長に差があるか? 山崎裕治(富山大・理)
- JP3-252# アブラムシの翅多型機構に関する生態発生学— II. 分散と繁殖のトレードオフ— *石川麻乃(北大・地球環境)・本郷紗希子(東大・総合文化)・三浦徹(北大・地球環境)
- JP3-253 微生物場所の異質性がケラとミイデラゴミシの季節分布に与える影響 遠藤千尋(京大・理)
- JP3-254# バイオマスの季節的変化と生活史戦略—ヤママユガ科ガ類を例に— *城本啓子・桜谷保之(近畿大・農)
- JP3-255# リーフ・シェルターの特性とテントウムシの越冬・越冬 *戸田裕子・桜谷保之(近畿大・農)
- JP3-256# チョウ類における利用資源(2)越冬成虫の生息場所とその特性 *釜我美菜子・東條達哉・桜谷保之(近畿大・農)
- JP3-257 捕食者の成長における窒素制限はギルド内捕食を促進するか? *加賀田秀樹・片山昇(京大・生態研)
- JP3-258# アズキゾウムシにおける生活史形質の進化的制約の推定 柳真一(岡大・院・環境)
- JP3-259 ジュゴンの摂食生態について *竹内佑紀(北大・環境)・向井宏(北大・北方生物圏 fsc)・Emily S Antonio

ポスター発表3月27日(月)10:30-16:00

(#: ポスター賞対象発表)

(SPAMAST 大)

- JP3-260# オオタバコガ幼虫の色彩多型と摂食部位選好性
*山崎梓・藤崎憲治(京大・院・農)
- JP3-261 ヨシの枯れ葉がヒロクチカノコの成長に与える影響
*大田直友(阿南高専・建設システム工)・大谷壮介・仲井
薫史・上月康則(徳大・院・工)・向井大祐・石山 哲・谷
田 克也(徳島大・工)
- JP3-262# オオミジンコの資源配分にみられる込み合い効果
田村愛・*伴修平(滋賀県立大)
- JP3-263# ねぐら温度がコウモリのねぐら選択におよぼす影響
*福井大(北大・苫小牧研究林)・岡崎克則・宮崎守・前田
喜四雄
- JP3-264# トラマルハナバチの猛暑を乗り切る「虫海戦術」? ~
初期巣サイズが採餌活動の季節変化におよぼす影響 ~
*下野嘉子・徳永幸彦・大橋一晴(筑波大)・川窪伸光(岐
阜大)
- JP3-265# 矮雄をもつ種の性配分スケジュールの数理モデル
*山口幸・尾崎有紀(奈良女大・人間文化)・遊佐陽一(奈
良女大・理)・高橋智(奈良女大・人間文化)
- JP3-266# 温暖化はDaphniaの生活史を変化させるか? *加(槻
木) 玲美(佐賀大/有明海総合研究プロジェクト)・石田聖
二(ニューヨーク州立大・バッファロー)・占部城太郎(東
北大・生命)
- JP3-267# 滋賀県近江八幡市奥島山におけるニホンノシシの
食性と環境選択 *大饗嘉子(滋賀県立大・院)・前田友祐(滋
賀県立大)・竹村菜穂(滋賀県立大・院)・山中成元・保積隆
夫(滋賀県農振振セ)・近雅博・野間直彦(滋賀県立大)
- JP3-268 オオミジンコ(*Daphnia magna*)のこみ合い環境下にお
いて発現する遺伝子の探索 *更井紀一・市井涼子(滋賀県
大)・田辺(細井)祥子(神戸大)・森司(日大)・伴修平(滋
賀県立大)
- JP3-269# 陸域起源の物質が塊状ハマサンゴに及ぼす影響~
保全的視点からの表現型可塑性 *森本直子(琉大・理工)・
酒井一彦(琉大・熱生研)

菌類・微生物

- JP3-270# 冷温帯天然林におけるブナ枯死材の分解初期に関
わる菌類 *深澤遊・大園享司・武田博清(京大・院・農)
- JP3-271# 硫黄荒原土壌におけるススキ実生の成長に対する
アーバスキュラー菌根の役割 *船津勇一・吉竹晋平(広大・
院・生物圏)・藤吉正明(東海大・教養)・中坪孝之(広大・
院・生物圏)
- JP3-272# 荒原生態系における土壌微生物群集の制御要因:
高緯度北極氷河後退域の土壌微生物に対する炭素・窒素制
限 *吉竹晋平(広大・院・生物圏)・内田雅己(国立極地
研)・菅尚子(岐阜大・流域圏セ)・中坪孝之(広大・院・
生物圏)
- JP3-273# スギ人工林の皆伐が土壌微生物群集構造に与える
影響 *松下美歩(宮崎大・農)・黒木世巨・山川博美・伊
藤哲・目黒貞利・河内進策
- JP3-274# サロベツ湿原の浅層地下における微生物群集の分
布特性 *秋山克・清水了(幌延RISE)・長沼毅(広大・生
物圏)・石島洋二(幌延RISE)
- JP3-275 屋久島低地照葉樹林におけるキノコの発生と地形性
*辻野亮・佐藤博俊(京大)・今村彰生・湯本貴和(総合地
球環境研)
- JP3-276# 霧島山における死木変形菌の生態 高橋和成(岡山
理大・総合情報)
- JP3-277# 落葉分解に伴う水生不完全菌群集の変化 鎌内宏
光(創価大・工)

分子生態

- JP3-278# 標高が変わるにつれてミズナラ林の遺伝的多様性
および分化程度はどう変化するのか *大澤隆文・津田吉
晃・齋藤陽子(東大・院・農学生命)・澤田晴雄(東大・秩
父演習林)・井出雄二(東大・院・農学生命)
- JP3-279# ミトコンドリア DNA 分析によるムツゴロウの遺伝的集
団構造 *兼森雄一・竹垣毅(長大・院・生産)・夏苺豊(長
大・水産)
- JP3-280# マイクロアレイによる水生植物ヒルムシロ属の高温
ストレス応答の解析 *天野百々江(神戸大・自然)・飯田聡
子・岩崎哲史・深見泰夫・乾 秀之・小菅 桂子(神戸大・遺
伝子実験センター)
- JP3-281# 雪田植物エゾコザクラの遺伝構造: 開花フェノロジー
のスケール依存的影響 *平尾章・工藤岳(北大・地球環境)
- JP3-282# 南関東のニホンジカ地域個体群のボトルネックおよ
び遺伝子流動に関する遺伝的検証 *湯浅卓(東京農工大・
連合農)・玉手英利(山形大・理)・古林賢恒(東京農工大・
連合農学)
- JP3-283 インドネシア・スラウェシ島に生息するミツバチ属の系
統地理 *田中洋之(京大・霊研)・須賀丈(長野県環境保
全研)・Kahono S (LIPI)・渡邊邦夫(京大・霊研)・Roubik
D W (STRI)
- JP3-284# マルハナバチの家庭事情: マイクロサテライト DNA
のハプロタイプからみたマルハナバチ野生巣内の遺伝構造
*小久保望(筑波大・生命環境)・徳永幸彦・五箇公一
- JP3-285 ヤマヒゲナガケンミジンコの遺伝構造の地理的変異
牧野渡(東北大・生命)
- JP3-286 MtDNA を用いたサクラマス個体群の遺伝構造解析
*北西滋(北大・院・地球環境)・江戸謙頭(文化庁)・山本
俊昭(日本獣医畜産大)・東典子(北大・院・水産)・長谷
川理・東正剛(北大・院・地球環境)
- JP3-287# カプトガニの DNA 多型解析 - その地域性と保全 -
*西田伸・小池 裕子(九大・院・比文)

生態系管理

- JP3-288# 千葉県北西部の田園都市地域における地域開発と
生態系保全 *山崎健介(広大)
- JP3-289# 森林伐採の Agent-Based Model *佐竹暁子・サイモ
ン・レピン(プリンストン大学)・巖佐庸(九大)
- JP3-290 魚類個体群を用いた河川生態系の分断化影響評価
高村健二(国立環境研)
- JP3-291 林道を利用した野生動物の自動撮影調査における検
出率と離脱率 *平川浩文(森林総研・北海道)・山村光司(農
環研)
- JP3-292 熱帯雨林の草原化とアカシア植林が捕食寄生蜂の種
多様性におよぼす影響 *前藤薫(神戸大・農)・福山研二(森
林総研)
- JP3-293# 関東地方における遺伝子組換えナタネの逸出状況
と環境影響に関する考察 *西沢徹・中嶋信美・玉置雅紀・
青野光子・久保明弘・佐治 光(国立環境研)
- JP3-294# 河口干潟における好氣的有機物分解に対する環境
要因の影響: 温度と潮位 *萩森優(広大・総科)・佐々木晶子
(産総研・中国センター)・中坪孝之(広大・生物圏)
- JP3-295# 谷戸景観の植生状態診断手法に関する研究 *大塚
広夫・根本正之(東京農大・院・農)
- JP3-296# 河口干潟における好氣的有機物分解に対する環境
要因の影響: 底質特性と塩分濃度 *佐々木晶子(産総研・中

ポスター発表3月27日(月)10:30-16:00

(#: ポスター賞対象発表)

- 国センター)・萩森優(広大・総科)・中坪孝之(広大・院・生物圏)・星加章(産総研・中国センター)
- JP3-297 長野県における河川の連続性と魚類の多様性 *北野聡・尾関雅章・前河正昭(長野県保研)・福島路生・龜山哲(国環研)
- JP3-298 摩周湖の微生物群集とその透明度への影響について *五十嵐聖貴・坂田康一(北海道・環境研)・田中敦・藤沼康実(国立環境研究所)・南尚嗣(北見工業大)・濱田浩美(千葉大)
- JP3-299# 近縁野生種への遺伝子組換え作物における遺伝子浸透過程(モデル解析) *大村大輔・嶋田正和(東大・広域システム)
- JP3-300# シマミズ(*Eisenia fetida*)を用いた重金属汚染土壌の酸性化に対する生態リスク評価 *藤井芳一・金子信博(横浜国大・環境情報)
- JP3-301 房総半島におけるシカの個体群構造:ミトコンドリアDNAの配列変異に基づく解析 *吉尾政信(東大・農)・浅田正彦・落合啓二(千葉県立中央博)・五箇公一(国立環境研)・宮下直(東大・農)・立田晴記(国立環境研)
- JP3-302 房総半島におけるシカの植生構造改変を介した造網性クモ類への影響 *高田まゆら・寺田佐恵子・柳洋介・宮下直(東大・院・農)
- JP3-303# 溪畔林における岩上に生育する植物の出現を決定する要因について 一倉新之助(新潟大・自然)
- JP3-304# 隣接する落葉広葉林と杉人工林における水生生物の種組成と現存量の比較 *川野友之・中根周歩(広大)
- JP3-305 三重県尾鷲地域の人工林伐採跡地における獣害防護柵内外の木本群集動態 島田博匡(三重県科技セ)
- JP3-306# 日本海の海面変動に応じた汽水湖中海の沈水植生の構造変化 *宮本康・國井秀伸(島根大・汽水研セ)
- JP3-307# 個体群管理と絶滅リスク:禁漁区設定と漁獲制御の比較 箱山洋(中央水研)
- JP3-308 広葉樹二次林施業からスギ人工林施業への転換で、植物多様性はどのように変化するか? *田中浩・新山馨・柴田鏡江(森林総研)・五十嵐哲也(森林総研・関西)・長池卓男(山梨県森林研)
- JP3-309 オオセツカの繁殖場所選択にかかわる動的環境要因 *沼田彩友美・竹内健吾・東信行(弘前大)
- JP3-310# 丹沢山地におけるシカ生息密度とミズズの生物多様性 *辰田秀幸・伊藤雅道(横浜国大・院・環境情)
- JP3-311# 野生動物の生息場所としての樹洞の形態的特徴 *上山剛司(山形大・院・農学)・松本崇・林田光祐(山形大・農)
- JP3-312# 湖沼堆積物を用いたマリモ生息状況の変遷-達古武沼における過去300年間の変化- *佐藤大樹・安榮相(北大・院・農)・若菜勇(阿寒湖畔EMC)・Ami Einarsson(Myvatn Research Station, Iceland)・中村太土(北大・院・農)
- JP3-313 河川生態系モデル解析 大森浩二(愛媛大・沿岸センター)
- JP3-314# ニホンジカの排糞量 *堀野眞一・野宮治人(森林総研)・前山絵里(東大)
- JP3-315# ミツバチが語る環境情報:窒素安定同位体をもとに *兵藤不二夫(地球研)・清水良訓・菅原道夫・源利文(京大・生態研)・丑丸敦史(神戸大・発達)・井桁明文(地球研)・和田英太郎(地球研)・清水勇(京大・生態研)
- JP3-316# 房総半島におけるシカ採食が土壌環境に与える影響 *柳洋介・高田まゆら・宮下直(東大・院・農)
- JP3-317 房総半島における植生分布の変化・シカの個体群動態に基づく予測 *鈴木牧(東大・農)・蒲谷肇(房総の自然調査会)・丹下健(東大・演習林)・浅田正彦・落合啓二(千葉県立中央博物館)
- JP3-318# 衛星データを用いた流域圏ハビタットマップ作成の展望と課題 *高橋俊守(東大・院)・山浦悠一・加藤和弘
- JP3-319# ダケカンバ林の蒸散流に関する林床植物の影響について *山田雅仁(北大・低温研)・Kamil Laska(Masaryk Univ.)・加藤京子・戸田求(北大・低温研)・隅田明洋・原登志彦
- JP3-320# 人工干潟にコアマモ藻場が及ぼす影響 *吉田友彦(東海大・院・海洋)・矢部徹(国立環境研究所)・石井裕一(茨城県霞ヶ浦環境科学センター)・桑江朝比呂(港湾空港技術研究所)・木村賢史(東海大・海洋)
- JP3-321 農村地域におけるハシボンガラスとハシブトガラスの採餌環境選択 吉田保志子(中央農研)
- JP3-322# 過放牧がモンゴルの草原生態系の送粉系に与える影響 *吉原佑(東大・生物多様性)・佐藤雅俊(帯広畜産大)・須田知樹(立正大)・Badamjavijn Lkhagvasuren(モンゴル科学アカデミー)・高槻成紀(東大・総合研究博物館)

2nd EAFES International Congress

March 24 - 28, 2006, at Toki Messe, Niigata, Japan

Registration

Registration can be made at the 2nd floor of Toki Messe.

March 24: 17:00-18:00

March 25: 8:00-17:00

March 26-27: 9:00-17:00

March 28: 9:00-11:00

Only the payment by Japanese yen (cash) is acceptable. Credit cards, travelers check, and other currency will not be acceptable.

Opening Ceremony: 9:00-10:00 on March 25, at Room A (2nd floor)

Plenary Symposium: 14:00-17:00 on March 25, at Room A (2nd floor)

Symposia:

Please identify the symposium you want to participate. The program and room allocation were made together with ESJ53. ***The organizers of each symposium should manage their symposium (time keeping, handling the presentation files, the way of discussion).***

Oral Presentations:

Please identify your session in the program. The program and room allocation were made together with ESJ53. ***All the speakers should take the chair person for the next speaker.***

Poster Presentation: 10:30-16:00 on March 26

Please put your poster on the board during 9:00-10:30 on March 26, stand by your poster during the core time (12:00-14:00), and remove your poster by 17:00 on March 26.

The poster that won the Poster Prize will be moved to the special board near the registration desk until the end of the congress. The winner should bring your poster when you are going back home.

Banquet: 18:00-21:00 on March 26, 2006 at Hotel Okura Niigata

Please bring your ticket for the banquet and pass it to us in front of the banquet room.

Closing Ceremony: 11:30-12:30 on March 28 at Room A

The winner of the Poster Prize will be given the prize during the ceremony.

EAFES Symposia Saturday 25, March 10:00-12:00 Room A

ES1 Biodiversity and Bio-invasion

Organizers : Wan Fanghao (Center for Management of Invasive Alien Species, China) & NAKAI, Katsuki (Lake Biwa Museum, Japan)

Eastern Asia is one of key regions for bio-diversity conservation in the World. Rapid economic development and urbanization, and alien species invasion, have resulted in great threat to biodiversity, especially in China.

In this symposium, following topics will be focused: (1) biodiversity spatial patterns, and natural reserve planning, (2) Biodiversity and bio-invasion control, (3) stress of climate change on biodiversity and bio-invasion, (4) management of invasive alien species.

WAN, Fang-Hao (Center for Management of Invasive Alien Species, Ministry of Agriculture, China)

ZOU, Yuan-Gang (Forestry University of North-eastern China, China)

SANG, Wei-Guo (Chinese Academy of Sciences, China)

YOU, Ming-Sheng (Fujian Agricultural and Forestry University, China) & You, SJ (Nova Scotia Agricultural College, Canada)

Conservation of biodiversity in support of ecologically-based pest management in agroecosystems

MORIMOTO, Nobuo (National Agricultural Research Center, Japan)

YAMADA, Fumio (Forestry and Forest Products Research Institute, Japan)

Impacts of invasive mammals and an eradication program in

NAKAI, Katsuki (Lake Biwa Museum, Shiga Prefecture, Japan)

EAFES Symposia Saturday 25, March 10:00-12:00 Room D

ES2 Species abundance patterns and their application to environmental assessment

Organizers : Tae-Soo Chon (Pusan University, Korea) and Kei Tokita (Osaka University, Japan)

If we investigate the number of species and each population, some characteristic patterns will be observed universally in various ecosystems. Although vast areas of nature conservation will be impacted by the clarification of the mechanism of those "species abundance patterns (SAPs)", it is, nevertheless, one of the "unanswered questions in ecology" in the last century and has aroused much controversy. This symposium aims to address this issue from an integrated perspective, bringing together theoretical considerations and new methods for environmental assessment by dynamic habitat analyses and systematic planning, in special for large-scale community. It will also provide a forum for empirical ecologists and ecological managers to identify areas in which they think new theoretical approaches need to be developed, to stimulate the next generation of ecological theorists.

Mi-Young Song, Se-Eun Lee, Jungim Park, Jieun Park, Byunghyuk Kim, Seungchul Koh, Keunsup Lee, Young-Seuk Park and *Tae-Soo Chon

Inter-taxa community analysis and environmental assessment

H. Irie and K. Tokita,

Species Area Relationships and Species Abundance Distributions

Eun Ju Lee,

Recent Climate Change Impacts on Tree Flowering

H-Y. Lee,

The dynamics of phytoplankton in Dongbok Lake, Gwangju, KOREA

T. Noda,

Spatiotemporal variability in relative abundance pattern in rocky intertidal sessile assemblages
Y-S Park, P.
Verdonschot. Characterizing energy status of different water body types
K. Tokita,
Dynamic Theory of Species Abundance Distributions

EAFES Symposia Saturday 25, March 10:00-12:00 Room G

ES3 Adaptive ecopolis development to meet the challenge of fast urbanization

Organizers : Rusong Wang (Research Center for Eco-Environmental Sciences, China) & Xuemei Bai (Institute for Global Environmental Strategies, JAPAN)

The world is experiencing rapid growth in urbanization and industrialization. The pace, depth, and magnitude of these changes, while bringing about benefits to local people, have exerted severe ecological stresses on both local human living conditions and regional life support ecosystem. Urban sustainability can only be assured with a human ecological understanding of the complex interactions among environmental, economic, political, and social/cultural factors and with careful planning and management grounded in ecological principles.

With 7 speakers come from China (Mainland and Taiwan), Japan and Korea, this symposium is trying to answer such questions as: What are the ecological implications of urban environmental problems? Which ecosystem service is influencing and modifying habitats in urban areas? How do the urban land use and metabolism influence the effects of heat island, green house, hydrological cycle? How might the social, economic and natural factors be integrated into urban planning, design and management under? What kind of adaptive approach should be taken by decision makers, industries and the publics? The presentations will integrate and summarize the experiences and lessons of ecopolis development in some typical cities such as Beijing, Shanghai, Guangzhou, Yangzhou and other Japanese and Korean cities, with a focus on eco-integration approach.

Wang, Rusong (Research Center for Eco-Environmental Sciences, China)

Ecopolis approaches and cases in China

Hwang, Kyung-Soo (Cheju National University, Korea)

Analysis and Suggestion on the Ecological Seogwipo City in the Cheju Island

Huang, Shuli (The Graduate Institute of Urban Planning, Taiwan)

Emergy synthesis and urban ecosystem analysis of Taipei

Schulz, Niels (United Nations University, Japan)

The development of society's metabolism (material and energy consumption) of Singapore)

Da, Liangjun (East China's Normal University, China)

The theory and practices of approx-natural eco-restoration construction in urban area of Shanghai, China

Bai, Xuemei (Institute for Global Environmental Strategies, Japan)

Urban Environmental Evolution and Policy Interventions

Huang, Guangyu (Congqing University, China)

Spatial structure of Ecological cities in China)

ES4 Ecological engineering and ecosystem management

Organizers : Pei Qin (Nanjing University, China) & Yauhiro TAKEMON (Kyoto University, JAPAN)

Ecological engineering is an important strategy and manipulation in the process of ecosystem management and health, which is designed with natural components and is going to achieve the balance between human being and nature. A lot of case studies have proved that ecological engineering obviously not only benefits both human society and natural system but also promotes sustainable development in the world. So this symposium includes following topics:

- Basic theory and methods in ecological engineering and ecosystem management.
- Ecological engineering in special ecosystems such as coastal wetland , saline land, drought region and lake ect.
- Ecological engineering and management in forestry and agricultural ecosystems
- Relationship of ecological engineering and management with environment, district economic development and industry.
- Ecosystem health recognize and management.

WANG Ruiyong (School of Life Science, Nanjing University, China)

Impact of introduction of *Spartina alterniflora* on microbial flora in salt marsh of Jiangsu, China

XI Yunguan (Nanjing Institute of Environmental Sciences, China)

The quality study of organic and conventional rice in Shanghai, China

MA Fenglin (Shanghai forest management station, China)

Forest and forest pest management in Shanghai

Hidenobu KUNII (Shimane University, Japan)

Present status and perspectives of nature restoration in Lakes Shinji and Nakaumi, newly registered Ramsar sites in Japan

Yasuhiro TAKEMON (Kyoto University, JAPAN)

Perspectives of nature restoration in the Mizoro-ga-ike Pond in Kyoto City

Myung-Soo Han (Hanyang University, Korea)

ES5 Land use changes and their ecological impacts

Organizers : Bojie Fu (Research Center for Eco-environmental Science, China), Eun-Shik Kim (Brown University, USA) & Akiko SATAKE (Princeton university, USA)

Land use change may influence many natural phenomena and ecological processes. To understand the interactions between land use change and ecological processes is one of the primary goals of ecology. East Asian is the region of land use change dramatically in the world. Land use change has resulted in environmental and ecological changes. The symposia will focus on land use/land cover change, landscape dynamics and driving forces; Ecological and environmental effects of land use changes; Land use change and global change; Land use change modeling; and sustainable land use and landscape design.

Qinxue Wang (National Institute for Environmental Studies, Japan)

Impacts of land use/cover change on water vapor, carbon and nitrogen dynamics in China

Katsue Fukamachi (Kyoto Prefectural University, Japan)

The change of satoyama landscape and its causality in Kamiseya, Kyoto Prefecture, Japan

Mari Morino(Kibi International University, Japan)

Forest-use change and awareness of local people of forest conservation on Yakushima Island, Japan

Akiko Satake (Princeton University, USA)

A parcel-based land-use modeling and its potentials in application to spatio-temporal data

Jae-Eun Kim, Sun-Kee Hong and Nobukazu Nakagoshi

What is the driving force of rural landscape change in East Asia

Eun-Shik Kim (Brown University, USA)

Potentials of GOOGLE EARTH in application to ecological sciences and land-use studies

Guobin Liu (Institute of Soil & Water Conservation, China)

Effect of Land use changes on energy flow in a watershed ecosystem in the loess hilly region of China

Zhang Bin (Institute of Soil Science, China)

Soil degradation processes identified at the landscape scale in relation to land use changes

Xueyong Zhao (Cold and Arid Regions Environmental and Engineering Research Institute, China)

Ecological Impacts of land use change in the agro-pastoral area in Northern China

Yan li (Xinjiang Institute of Ecology and Geography, China)

Changes in soil respiration and soil micro-biological activity when desert becomes oasis

EAFES Symposia

Saturday 26, March

14:00-16:30

Room E

ES6 A new perspective for the study on plant-animal interactions - Toward a linkage between pollination and seed dispersal

Organizers : Takakazu Yumoto (Research Institute for Humanity and Nature, Japan), Harue Abe (Toho University, Japan), Mari Terakawa (Hiroshima University, Japan)

The study on plant-animal interactions, especially pollination and seed dispersal, provides a new perspective for understanding ecosystem dynamics and for the conservation of biodiversity. Pollen and seeds act as the vector of gene flow and immigration in plant population, so dispersal agents have crucial effects on plants' reproduction success and, therefore, their evolution. Until recently, many works have been carried out by the direct observation on plants' and animals' behavior. The difficulty lied in tracing the dispersal of pollens and seeds has been considered as an unavoidable limitation of the field research. However, owing to the recent development of genetic techniques, we can conduct parentage analysis easily even in natural plant population so that reproductive botany on some plants has been revealed by genetic tools. In addition, we can focus on secondary metabolites function by advance microanalyses on chemicals, in both mutualist and antagonist interactions. Based on such a technical break though, we are revealing the evolutionary traits of two types of multi-species systems of plant-animal interactions: flowers-nectarivores-nectar robbers and fruits-frugivores-seed predators. In order to promoting the collaborative research on plant-animal interaction in East Asia region, this symposium introduces several epoch making studies based on new techniques and viewpoints.

Takakazu Yumoto (Research Institute for Humanity and Nature, Japan)

Explanation of aim

Richard T. Corlett (University of Hong Kong, China)

How far do Oriental pollinators and seed dispersal agents move?

Pedro Jordano (Consejo Superior de Investigaciones Cientificas, Spain)

Frugivores, pollinators, and genes: molecular tools for tracking the consequences of plant-animal interactions

Yoshihisa Suyama (Tohoku University, Japan)

Gene dispersal and relative fertility in *Fagus crenata* revealed by parentage analysis with pericarp and cotyledon DNA

Yuji Isagi (Hiroshima University, Japan)

Determination of pollen and seed dispersal by analyzing leaf

Ido Izhaki (University of Haifa, Israel)

Do secondary metabolites in floral nectar and fruit govern the interactions with pollinators and seed dispersers?

Takuya Shimada (Forestry and Forest Products Research Institute, Japan)

Acorns as a noxious resource. - Shifting from the mutualistic understanding of the interactions between acorns and

ES7 Integrated vegetation mapping in Asia

Organizers : Song Yongchang (East China Normal University, China) & Kazue Fujiwara (Yokohama National University, Japan)

Asia covers a large area, from the far north to the tropics and from the vast continental interior to the Far East. It is abundant in vegetation types that differ in each country. However, each country has its own vegetation classification system because of the different approaches to vegetation classification. As we know, it is very important to establish a standard classification system and integrate the vegetation map by investigating the similarities and differences in vegetation in the different Asian countries. This symposium presents results from two years of research, on topics ranging from methodology and zonal vegetation to particular ecosystems. We will summarize various aspects of vegetation ecology and then have a discussion for constructing the integrated legend of a map of vegetation distribution in Asia. All of this work is essential for making the final vegetation map.

I. Forest vegetation

Kazue Fujiwara & Elgene O. Box (University of Georgia, USA)

Introduction: Symposium aim and vegetation in Asia.

Pavel Krestov (Institute of Biology & Soil Research, Vladivostok, Russia)

Phytogeographical lines in northern Asia.

You Hai-Mei (Xuzho Normal University, China) and Kazue Fujiwara

Deciduous oak forests in northern China and their ecological situation in East Asia.

Keiichi Ohno (Yokohama National University, Japan) and Jong-Suk Song (Andong National University, Korea)

Classification of actual vegetation and landscapes in Korea.

Song Yongchang, Da Liangjun (East China Normal University, China), Kazue Fujiwara and Elgene O. Box

Evergreen broad-leaved forests in Asia.

II. Vegetation under extreme conditions

Organizer: Song Yongchang (East China Normal University, China) & Yukito Nakamura (Tokyo University of Agriculture, Japan)

Yukira Mochida and Maun Maun Than (Yokohama National University, Japan)

Mangrove vegetation and ecological characteristics of Southeast Asia for vegetation mapping.

Yukito Nakamura, Pavel Krestov (Russian Institute of Soil and Natural Resources, Russia) and Ken Sato (Hokkai-Gakuen Univ., Japan)

Classification of alpine vegetation and its attribute in northern Asia.

Irina Safronova (Komarov Botanical Institute, Russia)

Classification and ecological characteristics of steppe vegetation for vegetation mapping.

Ryutaro Tateishi (Chiba University, Japan) & Hiroshi P. Sato (Geographical Survey Institute, Japan)

Vegetation cover of Asia discerned from satellite data.

Commentators:

Rusong Wang (Research Center for Eco-Environmental Sciences, China)

Siegmar Breckle (Guest Prof., University of Utsunomiya, originally Germany)

ES8 Wildlife behavioral ecology and evolution

Organizers : Jae Chun CHOE (Seoul National University, Korea) & Eiiti Kasuya (Kyushu University, Japan)

In this session, we discuss quantitative empirical studies of the field of the analysis of behavior and the ecological traits. This session comprises diverse taxa of behaving organisms: invertebrates, vertebrates and plants. The concerns are placed on the proximate mechanisms, ultimate functions and evolution of ecological adaptations of behavior. Intraspecific behavioral interactions, with special emphasis on social behavior will be debated. Ecological and evolutionary processes to explain the occurrence and adaptive significance of behavior patterns will be also discussed. Bringing together significant studies on all aspects of sociobiology and behavioral ecology, we will exchange the relevant views regarding the latest ideas, rigorous methodology and extension in the evolutionary aspect of behavioral process.

ES9 Vegetation and climate since the last glacial period in the Northeastern Asia

Organizers : Hikaru Takahara (Kyoto Prefectural University, Japan) and Sergey K. Krivonogov (United Institute of Geology, Geophysics and Mineralogy SB RAS, Russia)

The regional vegetation and climate changes in the latitudinal transect across the Eastern Eurasia will be presented in this symposium. These problems will be discussed in different aspects in 10 presentations covering the following territories: Western Siberia (Step to Taiga), Lake Baikal and Lake Khubsugul (Light Taiga and Dark Taiga), Eastern Siberia (Light Taiga), Middle Asia (Step), Amur region (mixed forests of deciduous trees and conifers), Kamchatka Peninsula (Forest Step), around the Yellow Sea and Korea Peninsula (temperate deciduous broadleaf forests), and Japanese Islands (mainly Cool and warm temperate forests). The symposium is aimed for better understanding the vegetation history in the Northeastern Asia as a whole, and in regional scale. Special attention will be paid to the recurrent changes of the vegetation pattern through the last Glacial-Interglacial cycle.

Hikaru Takahara and S. K. Krivonogov

Overview of the study for the vegetation history in the Northeastern Asia.

Sangheon Yi, Y. Saito, D. Y. Yang and J. Y. Kim

Late Quaternary climate changes of the East Asian monsoon inferred from pollen records around the Yellow Sea.

Yaeko Igarashi

The late glacial and Holocene history of vegetation in Sakhalin and Hokkaido, northeast Asia

Valentina B. Bazarova, M. A. Klimin, L. M. Mokhova and L. A. Orlova.

Holocene dynamics of the spreading of the main forest species in the Lower Amur basin

Mikhail. A. Klimin and S. E. Sirotsky

Distribution of photosynthetic pigments in the peat bog sections as a reflection of the Holocene climate changes

Veronika G. Dirksen and O. N. Uspenskaia

The Holocene climate and vegetation changes in Eastern Kamchatka based on pollen, macrofossil and tephra's data

Fumitaka Katamura, M. Fukuda, N. P. Bosikov, R. V. Desyatkin, T. Nakamura, and J. Moriizumi

Thermokarst formation and vegetation dynamics inferred from a palynological study in central Yakutia, eastern Siberia.

Koji Shichi, H. Takahara, S. K. Krivonogov, E. V. Bezrukova and K. Kawamuro

Vegetation history since the last glacial in the middle part of the Lake Baikal area based on pollen data from Lake Kotokel and Cheremushuka bog

Irina Khazina, V. S. Volkova, H. Takahara and S. K. Krivonogov

Vegetation and climate changes in the south of West Siberia, Novosibirsk Region since Middle Holocene (proxies of pollen data).

Masumi Yamamuro

Carbon, nitrogen and phosphorus concentrations and carbon and nitrogen stable isotope ratios in core sediments of Lake Beloe, Western Siberia

EAFES Symposia

Saturday 26, March

14:00-16:30

Room H

ES10 Pollution ecology and environmental remediation

Organizers : Qixing ZHOU (Chinese Academy of Sciences, China) & Zen'ichiro KAWABATA (Research Institute for Humanity and Nature, Japan)

Pollution ecology deals with interrelationships between living organisms and contaminated environment (air, water and soil environment) and its ecological remediation. With the development of industrial and agricultural production, the incidents of environmental pollution are emerging in endlessly. Because more and more pollutants have been putting into ecosystems, living organisms are increasingly endangered. Thus, more attention has been paid to ecotoxicology of combined pollution and its molecular mechanisms, ecological risk of multiple pollution, and ecological remediation of contaminated environment by more than one pollutant.

In this symposium, following topics will be earnestly discussed: (1) New-type pollutants and their sources to environment; (2) Multiple pollution of air, water, soil environment in the East Asian area; (3) Pollution ecotoxicology and joint stress of more than one pollutant on living organisms including plants, animals and microorganisms; (4) Biomarkers and ecological risk assessment of combined pollution/multiple pollution; (5) Ecological remediation of contaminated environment, mainly water and soils.

Qixing ZHOU (Institute of Applied Ecology, China)

Ecological remediation of contaminated soils using ornamental plants

Tomoaki ITAYAMA (National Institute for Environmental Studies, Japan)

Control of toxic cyanobacterial blooms using eco-engineering methods

Wenzhi CAO (Xiamen University, China)

Ecologically based evaluation of agricultural sustainability – a case study at a provincial scale from Fujian, China

Jingchun TANG (Nankai University, China)

Progress in the research of microbial ecology of composting process

Ho-Dong PARK (Shinshu University, Japan)

Dynamics and bioaccumulation of cyanotoxin in aquatic ecosystem

Qianru ZHANG (Institute of Applied Ecology, China)

Ecotoxicological responses of the polychaete *Nereis diversicolor* to Cu, Cd and petroleum

Dengyi LIU (Anhui Normal University, China)

Effects of Cu and Cd in single and combined pollution on the seedling growth of *Trifolium repens*

Yufang SONG (Institute of Applied Ecology, China)

A new method for determining cytochrome P450 in earthworms

Yitong LU (Shanghai Jiaotong University, China)

Interaction of polycyclic aromatic hydrocarbons and heavy metals on soil enzymes

Shirong TANG (Guangzhou University, China)

Uptake of ^{134}Cs in the shoots of *Amaranthus tricolor* and *Amaranthus cruentus*

Carbon, nitrogen and phosphorus concentrations and carbon and nitrogen stable isotope ratios in core sediments of Lake Beloe, Western Siberia

ES11 Model oriented ecotone dynamics in landscapes

Organizers : Sun-Kee Hong (Kookmin Univ. Korea), Mahito Kamada (Tokushima Univ., Japan) & Xiuzhen Li (CAS, China)

Ecotone has important functions in ecological process, such as habitat, barrier or corridor for materials and animals. And thus conserving and improving ecotone function is essential for keeping ecological quality of landscape as a whole. Synthesizing scientific knowledge and actual practice for conservation and restoration is really meaningful. Several aspects will be necessary to promote ecotone improvement; model oriented method to predict species distribution for knowing potential habitat of wildlife, methods to estimate movement of material and wildlife in ecotone, methods to evaluate functions for planning, and methods in practical works to progress restoration including public involvement, etc. In the symposium, we focus on landscapes in urban-rural gradient and watershed systems and discuss method for mapping potential habitat, evaluation of functions and prediction of its change, and application of scientific knowledge to practical works.

Introduction

Sun-Kee Hong (Kookmin Univ. Korea), Mahito Kamada (Tokushima Univ., Japan) & Xiuzhen Li (CAS, China):

Prediction of potential habitat

E. Harada (Tokushima Univ., Japan), M. Ogawa (Tokushima Pref. Museum, Japan), M. Kamada (Tokushima Univ., Japan) & M. Mitsuhashi (Museum Nature and Human Activities, Japan)

Mapping potential habitats of rare hygrophyte species for conservation planning in rural regions.

H. Matsuno (Museum Nature and Human Activities, Japan), M. Ueta (Japan Bird Research Association, Japan) & H. Mitsuhashi (Museum Nature and Human Activities, Japan)

Importance of the grassland habitats along river ecosystems; viability of Skylarks *Alauda arvensis* occurrence

Functional approach

S.-K. Hong (Kookmin Univ. Korea) & S. Watanabe (Hiroshima Univ., Japan)

Landscape ecological analysis of man-dominated coastal area in western Korea

Z. Xiong (Hiroshima Univ. Japan) & X. Li (CAS, Shenyang)

Aboveground carbon storage of main forest area in Northeast china.

H. Kang and S-H. Lee (Ewha Womans University, Korea)

Spatial heterogeneity of microbial community structure and activities in boundary ecosystems

Restoration in practice

H. Yamada (Hokkaido Univ., Japan), T. Nakamura (Tokyo Univ. of Agriculture, Japan), T. Yazaki (Hokkaido Univ., Japan), Y. Nakagawa (Hokkaido Univ., Japan), & F. Nakamura (Hokkaido Univ., Japan)

Ecosystem restoration at multiple scales in Kushiro Mire - Analysis of present status and practice.

E.-S. Kim (Kookmin Univ, Korea)

Integrated restoration strategy in arid zone of Inner Mongolia, Northwest China.

K. Ito (Kyushu Inst. Tech., Japan)

A school biotope planning as an irony in the city.

General discussion and remarks

Mahito Kamada, Sun-Kee Hong and Xiuzhen Li

ES12 Forest ecosystem dynamics with global change

Organizers : Yowhan Son (Korea University, Korea) & Toshihiko Hara (Hokkaido University, Japan)

Global climate change is a central issue facing the world today. Although the topic has received intense international attention as exemplified by the continuing series of books and scientific papers, limited information is available for the area of northeast Asian countries including China, Japan and Korea. Especially humans affect the structure and function of forest ecosystems at many scales. This symposium aims to examine the changes in forest ecosystem dynamics under global change. Speakers will present up-to-date results from various research fields including soils, vegetation, dead organic matters, disturbances such as forest fire, and RS/GIS. The symposium will integrate findings from the three countries and may propose possible future research direction in the region.

Do Soon CHO (Catholic University, Korea)

Vegetation structure and natural regeneration in a tropical rain forest in the Philippines

Kosuke HOMMA (Niigata University, Japan)

Regeneration of the boreal forest in Kamchatka

Woo Kyun LEE (Korea University, Korea)

Spatial analysis of regional variability in stem form of *Pinus densiflora* in central Korea

Motomu TODA (Hokkaido University, Japan)

Effects of climate change on forest dynamics and carbon cycle: a long-term simulation study

Yowhan SON (Korea University, Korea)

Effects of local environments on biomass and nutrient cycling of natural oak forests

Naoyuki NISHIMURA (Nagoya Sangyo University, Japan)

Long-term dynamics of old-growth forests in different climate zones in Japan

Rae Hyun KIM (Korea University, Korea)

Input and decomposition of coarse woody debris in natural deciduous forests in central Korea

Eun Jin JUN (Korea Forest Research Institute, Korea)

Spatial analysis of Yangyang forest fire damage area based on LiDAR

ES13 Ecological conservation and management for halophytes communities of tidal flats ecosystem

Organizers : J.-S. Lee (Kunsan National University) & S. Ishikawa (Gumma University, Japan)

The tidal flats has been identified as a place of high productivity, a nutrient source, and a sink, as well as a site for nutrient transformations, as a spawning site and nursery area for fishes, stom buffer and mechanisms for flood control. Tidal flats of Korea have been manipulated for a variety of purposes for last centuries, especially for land reclamation and improvement for agriculture. Many halophytic species have been lost or greatly restricted, and other species and habitats are endangered because of dikes and embankments construction. The conservation of halophytes communities is essential to protect shorelines in southwestern coasts of Korea. Since 1900, we studied tidal flats ecosystem in a wide range of subjects including taxonomy, morphology, physiology, ecology, topography, geography, soil-science and economy. This symposium will address our findings of ecological knowledge and management technique for the tidal flats ecosystems.

Lee, J.S., B.S.Ihm, & D.S.Cho

Ecological conservation and management technique of halophyte communities of Southwestern coasts in Korea.
 Ihm, B.S., J.S.Lee, J.Y.Lee, & Y.U.Han
 Soil factors affecting the halophyte communities on tidal flats in Korea
 Cho, D.S., J.S.Lee, B.S.Ihm & J.Y.Lee
 Distribution patterns of halophyte communities to soil characteristics in the sand dune salt marsh
 Lee, W.J., J.G.Na, & D.S.Park
 The phylogeny among Suaeda species from Korea
 Kim, N.O.
 Assessment of economic values of tidal flats

EAFES Symposia Saturday 27, March 9:30-12:00 Room H

ES14 Ecosystem carbon processes from leaf to regional scales

Organizers : Cao Migkui (Institute of Geographic Science and Natural Resource Research, China) & Kentaro Takagi (Hokkaido University, Japan)

Topics

Responses and acclimation to environmental changes
 Environmental and ecological controlling mechanisms
 Observations using biometric, eddy flux and remote sensing techniques
 Methodologies of multi-scale data assimilation and data-model fusion
 Natural and anthropogenic disturbance to carbon sources and sinks
 Dynamic ecosystem carbon budget using top-down and Bottom-up approaches
 Ecosystem carbon management and the ecological, economic and social impacts

Bo Tao (Institute of Geography and Natural Resource Research, China)

The climate change and carbon budget in China during 1954-2002.

Song Gu (Institute of Plateau Biology, China)

Carbon and water exchange in an alpine meadow ecosystem on Qinghai-Qibet Plateau.

Lupeng Gao (Institute of Geography and Natural Resource Research, China)

Effect of climate on decomposition of litter in forests.

Shaoqiang Wang (Institute of Geography and Natural Resource Research, China)

Forest carbon sinks and sources of China from 1901 to 2001.

Naishen Liang (Center for Global Environmental Research, NIES, Japan)

Estimation of Forest Carbon Sequestration by using multichannel automated chamber approaches.

Ryuichi Hirata (Center for Global Environmental Research, NIES, Japan)

Comparison of NEP estimated by micrometeorological, biometric and remote sensing methods in a larch forest in Hokkaido, Japan.

Toshiyuki Ohtsuka (Ibaraki University, Japan)

Process level carbon flux measurements and NEP in a temperate deciduous broad-leaved forest at Takayama, Japan.

Satoru Takanashi (Kyoto University, Japan)

Effects of stomatal behavior on the gas-exchange characteristics of a tropical rain forest in Peninsular Malaysia.

Poster Presentation March 26, 10:30–16:00

(#: Entried presentation for Poster Prize)

Animal Ecology

- EP-1 Intraspecific behaviors, major cheliped sexual dimorphism and egg production in three congeneric callinassid shrimp *Katsumasa Shimoda, Kumiko Kubo, Yusli Wardiatno, Akio Tamaki
- EP-2 Identifying individuals of endangered Amami rabbit (*Pentalagus furnessi*) using microsatellite DNA *Junco Nagata, Yoich Sonoda
- EP-3# Past and current condition, and conservation of markless forms of resident masu salmon (*Oncorhynchus masou*) in Japanese mountaintstreams *Yuichi Kano, Takuya Kondou, Yoshitaka Shimizu
- EP-4# Incidence of deformed individuals and their life history in small isolated populations of Kirikuchi charr, *Salvelinus leucomaenis japonicus* *Takuya Sato
- EP-5# How does female select the oviposition site? –in amphibia (*Buergeria japonica*) breeding in coastal habitat– *Takashi Haramura
- EP-6 Does female *Uca lactea* prefer underground copulation? *Yasuhisa Henmi, Kazuki Hira
- EP-7 Application of rapid sex determination methods to *Larus crassirostris* population by PCR of DNA from feathers *S Shikano, A K Yurlov, E Kikuchi, C Mizota
- EP-8# Effect of temperature on seasonal change in the mud depth of spawning room of the mudskipper *Boleophthalmus pectinirostris* *Takeshi Takegaki, Junya Sato, Yutaka Natsukari
- EP-9# Relationship between Body size and Density in a Mobile Molluscas Assemblage *T Takafushi, M Tokeshi
- EP-10 Life history of cryptic lamprey species in the sympatric area *Yuji Yamazaki
- EP-11 Flight ability and food habits of silphin beetles: are flightless species really ‘carrion’ beetles? *Hiroshi Ikeda, Kohei Kubota, Takashi Kagaya, Toshio Abe
- EP-12# Effects of temperature on circadian rhythm in Honeybee *T Fuchikawa, A Hyochi, I Shimizu
- EP-13# Coevolution of male and female genital laterality in earwigs *Yoshitaka Kamimura
- EP-14 AFLP analysis of clonal structure in the fissiparous seastar *Coscinasterias acutispina* *Shinji Haramoto, Mieko Komatsu, Yuji Yamazaki
- EP-15# How butterflies settle their contests *Tsuyoshi Takeuchi
- EP-16 Sexual differences in daily activity pattern of the small copper butterfly, *Lycaena phlaeas daimio* *Jun-ya Ide
- EP-17 Mitochondrial gene diversity of *Acanthodiptomus pacificus* in Japan *Wataru Makino
- EP-18# Causes and consequences of male-biased sexual size dimorphism in the seed bug *Togo hemipterus* (Heteroptera: Lygaeidae) –Strength of sexual selection– *Chihiro Himuro, Kenji Fujisaki
- EP-19# The effect of diet on body color

- polyphenism in *Helicoverpa armigera* *Azusa Yamasaki, Kenji Fujisaki
- EP-20# Do bees reject foraged flowers by using scent marks? *Tomoyuki Yokoi, Kenji Fujisaki
- EP-21# Breeding behavior of two populations of male salamander (*Hynobius lichenatus*) in relation to operational sex ratios *Hiroshi Ota
- EP-22# Influence of food quality on daily body weight in large Japanese field mouse *Apodemus speciosus* *Yasue Yamamoto, Kazuhiko Hoshizaki, Kazumi Kobayashi
- EP-23# Geographical variation in shell shape and color of sandy beach clam, *Donax kiusiuensis* (Bivalvia: Donacidae) *Ayako Yashiki, Masashi Yamaguchi
- EP-24# Adjustment of parental investment to resource quality but not resource type, in the dung beetle *Onthophagus atripennis* (Coleoptera, Scarabaeidae) *Shigeki Kishi, Takayoshi Nishida
- EP-25 Wing dimorphism and habitat stability: Carabid beetles in grasslands *Hanae Yamashita, Keizi Kiritani, Katsumi Togashi, Kohei Kubota
- EP-26 Relationship between immune response and population fluctuation in the gray red-backed vole (*Clethrionomys rufocanus bedfordiae*) *K Kusumoto, T Saitoh
- EP-27 High prevalence of double infection with *Wolbachia* in the adzuki bean beetle, *Callosobruchus chinensis* *Natsuko Kondo, Masakazu Shimada, Takema Fukatsu
- EP-28 Effect of aging and food quality degradation on sex allocation *Kimio Otsuka

Community Ecology

- EP-29 Birds as seed dispersal agents of *Idesia polycarpa* in warm-temperate zone in Shikoku Island, Japan *Shigeo Sato, Atsushi Sakai
- EP-30# A mechanistic approach to evaluate umbrella species as conservation surrogates *Kenichi Ozaki, Masahiro Isono, Takayuki Kawahara, Shigeo Iida, Takuma Kudo, Kenji Fukuyama
- EP-31 Herbivores, ants, and extrafloral nectar on oceanic island plants *Shinji Sugiura
- EP-32 Stand structure and floristic composition of the forests of the three *Acer* species belonged to Sect *Rubra*, in Japan and North America *Wajiro Suzuki, Ayako Kanazashi
- EP-33# One-sided barrier effect of a railroad on the migration of Mongolian gazelles *T Y Ito, A Okada, B Buuveibaatar, B Lhagvasuren, S Takatsuki, A Tsunekawa
- EP-34# Role of *Zosterops japonica* on pollination and reproductive success of *Camellia japonica* –Does the population density of pollinator depend on the number of flowering? *Masami Hasegawa, Yoko Kunitake, Harue Abe, Hiroyoshi Higuchi
- EP-35# Pollination of *Camellia japonica* revealed by DNA Analyses and behavioral observations of *Zosterops japonica* on volcanic island, Miyake *Harue Abe, Saneyoshi Ueno, Yoko Kunitake, Yoshihiko Tsumura, Masami Hasegawa

Poster Presentation March 26, 10:30–16:00

(#: Entried presentation for Poster Prize)

- EP-36 Interaction between annual fluctuation in amount of berries and that in number of Brown-eared bulbuls *Yasuhiro Yamaguchi
- EP-37 Spatiotemporal variability of emergence, flowering, and survival of red clover in cutting meadows *T Hirata, Y Aoyagi, T Yamada
- EP-38# High dependence on fluctuating temperatures in gap-detecting seed germination of spermatophytes *Yukio Honda, Kouji Itoh, Kazuhiro Katoh
- EP-39# Antifungal compounds containing seeds influence mycoflora in the seedling rhizosphere of *Thujaopsis dolabrata* var. *hondai* *Keiko Yamaji, Shigeta Mor, Hiroshi Ishimoto
- EP-40# Preferences of frugivorous and granivorous birds to morphologically different fruits *Tetsuro Yoshikawa, Kihachiro Kikuzawa
- EP-41# Density dependent pollination by bumblebees *Yoko Kunitake, Tadashi Miyashita
- EP-42# Direct and indirect effects of the great cormorant on a beetle community in a forest *Kayoko Kameda, Katsuro Yahiro, Masahiro Kon
- EP-43# Litter decomposition of eight regional forests in China *Guan Lili, Zhou Guoyi
- EP-44# Tree-Pollen relationship in Hakkoda Mountains, northeast Japan *Takuma Nakamura, Hikaru Takahara
- EP-45# Relationship between interannual change of plant productivity and habitat use of Mongolian gazelles *M Tsuge, T Y Ito, B Lhagvasuren, A Tsunekawa, S Takatsuki
- EP-46# Growth responses of some key plant species in Horqin sandy land to nutrient status Lijun Chen, Yuanrun Zheng, Yunjiang Yu, *Hideyuki Shimizu
- EP-47 Effect of local flowering-plant density on inter-line crossing of self-incompatible *Brassica rapa* (Brassicaceae) in experimental field *Akihiro Konuma, Atsushi Horisaki, Norifumi Tanaka, Satoshi Niikura
- EP-48# Patterns and consequences of vegetation responses to grazing among different landscapes in Mongolian rangelands *Takehiro Sasaki, Tomoo Okayasu, Yasuhiro Shirato, Jamsran Undarmaa, Kazuhiko Takeuchi
- EP-49# Spatial distribution of bud galls caused by eriophyoid mites on *Carpinus tschonoskii* *Masae Ishihara, Michimasa Yamasaki, Junpei Yoshikawa
- EP-50# How many maternal seeds in a monkey feces? -maternity analysis using microsatellite markers *Mari Terakawa, Yuji Isagi, Kiyoshi Matsui, Takakazu Yumoto
- EP-51 Cut slope revegetation using only natural plant dispersal from the above vegetation in Tochigi, Japan *Daisuke Hosogi, Katsue Nakamura, Akira Kameyama
- EP-52# Ecosystem engineering by larvae of net-spinning stream caddisflies creates a habitat on the upper surface of stones for mayfly nymphs with a lowresistance to flows *Daisuke Nakano
- EP-53# Community structure and stability analysis for intraguild interactions among host, parasitoid, and predator *Takefumi Nakazawa, Norio Yamamura
- EP-54# Food Sources of the Oyster (*Crassostrea gigas*) and the Clams (*Ruditapes philippinarum*) in The Akkeshi-ko Estuary *Ma'ruf Kasim, Hiroshi Mukai
- EP-55# Distribution of emergent plants (*Typha latifolia* L., *Typha orientalis* Presl, *Typha angustifolia* L.) based on water depth *Tomomi Matsui, Takayoshi Tsuchiya
- EP-56# The assessment of stones at a river bottom as microhabitats for a riverine benthic fish: significance of the entrance height of stones *Yukio Onoda, Masahide Yuma, Atsushi Maruyama, Yukihiro Kohmatsu
- EP-57# Quantitative estimation of the effect of water level alteration on lakeshore vegetation *Jun Nishihiro, Miho A Nishihiro, Izumi Washitani
- EP-58# Micro-habitat structure and stream invertebrate assemblages *H Saito, M Tokeshi
- EP-59 Cancel
- EP-60 Food source analysis of macrozoobenthos in a semi-enclosed brackish lagoon using stable isotope ratios *Gen Kanaya, Ei Nobata, Eisuke Kikuchi
- EP-61# Meso-benthos community structure in relation to microhabitat types on the floating island in Mizoro-ga-ike, Kyoto city *Yasuyuki Murakami, Yoshikazu Kato, Yasuhiro Takemon, Hikaru Takahara
- EP-62# Macro-benthos community structure in relation to microhabitat types on the floating island in Mizoro-ga-ike pond, Kyoto city *Yoshikazu Kato, Yasuyuki Murakami, Yasuhiro Takemon, Michio Hori
- EP-63# Evaluation of hypoxic water area in macrophyte zone as a habitat by using respiratory characters of fish *Hiroki Yamanaka, Yukihiro Kohmatsu
- EP-64# Structure of dragonfly communities at paddy area habitats in different environmental conditions in the Kamiina district, Nagano Prefecture, central Japan Naoko Kuki, *Kumiko Okubo
- EP-65 Changes in microcystin production of cyanobacteria exposed to differential zooplankton densities and info-chemical concentrations released by zooplankton *Min-Ho Jang, Kyong Ha, Jong-Mun Jung, Noriko Takamura
- EP-66# Why does a stream caddisfly shredder benefit from the combined use of green and senescent leaves?: evidence from the leaf-selection experiments *Kaori Kochi, Takashi Kagaya
- EP-67 Differences of zooplankton development from middle to lower river stretches of the Nakdong River (S. Korea) *H W Kim, D K Kim, M C Kim, K S Jeong, J M Jung, G J Joo
- EP-68 Seasonal Variations of Water Quality and Phytoplankton Community in Lower part of the Nakdong River (1995–2005) *Jong Mun Jung, You Jung Lee, Hong Ki Park, Eun Young Jung, Mi Eun Jung, Ki Won Ji, Min Ho Jang, Kyung Ha, Gea Jae Joo
- Environment
- EP-69# Holocene dynamics of spreading the main forester species in Lower Amur basin *V B

Poster Presentation March 26, 10:30–16:00

(#: Entried presentation for Poster Prize)

- Bazarova, MA Klimin, LM Mokhova, LA Orlova
- EP-70# The rural landscape and ecosystem management at Hokusyo region, Chiba pref, eastern Japan, with the viewpoint of civil participating environmental activities *Kensuke Yamazaki
- EP-71# Biodiversity conservation and ecosystem management in Yunnan China—Primula species as indicators *Aijun He, Izumi Washitani
- EP-72 Loss of genetic diversity from tetraploid populations *Michiko Masuda
- EP-73# The Chinese desert ecosystem long-term observation and research network and its development *Cui Xianghui, Lu Qi, Chu Jianmin
- EP-74 Effects of the existence of bird's nest ferns on the diversity of oribatid communities in a subtropical forest in Japan *Shigenori Karasawa, Naoki Hijii
- EP-75 The landscape organization of the main volcano of the Kunashir Island (South Kuril islands) *K Ganzei
- EP-76# Landscape ecological analysis of birds habitats in urban woods using multilayer vegetation map created from remote sensing data *Hiroshi Hashimoto, Junichi Imanishi, Yukihiro Morimoto
- EP-77# Latitudinal gradient of species diversity in rocky intertidal sessile animal assemblages: determination mechanism of multi-scale variability *Takehiro Okuda, Takashi Noda, Masahiro Nakaoka, Tomoko Yamamoto, Masakazu Hori
- EP-78 Evaluation of the potential of soil seed bank as a material for revegetation in an irrigation pond *Jun Ishii, Taku Kadoya, Akira Goto, Shin-ichiro Matsuzaki, Izumi Washitani
- EP-79 Effects of a biosoop on windspeed and evaporation in a Korean agricultural area *Insu Koh, Seogcheol Kim, Dowon Lee
- EP-80 Habitat destruction in model ecosystems : effects of fragmentation and/or habitat reduction *Nariyuki Nakagiri, Kei-ichi Tainaka, Jin Yoshimura
- EP-81 Bryophyte species distribution pattern at fragmented forest in Kyoto City *Yoshitaka Ooishi, Yukihiro Morimoto
- EP-82 Distribution of *Aster Kantoensis* Kitamura and the change of channel in the Tama River *Hisako Okada, Kazuya Ashizawa, Noboru Kuramoto
- EP-83 Cancel
- EP-84 Cancel
- EP-85 Problems in countermeasures against invasive alien raccoons in Hokkaido, Japan *Tohru Ikeda
- EP-86 Biodiversity of the benthic communities in Matsukawaura Lagoon as a source of meta-community along Sendai Bay, North-eastern Japan *Takao Suzuki
- EP-87 Biological invasion decrease the evolutionary history; the case of introduction of exotic insect species in Japan *Koichi Goka, Hiroshi Kojima, Kimiko Okabe, Masahiro Yoneda
- EP-88 Effects of farming on species composition on the typical steppe in Inner Mongolia, China *Kiyokazu Kawada, Toru Nakamura
- EP-89 Floristic similarity between Mongolian Steppe and Japan *Kazuo Obata, Kiyokazu Kawada, Yunxiang Cheng, Toru Nakamura
- EP-90# Allometric relationships for environmental protection forests in Japan *Daisaku Miyauchi, Kazue Fujiwara, Tomoaki Yoshino
- EP-91# Latitudinal change in structure of mangrove forests along the Ryukyu Archipelago *Rempei Suwa, Tsutomu Enoki, Akio Hagihara
- EP-92 Cancel
- EP-93# Yearly changes in phytomass and crown shape of *Kandelia candel* stands from the riverside landward in Manko Wetland, Okinawa Island *Analuddin Kangkuso, Rempei Suwa, Akio Hagihara
- EP-94# Trophic position of brown bears in Eastern and South-Western Hokkaido, Japan *Ryo Narita, Tsutomu Mano, Reo Yokoyama, Atsushi Takayanagi
- EP-95# Stand structure and woody species diversity in relation to the stand stratification in a subtropical evergreen broadleaf forest, Okinawa Island *S M Feroz, A Hagihara
- EP-96# Seasons in rural landscapes based on phenology of plants in the local flora *Ryoko Tanaka, Fumito Koike
- EP-97 Habitat use and activity range of the test-released oriental white storks *Kazuaki Naito, Yoshito Ohsako, Hiroshi Ikeda
- EP-98# Juvenile distribution of woody plants in traditional rural landscape in Japan *Yoshiko Kobayashi, Fumito Koike
- EP-99 Soil seed bank composition in active flood plain: patterns and possible mechanisms *Kouji Itoh, Yukio Honda, Kazuhiro Katoh, Yuuko Nakamura, Toshimori Takahashi
- EP-100# Fire and human impacts on vegetation changes during the last 10,000 years in Kyoto, Japan *Naoko Sasaki, Hikaru Takahara
- EP-101 Holocene dynamics of spruce-broad leaved stands on Dorokawa bog, Uryu experimental forest of Hokkaido university, Japan, based on pollen record *Toshie Nomura, Tatsuihiro Kawano, Hikaru Takahara, Hiroyuki Kitagawa, Hideaki Shibata, Shigeru Uemura, Naoko Sasaki, Takahito Yoshioka
- EP-102 Analysis of factors causing successful breeding of Red-crowned crane (*Grus japonensis*) in farmlands, in eastern Hokkaido, Japan *Mami Ohishi, Tsuneo Sekijima, Hiroyuki Masatomi
- EP-103 Cancel
- EP-104# Primary recovery mechanisms of coastal sand-dune vegetation in Phuket Island, southern Thailand to recent heavy tsunami from the Indian Ocean *Daisuke Hayasaka, Kazue Fujiwara
- EP-105# Structure and dynamics of riparian forest of the Mid-Arakawa River *Hitoshi Sakio, Takako Shiraiishi, Motohiro Kawanishi, Makoto Kobayashi, Chuh Yonebayashi, Sadamoto Watanabe, Shintaro Goto
- EP-106 Species composition and life-form of herbaceous vegetation in riparian area of the Mid-Arakawa River *Motohiro Kawanishi, Hitoshi Sakio, Takako Shiraiishi, Chuh Yonebayashi, Shintaro Goto
- EP-107# Using of hyperspectrum imagery for

Poster Presentation March 26, 10:30–16:00

(#: Entried presentation for Poster Prize)

- riparian foerest management of the mid-Arakawa river *Takako Shiaraiishi, Shintaro Goto, Hitoshi Sakio, Sadamoto Watanabe, Motohiro Kawanishi, Chuh Yonebayashi
- EP-108 Soil CO₂ concentration profiles in some ecosystems in Japan *S Yonemura, M Yokozawa, Y Shirato, S Sekikawa, S Mariko, I Nouchi
- EP-109 Lignin effects on carbon isotope dynamics during leaf litter decomposition in a cool temperate forest *Takashi Osono, Hiroshi Takeda, Jun-ichi Azuma
- EP-110 Soil ecological risk assessment of heavy metal pollution by using Terrestrial Model Ecosystems *Takafumi Kamitnai, Hirosuke Oba, Nobuhiro Kaneko
- EP-111# The effect of selective logging on soil green house gas fluxes in tropical forest *Yuichiro Yashiro, Wan Rashidah Kadir, Toshinori Okuda, Hiroshi Koizumi
- EP-112# Temperature plays a major role in controlling ecosytem CO₂ exchange in an alpine meadow on the Qinghai-Tibetan Plateau *Tomomichi Kato, Yanhong Tang, Song Gu, Mitsuru Hirota, Mingyuan Du, Yingnian Li, Xingquan Zhao
- EP-113# Temporal and spatial variability of CO₂ efflux from soil and snow surfaces in a Japanese cedar forest, Central Japan *Mi-Sun Lee, Hiroshi Koizumi
- EP-114# Evaluation of climatic and soil properties to nitrogen mineralization in the forest soils of Japan *Keizo Hirai, Shinji Kaneko, Masamichi Takahashi
- EP-115 Model estimation of CH₄ oxidation and N₂O emission in a cool-temperate deciduous broad-leaved forest soil in Japan *M Inatomi, A Ito, S Toda, H Kaneko, H Koizumi
- EP-116 Estimation of a foliage profile in a deciduous forest using a low-cost, portable laser system: an estimation error owing to the method and calculation *A Sumida, T Nakai
- EP-117# Does larch uptake atmospheric nitrogen oxide from leaves in East Siberian taiga?: Suggestions from nitrate isotope signatures in tissue waters *Nobuhito Ohte, Lina Koyama, Atsuko Sugimoto, Ken'ich Osaka, Trofim C Maximov
- EP-118# Soil N dynamics in an urban forest ecosystem in Tanzawa Mountains -Does topography matter? *Reiji Fujimaki, Akiko Sakai, Mizuki Tomita, Akiyuki Kawasaki, Nobuhiro Kaneko
- EP-119# Evolution of water chemistry in Mizoro-ga-ike, a pond with a floating-mat bog *Tetsuya Shimamura, Masayuki Ito, Nobuhito Ote, Yasuhiro Takemon
- EP-120# Holocene dynamics of peatland vegetation on Dorokawa bog, Uryu experimental forest of Hokkaido University, Japan, based on phytolith record *Tatsuchiro Kawano, Toshie Nomura, Hikaru Takahara, Hiroyuki Kitagawa, Hideaki Shibata, Shigeru Uemura, Naoko Sasaki, Takahito Yoshioka
- EP-121 Effects of sampling frequency on the soil respiration in the cool-temperate forest, Korea *S D Kim, W Kim, N Liang, G Inoue
- EP-122# Hydrobiogeochemistry and its influences on methane dynamics in temperate forested wetlands *Masayuki Itoh, Nobuhito Ohte, Keisuke Koba, Atsuko Sugimoto, Masanori Katsuyama, Kana Hayamizu, Makoto Tani
- EP-123# Microbial biomass C:N:P ratio in forest soil *Kazuya Nishina, Chisato Takenaka, Nobuhiro Kaneko
- EP-124# Examining CO₂ partitioning for an alpine meadow on the Qinghai-Tibetan Plateau Part I: Can we estimate daytime ecosystem respiration from nighttime ecosystem respiration? *Mitsuru Hirota, Pencheng Zhang, Takeo Kuriyama, Song Gu, Yanhong Tang
- EP-125# Prediction of net ecosystem productivity in several forest ecosystems *Toru Sakai, Yoshifumi Yasuoka
- EP-126# Daily variability of light-use efficiency (LUE) and it implication to LUE-based GPP model in an Alpine meadow on the Qinghai-Tibetan plateau *Jin Chen, Yanhong Tang
- EP-127 Cancel
- EP-128 Effects of forest clear-cutting on CO₂, CH₄ and N₂O fluxes on a temperate forest soil *Y Kagotani, T Hashimoto, Y Kaneko, E Hamabata, T Nakajima
- EP-129 Estimation of carborn budget in a cool-temperated deciduous forest at DFMS, Korea *Park Jung-Hyuk, Kim Sung-Deog
- EP-130 Estimation of carborn budget in a cool-temperated deciduous forest at DFMS, Korea *Young-Min Kim, Sung-deog Kim
- EP-131 Effects of climate change on the species composition and vegetation productivity in arid areas -Species composition and distributional patterns of predominant tree species in the Eastern Mediterranean Region of Turkey - *Junji Sano, Shigenobu Tamai, Makoto Ando, Keisuke Kato

Plant Ecology

- EP-132# Phenological changes in respiration of spring plant *Primula sieboldii* *Hibiki Noda, Hiroyuki Muraoka, Izumi Washitani
- EP-133# Fungal succession and decay patterns of coarse woody debris of japanese beech *Yu Fukasawa, Takashi Osono, Hiroshi Takeda
- EP-134# Current-year shoots and branches structural variations within crown of *Abies mariesii* in a snowy sub-alpine thicket *Eri Mizumachi, Akira Mori
- EP-135# Structural characteriastics of *Abies mariesii* saplings, growing in a snowy subalpine parkland in central Japan *Akira Mori, Shigeaki Hasegawa
- EP-136 Fundamental research on in-situ conservation of endangered tree species *A Kanazashi, T Nagamitsu, T Kawahara, K ishida, N Tomaru, W Suzuki, S Kikuchi, T Kanazashi, S Kanetani, K Osumi, K Inoue, T Sato, T Katsuki, H Yoshimaru, H Sugita
- EP-137# Response of PSII activity and xanthophyll cycle of *Picea glehnii* during cold-acclimation, chilling, freezing and recovery *Jeong-jin Bae, Kiyomi Ono, Akihiro Sumida, Toshihiko Hara
- EP-138 Growth responses of an invasive plant,

Poster Presentation March 26, 10:30–16:00

(#: Entried presentation for Poster Prize)

- Ambrosia trifida*, to some natural and controlled nitrogen conditions in Japan *Ishikawa, Shin-ichi, Nakajima, Jun, Kayashima, Kazuma
- EP-139# Leaf characteristics in two *Quercus mongolica* populations growing in oppositely facing habitat *Bum-Jin Park, Yong-Mok Park
- EP-140 Stomatal response and water storage *N Miki, K Sakamoto, K Yoshikawa
- EP-141# Distribution and structure of *Puya raimondii* community in Andes of Peru *Takehiro Masuzawa, Nobumitsu Kawakubo, Miki Tomita, Giovana Vadillo Galvez, Mery Luz Suni
- EP-142 Upper-crown expansion of *Abies mariesii* canopy trees in a lower subalpine forest in northern Honshu Island, Japan *Takeshi Seki
- EP-143# Growth habitat and ecophysiological characteristics of facultative rheophyte, *Farfugium japonicum* var. *luchuense* *Naofumi Nomura, Hiroaki Setoguchi, Tokushirou Takaso, Keiko Yasuda
- EP-144 Vertical variations and seasonal courses in stem respiration of *Chamaecyparis obtusa* trees *Masatake Araki, Hajime Utsugi, Qingmin Han, Tatsuro Kawasaki, Yukihiko Chiba
- EP-145# Pre-dispersal fruit demography of *Styrax japonica* in central japan *Honami Nagase, Hiroshi Fukumoto, Hisashi Kajimura
- EP-146 Genetic structure and gene flow in the differently isolated populations of a heterostylous perennial herb, *Primula jesoana* var. *pubscens* *Masato Ohtani, Saneyoshi Ueno, Yoshihiko Tsumura, Izumi Washitani
- EP-147# The evolution of population differentiation in *Viola eizanensis* and *V. chaerophylloides* f. *sieboldiana* *Hironori Tohyama, Tetsukazu Yahara
- EP-148# Effects of clipping on reproductive allocation in early and late maturing red clover *Y Aoyagi, T Hirata, T Yamada
- EP-149 Reproductive biology of two mire plants in their southernmost area of distribution *Kiyoshi Matsu, Mutsumi Okumura
- EP-150# Phylogeography of *Primula sieboldii*: Genetic relationship between Korean, Japanese populations *Masanori Honjo, Jeong-Ho Lee, Ryo Ohsawa, Saneyoshi Ueno, Yoshihiko Tsumura, Izumi Washitani
- EP-151# Biogeography of *Ophiorrhiza japonica* (Rubiaceae) in East Asia Islands, from molecular phylogenetic and ecophysiological view points *Koh Nakamura, Rempei Suwa, Tetsuo Denda, Masatsugu Yokota
- EP-152 The effects of insect damage and soil fertility on the quality and quantity of current year shoot in *Quercus serrata* and *Q. crispula* saplings *Reiko Akiyama, Naoya Osawa, Eri Mizumachi, Naoko Tokuchi
- EP-153 Deciduous oak dieback: what causes differences in susceptibility among tree species? *Michimasa Yamasaki
- EP-154 Why Siebold's Beech (*Fagus crenata*) is strong against snow pressure? *Kosuke Homma, Narumi Yasutomi
- EP-155# Genetic structure of seed bank and above-ground population of *Primula sieboldii* *A Shimono, S ueno, M Ajima Nishihira, Y Tsumura, I Washitani
- EP-156 Distribution of *Primula nutans* in relation to microtopography in an alpine wetland *Haihua Shen, Yanhong Tang, Izumi Washitani
- EP-157 Post-dispersal fate of *Quercus serrata* acorns in abandoned cut-over land *Kazuaki Takahashi, Izumi Washitani
- EP-158 Spatial distribution pattern at different tree life stages in a warm temperate forest *R Tsujino, T Yumoto
- EP-159 Photosynthetic performance in five needles' pine (*Pinus koraiensis*) seedlings as affected by the combination of light and nitrogen *Makoto Kobayashi, Donghun Ji, Kaichiro Sasa, Fuyuki Satoh, Toshiya Yoshida, Takayshi Koike
- EP-160 Distribution of *Senecio madagascariensis* in Awaji Island, western Japan *Michiro Fujihara, Yuko Uehara, Yutaka Iwasaki

JES53 参加登録者一覧

発表	懇	名	前	所 属	発表	懇	名	前	所 属
JP3-107		相川	真一	茨城大・理	JP3-298		五十嵐	聖貴	北海道・環境研
JF3-3		相澤	章仁	千葉大・自然科学			五十嵐	八枝子	北方圏古環境研究室
J11-1		饗庭	正寛	京大・生態学研究センター			井川	拓也	北大・水産
JP1-297		相原	由美	愛媛大・農	JP1-256		池田	重人	森林総合研究所
JP3-139		青木	優和	筑波大・下田臨海	JP3-231		池田	透	北大・院
		青柳	由希子	北大・北方生物圏 FSC			池田	紘士	東大・院・農学生命
JP1-74		青山	圭一	北大・環境	JP3-176		池田	幸義	富山大・理
		赤石	大輔	金沢大・院・生態	JP1-279		池田	浩明	農業環境技術研究所
JP1-139		赤阪	俊介	北大・水産	JP3-22		池田	史枝	横浜国立大
JP1-93		赤坂	宗光	北大・院・地球環境	JP3-210		井坂	友一	信州大・理
JB1-10		明石	信廣	北海道林試			井鷲	裕司	広大・総合科学
JB1-7		赤松	良久	東京工業大・院			石井	潤	東大・農学生命
JP3-182		赤嶺	真由美	滋賀県立大	JP3-28		石井	弘明	神戸大・自然科学
JP3-125		秋山	耕治	京大・院・農	JG3-9		石井	浩之	新潟大・農
JP3-274		秋山	克	幌延地圏環境研究所	JX4-3		石井	弓美子	東大・広域システム
JC1-7		秋山	吉寛	北大・地球環境	JG3-13		石井	励一郎	地球環境フロンティア
		秋山	玲子	京大・院・農			石川	笑子	岡山理科大
JP1-66		揚妻	直樹	北大・FSCNB			石川	真一	群馬大・社会情報
		浅木	宏覚	信州大・理	JX3-2		石川	俊之	北大・院・地球環境
		浅見	崇比呂	信州大・理	JP3-66				
		足立	直樹	(株)CSR 経営研究所	JP1-195		石川	真知子	筑波大・院・環境科学
JP1-172		安立	美奈子	農業環境技術研究所	JP1-96		石川	幸男	専修大・北海道短大・園芸 緑地
JF3-13		阿部	進	鳥取大・連合農学	JP3-252		石川	麻乃	北大・地球環境
JP1-284		阿部	聖哉	電力中央研究所	JP3-148		石川	由希	北大・環境科学
JP1-222		阿部	友紀	東大・広域システム	JP3-91		石崎	智美	北大・院・環境科学
		阿部	晴恵	東邦大・理	JB1-8		石田	健	東大
JX8-3		安部	倉 完	京大・理	JP3-11		石田	真也	新潟大・農
JP3-135		阿部	豪	北大・院・文			石田	惣	福井市自然史博物館
JG1-9		天野	達也	東大・農	JP1-323		石田	裕子	京大・院・工
JP3-280		天野	百々江	神戸大・自然科学			石田	厚	森林総合研究所
JX10-2		天野	正博	早稲田大・人間科学			石庭	寛子	新潟大・院
JP1-190		新井	宏受	京大・院・農	JK1 JX8		石濱	史子	国立環境研究所
JP1-136		新垣	誠司	九大・理	J11-10		石原	正恵	京大・農
JP3-95		荒木	希和子	北大・院・環境科学			石原	通雄	兵庫医科大・生物
JP1-28		荒木	悟	島根大・汽水域研究セ	JK1		石原	道博	大阪府大・院・理
		荒木	眞岳	森林総研・九州	JX13-4				
JG3-10		荒木	祐二	横国大・院・環境情報	J13-2		石間	妙子	新潟大・農
		荒木	陽一	野菜茶業研究所	JC1-9		井関	高平	大阪府大・院・理
		荒城	雅昭	農業環境技術研究所	JX4-1		井磧	直行	九大・理
JP1-258		安久	裕介	名工大・院			磯谷	達宏	国土館大・文
JP3-20		安東	まゆ美	北教大・院	JP1-101		磯崎	由行	広大・院・国際協力
JP3-242		安東	義乃	京大・生態研センター	JP1-29		井田	崇	北大・院・環境科学
		李	美善	岐阜大・流域圏センター			位田	真弓	岡山理科大
JP3-77		飯尾	淳弘	静岡大・農	JP1-36		板垣	智之	東北大・院・生命科学
JP3-79		飯島	勇人	北大・院・農	JP1-100		井田	秀行	信州大・教育
JP3-71		飯島	慈裕	地球環境観測研究センター	JC3-6		市栄	智明	高知大・農
		飯田	聡子	神大・遺伝子実験センター	JP3-303		一倉	新之助	新潟大・院
JC3-5		飯田	滋生	森林総研・北海道	JP3-101		市橋	隆自	東大・院・理
		井貝	紀幸	名大・院・生命農			井出	純哉	京大・院・農
JH3-10		五十嵐	章裕	東京薬科大・生命科学	JP3-168		井手	徹	佐賀大・農
JP1-304		五十嵐	秀一	琉球大・農	JX6-4		伊東	明	大阪市立大

JES53 参加登録者一覧

発表	懇	名	前	所 属	発表	懇	名	前	所 属
JG3-4		伊藤	江利子	森林総合研究所	JP1-157		上野	裕介	北大・院・水産
JC1-11		伊藤	桂	北大・院・農	JP1-92		上野	健	国立極地研究所
		伊藤	浩二	東大・院・農	JP1-242		上原	隆司	九大・理
JP3-111		伊藤	哲	宮崎大・農	JP1-305		植松	拓理	明大・農
JP1-272		伊藤	健彦	鳥取大・乾燥地研究センタ			上村	章	森林総研・北海道
		井藤	宏香	鹿児島大・院	JP1-39		植村	滋	北大・フィールド科学
JP3-195		伊藤	洋	東大・広域システム	JP3-311		上山	剛司	山形大・院・農
JP1-116		伊藤	元裕	北大・水産	JX5-3		宇梶	徳史	北大・低温研
JP1-69		伊東	宏樹	森林総研・関西	JF3-5		潮	雅之	京大・生態学研究センター
JP1-185		稲垣	善之	森林総研・四国	JP1-153		牛島	釈広	(株)ラーゴ
		稲富	素子	海洋研究開発機構	JC3-1		丑丸	敦史	神戸大・発達
JP3-238		犬塚	直寛	京大	JP3-223		内井	喜美子	生態学研究センター
		井上	武亮	岩手県立大・院	JP1-210		内田	雅己	国立極地研究所
JP3-218		井上	真紀	東大・農・保全生態	JP1-20		内野	祐佳	東北大・院・生命
JP3-181		井上	牧子	神戸女学院大・人間科学	JP3-142		宇津野	宏樹	信州大・理
JX2-4		井上	みずき	京大・院・農			宇都宮	大輔	金沢大・院・生態
JP1-141		今井	健介	京大・院・農	JP3-213		内海	俊介	京大・生態学研究センター
JP3-249		今井	眞木	北大・院・地球環境	JP3-185		宇野	裕之	道環境科学研究センター
JP3-105		今治	安弥	東北大・農	JE1-9		生方	正俊	林木育種センター
JP3-39		今田	省吾	鳥取大・乾燥地研究セ	J11-9		梅木	清	千葉大・院・自然
		今西	亜友美	京大・院・農	JC3-13		浦川	裕香	香川大・農
		今西	純一	京大・地球環境	JP3-81		浦田	悦子	横浜国立大
JP3-3		伊村	智	国立極地研究所	JP1-216		浦野	忠朗	筑波大・院・生命環境
JX13-1		入江	貴博	九大・理	JP3-240		浦部	美佐子	滋賀県立大・環境
		岩井	紀子	東大・農学生命	JP1-111		占部	城太郎	東北大・生命科学
JP1-17		岩泉	正和	林木育種センター本所	JF3-8		江口	和洋	九大・院・理
JH1-3		巖	圭介	桃山学院大	J11-6		江口	則和	北大・環境
JP3-159		岩倉	美沙子	北大・環境科学	JP1-246		江副	日出夫	大阪府大・理
JP1-259		岩崎	絢子	神戸大・自然科学	JC1-3		江田	真毅	日本学術振興会
		岩崎	敬二	奈良大・教養	JP1-315		越前	未帆	東大・院・農生圏
JP1-238		岩崎	貴也	京大・院・理			榎木	勉	琉球大・農
JP3-179		岩崎	亘典	(独)農業環境技術研究所			戎谷	舞子	横浜国立大・環境情報
JP1-19		岩崎(葉田野)	郁	北大・低温研	JP1-162		恵良	拓哉	千葉大・理
JP1-140		岩崎	藍子	北大・水産			遠藤	彰	立命館・理工
JH3-12		巖佐	庸	九大・院・理	JP3-58		遠藤	郁子	北大・院・農
JH3-1		岩田	繁英	静岡大・理工	JP1-235		遠藤	真太郎	信州大・理
JX3		岩田	智也	山梨大・工	JP1-161		遠藤	知二	神戸女学院大・人間科学
JP1-58		岩田	直人	農工大・植生	JP3-253		遠藤	千尋	京大・理
JP1-247		岩田	洋佳	中央農業総合研究センター	JX10		及川	武久	筑波大・生物
JX9-1		岩田	明久	京大・院・A・A 研	JP3-156		及川	真里亜	東京農工大・自然環境保全
JP3-31		岩永	史子	鳥取大・院	JX3		及川	真平	東北大・院・生命
JP1-166		岩瀨	翼	東北大・生命科学	JP3-1		王	林	横浜国立大
		岩瀨	祐子	東京農工大・連合農学	JP3-267		大饗	嘉子	滋賀県立大・院
		岩松	佳代	千葉大・院・自然科学	JB1-4		大石	麻美	新潟大・自然科学
JH1-7		岩見	育	北大・院・水産			大川	徹	神戸女学院大
		上田	恵介	立教大・理	JP1-45		大河原	恭祐	金沢大・自然科学
JP1-236		上田	昇平	信大・院・総工			大串	隆之	京大・生態学研究センター
JP3-64		上田	実希	京大・院・農			大窪	久美子	信州大・農
JP1-194		上田	泰子	奈良教育大	JP1-78		大久保	達弘	宇都宮大・農
		上野	真由美	北大・農	JP1-107		大黒	俊哉	農業環境技術研究所
							大崎	正治	國學院大・経済

JES53 参加登録者一覧

発表	懇名前	所属	発表	懇名前	所属
	大沢 晃	龍谷大・国際文化	JP3-83	奥田 将己	総研大・統計
JP3-278	大澤 隆文	東大・院・農学生命	JP1-81	奥田 賢	京都府大・院・農
	大澤 正嗣	山梨県森林総合研究所	JB1-3	奥田 昇	京大・生態研センター
JP3-26	大島 和裕	北大・院・地球環境	JP3-59	小口 理一	東北大・生命科学
JP3-57	大曾根 陽子	森林総合研究所	JP3-165	奥野 正樹	京大・院・農
JP1-171	大園 享司	京大・院・農	JP3-247	奥村 みほ子	筑波大・環境科学
JP1-310	太田 碧海	横国大・院・環境情報	JP1-110	小椋 純一	京都精華大・人文
JP1-7	太田 彩子	東北大・院・生命科学	JP1-33	小黑 芳生	東北大・院・生命
JP3-17	太田 謙	岡山理大・院・生物	JP1-291	長 雄一	道環研
	太田 尚子	徳島大・工	JP1-217	尾崎 研一	森林総合研究所
	太田 宏	東北大・生命科学	JP3-29	長田 典之	東北大・院・生命科学
	太田 陽子		JP1-268	尾関 雅章	長野県環境保全研究所
	大竹 邦暁	中電技術コンサルタント	JP1-287	小野 勝義	広大・生物圏
JC1-2	大館 智志	北大・低温研	JP3-36	小野 清美	北大・低温研
JP3-261	大田 直友	阿南高専・建設システム工	JB3-6	小野 賢二	森林総合研究所
JP3-116	大谷 達也	森林総研・九州	JP1-285	小野田 幸生	京大・生態学研究センター
	大谷 雅人	東大・院・農	JP3-52	小野田 雄介	ユトレヒト大
JP3-115	大塚 孝一	長野県環境保全研究所	JP1-298	小幡 和男	茨城県自然博物館
JP1-204	大塚 俊之	茨城大・理		恩地 実	甲南高校
JP3-171	大塚 康德	筑波大・生命共存	JP3-161	恩地 利実	京大・院・農
	大塚 公雄	東京医科歯科大	JP3-257	加賀田 秀樹	京大・生態学研究センター
JP3-295	大塚 広夫	東京農大・院・農	JP1-131	笠原 里恵	東大・農
JP3-203	大槻 朝	東北大・院・生命科学	JP1-114	風間 健太郎	北大・水産
JB1-6	大槻 真紀	横浜国大・院・環境情報		梶 光一	道環境科学研究センター
	大手 信人	京大	JP1-243	粕谷 英一	九大・理
JP1-46	大西 義浩	佐賀大・農	JP1-307	粕谷 絵美子	明治大・農
	大西 智佳	岡山大		賀勢 朗子	北大・苫小牧
	大野 愛子	大阪女子大	J13-5	片岡 博行	津黒いきものふれあいの里
JC3-12	大野 啓一	千葉県立中央博物館	JP3-133	嘉田 修平	京大・院・農
J11-14	大場 悠介	東京農業大	JE3-9	片野 泉	自然共生研究センター
JC3-2	大橋 一晴	筑波大・生命環境		片畑 伸一郎	岐阜大・応用生物
JC1-8	大橋 瑞江	フィンランド森林研究所		片村 文崇	北大・低温研
JP1-6	大原 雅	北大・院・環境科学	JP3-74	片山 昇	京大・生態学研究センター
JP1-302	大光明 宏武	酪農学園大	JX7	可知 直毅	首都大・生命科学
JP3-299	大村 大輔	東大・院・広域システム	JP1-132	勝野 陽子	九大・院・比文
JP3-313	大森 浩二	愛媛大・沿岸センター	JG3-12	勝又 暢之	千葉大・自然科学
	大脇 淳	金沢大・院	JP3-44	加藤 京子	JST/CREST
JG1-11	岡 奈理子	山階鳥類研究所	JP1-134	加藤 聡史	東北大・院・生命科学
JC3-8	岡崎 純子	大阪教育大	JP1-290	加藤 珠理	岐阜大・連合農学
JC3-10	緒方 淳二	横浜国大・院・環境情報	JP3-63	加藤 正吾	岐阜大・応用生物
	岡田 直紀	京大・農	JP1-11	加藤 真也	東北大・院・生命科学
JP3-150	岡田 泰和	北大・院・地球環境	JP3-228	加藤 団	横浜国立大
JP1-59	岡本 朋子	京大・院・人環	JX10-5	加藤 知道	地球環境フロンティア
JE1-7	小川 一治	名大・院・生命農学		加藤 直子	東大・農
JP1-192	小川 遼	京大・院・農	JE3-7	加藤 元海	愛媛大
	小川 みふゆ	森林総合研究所		加藤 芳枝	北大・環境
	荻津 英也	茨城大・理		加藤 義和	京大・院・理
JX12-4	奥 圭子	京大・院・農	JP1-250	加藤 直人	横浜国大・院・環境情報
JP3-147	奥田 武弘	北大・環境科学		角谷 拓	東大・農学生命
	奥田 夏樹	名桜大・総合研究所	JE3-1	門脇 正史	筑波大・院・生命環境
				門脇 浩明	京大・農

JES53 参加登録者一覧

発表	懇名前	所属	発表	懇名前	所属
	金谷 弦	東北大・東北アジア研究セ	JP3-4	河野 円樹	東大・院
JP1-311	兼子 伸吾	広大・院・国際協力		川端 善一郎	総合地球環境学研究所
	金子 信博	横浜国大・環境情報	JP1-187	菅 尚子	岐阜大・流域圏センター
	金子 洋平	新大・院・自然科学	JP3-118	神田 房行	北教大・釧路
JP3-279	兼森 雄一	長崎大・生産科学		菊沢 喜八郎	石川県立大
JP1-312	金行 悦子	広大・院	JP3-129	菊田 尚吾	北教大・函館
JP3-122	鹿野 雄一	三重大・生物資源	JX1-4	菊池 亜希良	広大・院・国際協力
JP3-54	壁谷 大介	森林総研・木曾	JP1-51	菊地 賢	森林総合研究所
JP3-277	鎌内 宏光	創価大・工	JP1-156	菊池 知子	金沢大・院・生態
JP3-256	釜我 美菜子	近畿大・農	JP3-202	岸 茂樹	京大・院・農
J11-5	鎌倉 真依	奈良女大・院・人間文化	JX13-3	岸田 治	北大・院・水産
JP3-123	鎌田 直人	金沢大・自然科学	JP1-159		
	鎌田 磨人	徳島大・工		岸田 宗範	東大・海洋研
	上條 隆志	筑波大・生命環境		岸部 裕紀	鳥取大・農
	神谷 貴文	横浜国大・環境情報	JP1-188	喜多 智	東農工大・院・農
	紙谷 智彦	新潟大・農	JF3-9	北出 理	茨城大・理
	上村 了美	瀬戸内海区水産研究所	JP3-286	北西 滋	北大・院・地球環境
	上村 佳孝	北大・農	JP3-297	北野 聡	長野県環境保全研究所
	神谷 要	中海水鳥国際交流基金	JP1-229	北原 正彦	山梨県環境科学研究所
JP3-75	神山 千穂	東北大・院・生命科学	JP1-270	北村 孔志	静岡大・工
JP1-152	神山 壘	北大・低温研	JP1-124	北村 淳一	京大・院・理
	亀田 佳代子	滋賀県立琵琶湖博物館	JP1-38	北村 俊平	マヒドン大
	亀山 剛	復建調査設計株式会社	J13-9	北本 尚子	筑波大・生命環境
JX2-5				北山 兼弘	京大・生態学研究センター
JP1-15	亀山 慶晃	北大・地球環境		木寺 法子	琉球大・理工
J13-4	亀山 哲	国立環境研究所	JP1-112	衣浦 晴生	森林総研・関西
JP1-43	鴨井 環	愛媛大・農	JP3-42	衣笠 利彦	鳥取大・乾燥地研究センタ
JP3-33	香山 雅純	森林総研・北海道			
JP1-135	唐沢 重考	名大・院・生命農学	JP1-61	木村 一也	金沢大・自然計測セ
JP1-282	荻部 甚一	京大・生態研センター	JP3-73	木村 円	岐阜大・院・農
JP1-129	河合 溪	鹿児島大・多島圏研セ	JX2		
	河井 崇	九大・院・理	JP1-34	木村 恵	東北大・院・農
	河合 洋人	岐阜大・流研セ	JH1-6	木村 幹子	北大・院・水産
JP1-44	川合 由加	北大・環境科学	JP1-257	木村 勝彦	福島大・理工
JP1-208	川口 達也	横浜国大・環境情報	JP3-23	許 琴蘭	横浜国大・環境情報
JP3-70	川口 英之	島根大・生物資源	JP3-155	九鬼 なお子	信州大・院・農
	河口 洋一	九大・工	JP1-94	草加 伸吾	滋賀県立琵琶湖博物館
JG1-2	川口 利奈	筑波大・生命環境		草刈 秀紀	WWFジャパン
JP3-93	川越 哲博	神戸大・理	JP1-295	草嶋 乃美	北教大・札幌
JH3-11	川崎 廣吉	同志社・文化情報		楠本 華織	北大・農
JP3-78	川崎 達郎	森林総合研究所	JP3-51	楠本 聞太郎	琉球大・農
	川瀬 悟	北大・院	JP1-109	楠本 良延	農業環境技術研究所
JP3-201	川瀬 大樹	生態学研究センター	JP3-144	杳掛 展之	ケンブリッジ大・動物
JP3-233	川田 清和	農業環境技術研究所	JX3-4	工藤 岳	北大・地球環境
JH1-10	河田 雅圭	東北大・生命科学	JP3-32	工藤 栄	国立極地研究所
	川名 国男		JK1 JK2	工藤 慎一	鳴門教大・学校教育
	川那部 浩哉	琵琶湖博物館	JX13-5	工藤 洋	神戸大・理
	川西 基博	帝京大・高等学校	JP1-63	工藤 萌絵子	新潟大・農
JP3-304	川野 友之	広大・院・生物圏		國井 秀伸	島根大・汽水研セ
JP3-173	河野 かつら	九大・理	JF1-4	国武 陽子	国立環境研究所
	河野 樹一郎	京都府大・院	JP3-85	久保 拓弥	北大・地球環境
			JP1-117	久保 陽子	大阪女大・理

JES53 参加登録者一覧

発表	懇 名 前	所 属	発表	懇 名 前	所 属
JP1-223	久保田 涉誠	北大・院・環境科学	JP1-76	小山 明日香	北大・院・環境
JP1-86	窪山 恵美	横浜国大・院		小山 耕平	京大・院・農
JP3-204	熊谷 直喜	筑波大・下田臨海	JP3-61	小山 里奈	京大・情報
JP1-118	熊野 了州	沖縄県ミバエ対策事業所		近藤 高貴	大阪教育大
J11-13	久米 篤	富山大・理	JP3-152	近藤 太佳彦	上越教大・院
	倉田 健悟	島根大汽水域研究センター	JF1-6	今藤 夏子	国立環境研究所
JP1-309	倉本 宣	明治大・農		近藤 美由紀	岐阜大・流域圏センター
JP1-138	栗元 美代子	九大・天草臨海実験所	JP1-214	近藤 千真	京大・院・農
JP1-113	栗和田 隆	九大・理		紺野 康夫	帯広畜産大
	黒須 麻由	筑波大・生物資源	JP1-106	齋藤 大輔	広大・院・国際協力
JX8-2	黒田 啓行	遠洋水産研究所		齋藤 隆	北大・フィールド科学センタ
JP3-266	加(槻木) 玲美	佐賀大	JP3-227	齋藤 達也	信州大・院・農
J13-14	呉 盈瑩	東大・生物多様性	JX2-1	齋藤 智之	森林総研・木曾
JP1-48	小池 伸介	東京農工大・院・連合農学		齋藤 裕美	九大・臨海実験所
	小池 裕子	九大・院・比文	JP1-79	齋藤 芳郎	山形大・院・理工
	小池 文人	横浜国立大	JP1-169	齋藤 星耕	京大・院・農
JX1-3	小泉 博	岐阜大・流域圏センター		佐伯 緑	国土技術政策総合研究所
JP3-128	小泉 匡則	新潟大・院・教育	JC3-11	酒井 敦	森林総研・四国
JB3-10	高津 文人	科学技術振興機構	JH3-8	酒井 聡樹	東北大・院・生命科学
JP3-98	幸田 怜子	島根大・生物資源	JL	酒井 章子	京大・生態研センター
	河内 香織	北海道工業大		酒井 徹	東大・生産技術研究所
	甲山 隆司	北大・地球環境	JP3-65	阪口 翔太	京大・農
JK1				坂田 剛	北里大・一般
JH1-5	五箇 公一	国立環境研究所	JP3-134	坂田 はな	東大・広域システム
JC1-12	古賀 庸憲	和大大・教育	JB3-3	坂田(別宮) 有紀子	都留文科大
JX1-5	小串 重治	徳島大・院・工		阪本 真吾	筑波大・下田臨海
JP3-284	小久保 望	筑波大・生命環境	JP3-170	阪本 信介	都立大・院・理
JP3-169	小坂井 千夏	東京農工大		佐川 桜子	岡山大・院
	小汐 千春	鳴門教大・学校教育	JG3-6	崎尾 均	埼玉県農総研森林研究所
JX5-2	越川 滋行	北大・院・地球環境	JF3-2	向坂 幸雄	千葉大・海洋バイオ
	小島 覚	東京女大・文理		佐久間 智子	中外テクノス株式会社
JP1-4	小谷 二郎	石川県林業試験場	JP3-226	桜谷 保之	近畿大・農
	後藤 今日子	信大・理	JP3-296	佐々木 晶子	産総研・中国センター
	小沼 明弘	農業環境技術研究所	JH1-9	佐々木 顕	九大・理
JP3-208	小沼 順二	東北大・生命科学	JP1-98	佐々木 尚子	総合地球環境学研究所
JX3-1	木庭 啓介	東工大・総理工	JP1-65	笹木 義雄	京大・地球環境
JP1-261	小林 悟志	国立情報学研究所	JF3-4	佐々木 啓	宇都宮大・農
	小林 哲		JP1-102	佐々木 雄大	東京大
JP1-205	小林 草平	京大・防災研	JX5-4	雀部 正毅	京大・院・動物
JH1-12	小林 拓	東京薬科大・生命科学	JP3-7	指村 奈穂子	
JP3-67	小林 剛	香川大・農	JP3-215	佐竹 潔	国立環境研究所
JP3-82	小林 元	信州大・AFC	JX4-5	佐竹 暁子	プリンストン大
JP3-200	小林 春毅	北大・北方森林保全	JP3-289		
	小林 真	北大・院・環境	JP3-167	佐藤 あつみ	金沢大・院
	小林 誠	北大・院・植物生態	JH3-3	佐藤 一憲	静岡大・工
JP1-293	小林 まや	都立大・理		佐藤 重穂	森林総研・四国
	小林 慶子	横浜国大・院・環境情報	JP1-263	佐藤 拓哉	三重大・生物資源
JP1-183	小林 秀樹	JAMSTEC-FRCGC	JP1-80	佐藤 輝明	新潟大・農
JX6	小南 陽亮	静岡大・教育	JE1-1	佐藤 永	海洋研究開発機構
JP1-40			JP3-312	佐藤 大樹	北大・院・農
JP1-123	小宮 竹史	京大・院・理	JX11-6	佐藤 利幸	信州大・理

JES53 参加登録者一覧

発表	懇	名	前	所 属	発表	懇	名	前	所 属
JP3-243		佐藤	方博	生態工房	JG3-11		鈴木	覚	森林総合研究所
		佐藤	友香	福井市自然史博物館	JP1-254		鈴木	清樹	九大・理
JP3-197		佐野	明子	由宇町立ミクロ生物館	JP3-15		鈴木	重雄	広大・院・国際協力
		佐野	淳之	鳥取大・農・FSC	JX2-6		鈴木	準一郎	都立大・理
JP3-25		佐野	哲也	東大・院・新領域	JP3-103		鈴木	俊介	滋賀県大・院・環境
JP1-127		鮫島	由佳	東大・院・農	JP1-160		鈴木	伸一	国際生態学センター
JP3-268		更井	紀一	滋賀県大環境科学研究科	JP3-13		鈴木	孝男	東北大・生命科学
JE1-5		澤田	佳美	東京農大・院・林学	JP1-301		鈴木	透	EnVision
JP3-225		澤田	佳宏	岐阜大・流研センター	JP3-317		鈴木	牧	東大・農
		三田	瞬一	秋田県大・森林	JX3-3		鈴木	まほろ	岩手県立博物館
JC3-7		塩見	修平	大阪市立大・院・理	JP1-5		鈴木	由佳	東北大・院・生命科学
		鹿野	秀一	東北大・東北アジア	JP3-92		鈴木	亮	奈良女子大
		志知	幸治	森林総研・東北	JG3-14		鈴木	和次郎	森林総合研究所
JP3-183		柴尾	晴信	東大・院・広域システム	JP3-97		鈴木	新	阪大・理
JL-2		柴田	英昭	北大・北方生物圏セ			鈴木	信彦	佐賀大・農
JX6-1		柴田	銃江	森林総合研究所	J13-1		鈴木	創	小笠原自然文化研究所
JP1-150		渋谷	拓郎	西海区水研・石垣	JP1-255		鈴木	ゆかり	筑波大・共存生物
JE3-2		渋谷	園実	東大・院	JE3-6		須田	知樹	立正大・地球環境
		島田	和則	森林総合研究所	JP3-244		須島	充昭	神奈川県博
		島田	卓哉	森林総研・関西	JP3-180		角	恵理	東大・院
JP3-305		島田	博匡	三重県科技セ			隅田	明洋	北大・低温研
		嶋田	正和	東大・総合文化			角谷	夏子	大阪女子大
JG3-3		島田	基世	広大・院・国際協力			陶山	佳久	東北大・院・農
JX1-6		島谷	幸宏	九大・工			諏訪	鍊平	琉球大・院・理工
JE1-3		島谷	健一郎	統計数理研究所	J11-3		清野	達之	京大・生態研
		嶋村	鉄也	京大・防災研究所	JC3-3		清和	研二	東北大・院・農
JP1-294		清水	静也	茨城大・理工	JP1-16		関	剛	森林総研・東北
		清水	勇	京大・生態学研究センター			関	諒一	信州大・理
JP1-324		下川	真季	愛植物設計事務所			関川	清広	玉川大・農
JP3-245		下田	勝政	長崎大・水産	JK2-3		関島	恒夫	新潟大・自然科学
JP3-264		下野	嘉子	筑波大・生命環境	JB1-13		関山	絢子	東京農業大
		下野	綾子	国立環境研究所			世古	智一	近中四農研
JB1-1		小路	敦	九州沖縄農業研究センター	JX4-4		瀬戸山	雅人	東大・総合文化
JB1-14		白石	貴子	立正大・院・地球環境			瀬沼	賢一	小千谷市役所
JF3-6		白井	洋一	農業環境技術研究所			千田	雅章	大阪市立大・院
JP3-88		白崎	仁	新潟薬大・生物			曾田	貞滋	京大・理
JE1-8		城田	徹央	北大・低温研			曾出	信宏	岐阜大・流域圏センター
JC1-4		白鳥	和佳子	北大・院・地球環境	JP1-55		曾根	綾子	滋賀県立大・院
JP3-254		城本	啓子	近畿大・農	JP3-62		曾根	恒星	阪大・理
JP3-222		蘇	保ちい	生命環境科学生命共存	JP1-220		園田	陽一	明治大・農
JP1-286		須賀	丈	長野県環境保全研究所	JP1-105		田尾	友希	広大・院・国際協力
JP1-87		菅原	敬	鳥取大・農	JP3-236		高井	孝太郎	北大・地環研
JP1-24		菅原	未知登	愛媛大・院			高川	晋一	東大・院・農生
		菅原	亮太	弘前大・理工	JP1-264		高木	義栄	森林総研・北海道
		杉	緑	信州大	JF1-8		高倉	耕一	大阪市環科研・水
JP3-221		杉浦	真治	森林総合研究所	JP1-71		高嶋	敦史	九大・生物資源
JX13-2		杉阪	次郎	神戸大・理	JP3-45		高田	恵利	北大・農
JG3-8		杉田	久志	森林総研・東北	JH3-2		高田	壮則	北大・地球環境
		洲崎	燈子	豊田市矢作川研究所	JP1-97		高田	雅之	北海道環境科学研究センタ
JX11-1		鈴木	啓助	信州大・理	JP3-302		高田	まゆら	東大・院・農
JP3-86		鈴木	智之	首都大・理					

JES53 参加登録者一覧

発表	懇	名	前	所 属	発表	懇	名	前	所 属
JP1-276		高田	宜武	西海区水産研究所・石垣	JG3-7		田中	厚志	茨大・理
J13-13		高槻	成紀	東大・総合研究博物館			田中	信行	森林総研
JP1-193		高梨	聡	京大・農	JP3-308		田中	浩	森林総合研究所
JP1-60		高橋	明子	京大・院・農	JE3-5		田中	洋	京大・院・人環
JP3-246		高橋	晃周	国立極地研究所	JP3-283		田中	洋之	京大・霊長研
		高橋	一秋	東大・院・農学生命	JP3-194		田中	美希子	京大・霊長研
JP3-276		高橋	和成	岡山理大・総合情報	JP1-27		田中	良典	東大・院・農生
J11-11		高橋	耕一	信州大・理	JP1-176		田中	義幸	東大・海洋研
		高橋	智	奈良女大・人間文化			田中	涼子	横浜国大・環境情報
J11-4		高橋	さやか	京大・農			田中	嘉成	中央大・経済
JP3-318		高橋	俊守	東大・院	JP3-191		田辺	晶史	東北大・院・生命科学
JP1-317		高橋	裕史	北大・院・文	JP1-10		田辺	慎一	金沢大・自然計測セ
J13-7		高橋	誠	林木育種センター			谷	慎一	鳥取大・乾燥地研
JG1-13		高橋	雅雄	金沢大・院・生態	JP3-87		谷	友和	富山大・極東研
JP3-149		高橋	佑磨	筑波大・生物			谷垣	岳人	京大・院・動物生態
JE3-4		高橋	一男	北大・地球環境	JP1-180		谷村	尚之	茨城大・理・生態
JG1-6		高原	輝彦	京工繊大・院	JP3-55		種子田	春彦	東大・院・日光植物園
		高原	光	京都府大・農			田内	裕之	森林総合研究所
		高伏	剛	九大・院・理	JP1-144		玉田	克巳	道環境研
JP3-56		田上	公一郎	広大・院・生物圏	JP1-202		田村	裕	沖縄県ミバエ対策事業所
		高見	晋一	近畿大・農	JP3-34		田村	悠旭	鳥取大・乾燥地研
JP3-163		高見	泰興	京大・理	JB3-8		陀安	一郎	京大・生態研センター
JP3-290		高村	健二	国立環境研究所			唐	艶鴻	国立環境研究所
JB3-7		高村	典子	国立環境研究所	JP1-269		千々岩	哲	株式会社 ラーゴ
		高柳	万理	筑波大・環境科学	JB1-11		千葉	かおり	自然環境研究センター
JH3-4		瀧本	岳	北大	JK1-2		千葉	聡	東北大・生命科学
JC1-14		田口	勇輝	大阪府大・院・生命環境	JX7		千葉	幸弘	森林総合研究所
		武居	薫	長野県水産試験場・諏訪	JF1-11		張	鵬程	筑波大・院・生命環境
		竹内	睦	新潟県農業総合研究所	JP1-211		沈	海花	東大・農・生命科学
JP3-160		竹内	剛	京大・院・理			辻	宣行	国立環境研
JP3-143		竹内	亨	電力中央研究所	JP1-9		辻沢	央	東北大・院・生命科学
JP3-157		竹内	勇一	京大・院・理	JE3-12		辻野	昌広	千葉大・自然科学
JP1-32		竹内	やよい	京大・生態研センター	JP3-275		辻野	亮	京大・生態研センター
JP3-259		竹内	佑紀	北大・環境科学			辻村	東國	山形大・理
		竹垣	毅	長崎大・生産科学	JP1-42		辻村	希望	京大・生態学研究セ
JB1-9		竹下	毅	北大・文			津田	智	岐阜大・流研セ
		武田	義明	神戸大・発達	JP3-199		津田	真樹	東北大・院・生命科学
JX6-5		竹中	明夫	国立環境研	JF1-7		土田	浩治	岐阜大・応用生物
JP1-122		竹中	践	北海道東海大・工	JP3-175		土屋	真利子	富山大・理工
JP1-274		武野	真也	神戸大・自然科学	JP1-115		土屋	香織	首都大・院・理
JP1-267		竹原	明秀	岩手大・人文社会	JP1-201		堤	正純	北大・低温研
JP3-178		竹村	菜穂	滋賀県立大・院	JK2-4		椿	宜高	国立環境研究所
		竹門	康弘	京大・防災研	JP3-136		坪井	潤一	山梨県水産技術センター
JP1-233		武山	智博	京大・院・理			津山	幾太郎	筑波大・院
		田島	裕介	筑波大・生物	JH1-4		鶴井	香織	京大・院・農
JP3-43		田代	直明	九大・北海道演習林	JP1-64		鶴田	燃海	岐阜大・院・連農
JC1-5		立川	賢一	東大・海洋研究所			寺川	真理	広大・院・国際協力
JP3-217		立澤	史郎	北大・院・文	JP1-62		寺田	佐恵子	東大・院・農
JP3-310		辰田	秀幸	横浜国大・院・環境情報	JP1-89		寺原	幹生	東北大・院・農
JP1-14		館野	正樹	東大・院・理	JP1-275		寺本	悠子	筑波大・生物
JC1-1		田戸	裕之	山口県林業指導センター					

JES53 参加登録者一覧

発表	懇	名	前	所 属	発表	懇	名	前	所 属
JB3-11		土居	秀幸	愛媛大・農		中坪	孝之	広大・院・生物圏	
JF1-10		土井	裕介	京大・院・森林生態		中寺	由美	信州大・理	
JP3-230		問田	高宏	北大・院・地球環境		中西	正	愛知県成章高等学校	
JX4-2		東樹	宏和	九大・理	JP1-189	中根	周歩	広大・院・生物圏	
JP3-188		東條	達哉	近畿大・農		中野	隆志	山梨県環境科学研究所	
JP1-145		東條	一史	森林総合研究所		中野	千賀	アグリネーチャーいじま	
JF3-7		堂園	いくみ	東北大・院・生命科学	JC3-14	中野	真理子	金沢大・自然計測セ	
JP3-224		遠山	弘法	九大・生態	JG1-3	中原	美理	東大・農学生命	
JP1-149		富樫	博幸	東北大・院・生命科学	JX6-3	永松	大	鳥取大・地域	
JP3-130		富樫	朱美	新潟大・院・教育	JP3-216	中道	康文	筑波大・生命環境	
JP1-313		戸金	大	明治大・院・農		永光	輝義	森林総研	
JH1-11		時下	進一	東京薬科大・生命科学		中村	剛	琉球大・院・理工	
		時田	恵一郎	阪大サイバー	JP3-172	中村	智	筑波大・生命共存	
JP3-132		徳永	恵美	佐賀大・院・農	JP3-21	中村	隆俊	東京農大・生物産業	
		徳永	幸彦	筑波大・生命共存	JP1-125	中村	仁	山形大・院・農	
JF1-5		戸田	光彦	自然環境研究センター		中村	雅子	琉球大・理工	
		戸田	求	北大・低温研	JP1-213	中村	雅子	島根大・生物資源	
JP3-255		戸田	裕子	近畿大・農	JP1-146	中村	誠宏	自然環境研究センター	
JP3-186		土畑	重人	東大・院・総合文化	JP3-138	中村	雄祐	富山大・理工	
		土肥	由佳	大阪女大・理	JE1-13	中村	亮二	首都大・院・理	
		戸丸	信弘	名大・生命農学	JP3-47	中村	伊都	東北大・院・生命科学	
JP1-90		富田	啓介	名大・環境		中村	琢磨	京都府大・院・農	
JE1-12		富田	美紀	静岡大・理工	JX1-2	中村	太士	北大・農	
JP3-112		富田	瑞樹	横浜国大・院・環境情報		中村	友宇子	東大・農	
JP1-37		富田	基史	北大・農		中村	幸人	東京農業大	
JP3-99		富永	彩恵	鳥取大・院・教育		仲山	真希子	筑波大・生物資源	
JP3-113		富松	元	茨城大・理	JP1-21	那須	仁弥	林木育種センター・北海道	
JX2		富松	裕	首都大・院・理	JP1-271	名取	俊樹	国立環境研究所	
		富山	清升	鹿児島大・理	JE1-10	名波	哲	大阪市大・院・理	
JF1-14		内藤	馨	大阪府水生生物センター	J11-7	鍋嶋	絵里	北大・苫小牧	
		内藤	和明	兵庫県大・自然研		並川	寛司	北教大・札幌	
JP3-90		内藤	弥生	北大・院・環境科学	JB3-13	成田	瑞季	弘前大・院	
		中井	克樹	滋賀県立琵琶湖博物館		成田	亮	京大・院・農	
JP3-2		長池	卓男	山梨県森林総合研究所	JP1-8	成富	秀樹	小石原川ダム調査所	
JP3-126		長池	伸子	山梨県増穂町	JP1-12	鳴海	匡	北大・院・環境科学	
J13-8		仲岡	雅裕	千葉大・自然科学	JP3-104	南木	大祐	琉球大・農	
JP1-142		中川	弥智子	総合地球環境学研究所	JD1-1	難波	利幸	大阪府大・院・理	
		中桐	斉之	兵庫県大・環境人間	JP1-199	新部	一太郎	島大・生物資源	
JX1-1		中越	信和	広大・総合科学	JP1-262	新村	安雄	リバーリバイバル研究所	
JP1-241		仲澤	剛史	京大・生態研センター	JF1-9	新山	馨	森林総研・森林植生	
JL		中静	透	総合地球環境学研究所	JP3-96	二階堂	悠馬	鳥取大・農	
JP3-140		中下	留美子	東京農工大・院	JP3-146	西	信介	鳥取県林業試験場	
JP3-106		中島	弘起	京大・農	JP1-91	西尾	孝佳	宇都宮大	
JP3-72		長嶋	寿江	東大・理	JF1-12	西上	愛	森林総研	
JH1-8		中嶋	美冬	東大・海洋研	JP1-265	西川	潮	国立環境研究所	
		長瀬	ほなみ	名大・院・生命農	JP3-293	西沢	徹	国立環境研究所	
JP3-162		中田	兼介	東京経済大	JP3-287	西田	伸	九大・院・比文	
		永田	純子	森林総合研究所	JX12-3	西田	隆義	京大・農	
J11-8		中田	望	都立大・院・理	JX10-4	西田	顕郎	筑波大・農林工	
JP1-226		永田	尚志	国立環境研究所	JP3-30	西谷	里美	日本医大・生物	
						仁科	一哉	名大・院・生命農	

JES53 参加登録者一覧

発表	懇	名 前	所 属	発表	懇	名 前	所 属
JP1-77		西畑 敦子	鳥取大・院・農			花岡 創	岐阜大・院・農
JX9-3		西原 昇吾	東大・農・保全生態	JP3-12		花岡 若奈	信州大・院・農
		西廣 淳	東大・農学生命			花村 慎介	京大・生態学研究センター
JP3-76		西村 愛子	北大・院・地球環境	JP3-196		馬場 友希	東大・院・農
JX12-1				JP3-212		馬場 芳之	九大・比較社会
JX12-5		西村 欣也	北大			濱尾 章二	国立科博・自然教育園
JX12-5				JP1-54		濱田 知宏	滋賀県立大・院
		西村 尚之	名古屋産業大			早坂 大亮	横浜国大・院・環境情報
		西本 孝	岡山県自然保護センター			林 一彦	大阪学院大・経済
JP3-137		西森 大樹	佐賀大・農	JH1-2		林 珠乃	京大・生態研センター
JP1-197		西脇 愛	岐阜大・流域圏センター	JP3-18		林 寿則	国際生態学センター
JX2-2		西脇 亜也	宮崎大・農	JP3-141		林 秀剛	信州ツキノワグマ研究会
JX5-5		新田 梢	九大・院・理	JF3-10		林 良信	茨城大・理
JP1-182		丹羽 英介	富山大・理工			林田 光祐	山形大・農
JP1-209		丹羽 慈	横浜国大・院・環境情報	JP1-251		林 素行	京大・生態研
JP3-309		沼田 彩友美	弘前大			原 慶太郎	東京情報大・環境情報
JX11-2		野上 達也	白山自然保護センター	JP3-9		原 正利	千葉県立中央博物館
JP1-75		野口 麻穂子	北大・院・地球環境			原田 悦子	徳島大・工
		野田 響	東大・院・農学生命	JP3-145		原村 隆司	京大・院・動物行動
JP3-24		野田 浩	東京農工大・院・連農	JP1-121		原本 真二	富山大・理
JB3-14		野田 香織	弘前大・理工			原山 尚徳	森林総合研究所
		野田 隆史	北大・地球環境	JP1-234		潘 宇	信州大・院・生物
JB3-9		野原 精一	国立環境研究所	JP3-262		伴 修平	滋賀県立大
JP1-57		野間 直彦	滋賀県大・環境			韓 慶民	森林総合研究所
JH1-1		野村 尚史	京大・院・人環	JP1-225		韓 美徳	筑波大・生命環境
		野村 敏江	京都府大・農	JP1-163		半田 千尋	京大・人間環境
JG1-7		野本 和宏	北大・院・地球環境	JK2-1		半場 祐子	京都工繊大
JP3-40		馬 卓良	広大・院	JP1-67		比嘉 基紀	横国大・院・環境情報
JP1-219		萩野 友聡	北大・水産			東 正剛	北大・院・地球環境
JP3-294		萩森 優	広大・総合科	JP1-283		東 敬義	三重県埋蔵文化財センター
JP3-102		萩原 陽介	都立大・理			東浦 康友	東京薬科大・生命科学
JP3-307		箱山 洋	中央水研／東京海洋大			樋口 広芳	東大・農
JP1-108		橋本 千賀子	広大・総合科	JK2		彦坂 幸毅	東北大・院・生命科学
JP1-178		橋本 徹	森林総研・東北	JX3-5			
JP3-8		橋本 啓史	京大・院・農	JP3-53		日高 周	京大・理
JP3-214		橋本 佳延	兵庫県立人と自然の博物館	JX9-4		日鷹 一雅	愛媛大・農
JP3-220		長谷川 功	北大	JP1-84		日野 貴文	北大・農
JP1-82		長谷川 成明	北大・地球環境	JP1-72		日野 輝明	森林総研・関西
JP1-175		長谷川 夏樹	北大・院・理	JP3-164		日室 千尋	京大・院・農
JX7-2		長谷川 雅美	東邦大・理			兵地 梓	生態学研究センター
JP1-133		長谷川 元洋	森林総研・木曾	JP3-315		兵藤 不二夫	総合地球環境学研究所
JP1-53		長谷川 陽一	東北大・院・農			平井 敬三	森林総合研究所
JP3-229		畑 憲治	都立大・理	JP3-131		平井 規央	大阪府大・生命環境
JP1-278		畠 佐代子	大阪自然環境保全協会	JP1-280		平井 利明	東北大・院・農
		波田 善夫	岡山理大・総合情報	JP3-281		平尾 章	北大・地球環境
JP1-232		波多江 智子	広大・総合科学	JP1-165		平尾 聡秀	北大・苫小牧
JP3-16		畠瀬 頼子	自然環境研究センター	JP3-291		平川 浩文	森林総研・北海道
JP3-237		畑田 彩	里山科学館キョロロ			平田 聡之	北大・FSC
JX11-4		波多野 肇	静岡大・理	JP3-158		平田 真規	北大・院・地球環境
JP3-60		蜂谷 卓士	阪大・理	JC1-13		平田 和彦	北大・水産
		服部 充	信州大・理			平野 義明	千葉大

JES53 参加登録者一覧

発表	懇	名	前	所 属	発表	懇	名	前	所 属
JF1-1		平林	公男	信州大・応用生物	JX6-2		星崎	和彦	秋田県立大
JP1-104		平吹	喜彦	東北学院大・教養	JP3-198		細	将貴	京大・理
JP1-30		平山	貴美子	森林総研・関西			細井	麻理	関西大
		平山	大輔	大阪市大・院・理	JP3-190		細川	貴弘	産総研・生物機能工学
JP3-177		平山	寛之	九大・理			細木	大輔	国土技術政策総合研究所
		蛭間	啓	飯田市美術博物館	JP3-49		堀	幸代	岡山大・農
		広木	幹也	国立環境研究所	JP1-174		堀	正和	東大・院・農学生命
		廣田	充	国立環境研究所			堀	道雄	京大・院・理
JP1-181		廣部	宗	岡山大・農			堀	良通	茨城大・理
JP3-232		深澤	圭太	横浜国大・環境情報			堀越	和夫	小笠原自然文化研究所
JP3-270		深澤	遊	京大・院・農			堀越	和夫	小笠原自然文化研究所
		深田	友樹英	千葉大・理	JX8-1		堀野	眞一	森林総合研究所
JP3-110		武津	英太郎	林木育種センター	JP3-314				
JG1-14		深谷	もえ	京大・霊長類研	JP3-166		堀部	直人	東大・広域システム
JP1-296		布川	洋之	徳島大・工	JC1-10		本郷	紗希子	東大・総合文化
JP3-205		福井	眞	東大・広域システム			本城	正憲	東大・農学生命
JP3-263		福井	大	北大・苫小牧	JP1-25		本田	裕紀郎	東大・院・農学生命
JP1-206		福島	慶太郎	京大・院・農	JP3-184		本間	淳	京大・院・農
JG3-1		福島	路生	国立環境研究所			本間	航介	新潟大・農
JP1-237		福田	大介	京大・生態学研究センター			本間	公子	弘前大・理工
JP1-186		福森	香代子	愛媛大・CMES	JF3-11		前川	清人	富山大・理
JP1-308		福山	欣司	慶応大・生物			前川	光司	北大・フィールドセンター
JP3-100		藤井	新次郎	鹿児島大・院	JF1-3		前迫	ゆり	奈良佐保短期大
JG1-8		藤井	恒	京都学園大・人間文化	JP3-292		前藤	薫	神戸大・農
JP3-300		藤井	芳一	横浜国大・環境情報	JP1-95		前山	絵里	東大・院・生物多様性
JX7-4		藤井	義晴	農業環境技術研究所	JP1-212		眞壁	明子	東京工大・総合理工
JP3-241					JP1-239		牧野	俊一	森林総合研究所
		藤岡	正博	筑波大・農技センター	JP1-52		牧野	崇司	東北大・院・生命科学
JB3-4		藤木	泰斗	京大・農	JP3-285		牧野	渡	東北大
		藤田	剛	東大・農	JX11-5		増沢	武弘	静岡大
JP1-306		藤田	卓	九大・理	JP1-260		増田	理子	名工大・都市社会
JG3-5		藤田	直子	東大・院			松井	淳	奈良教育大
JB1-2		藤田	正雄	自農セ・農試			松井	哲哉	森林総研・北海道
JP1-31		藤田	真梨子	奈良教育大			松井	智美	千葉大・院・自然科学
JD1-12		藤田	素子	横浜国立大	JP3-117		松木	佐和子	道立林業試験場
JP1-119		藤田	志歩	医薬基盤研・霊長類	JE3-10		松崎	慎一郎	東大・院・農
JP3-27		藤原	道郎	兵庫県大・自然研/淡路景観	JH3-5		松下	博明	横浜国大・院・環境情報
JP1-300		藤原	直子	豊橋市自然史博物館	JP3-273		松下	美歩	宮崎大・農
		藤巻	玲路	横浜国立大	JP1-126		松島	野枝	東北大・院・生命科学
JP1-191		藤村	栄貴	東京工大	JX8-4		松田	裕之	横浜国大・環境情報
		藤山	直之	北教大・函館	JP1-85		松田	深雪	北大・環境科学
JP1-200		藤吉	正明	東海大・教養			松野	葉月	兵庫県立人と自然の博物館
		藤原	一繪	横浜国大・院・環境情報	JG1-10		松原	圭	琉球大・理工
JP1-128		布施	名利子	九大・理	JP1-50		松平	有加	金沢大・理
JG1-1		測側	太郎	京大・生態研センター	JE3-11		松政	正俊	岩手医大・教養
JP3-271		船津	勇一	広大・院・生物圏			松村	正哉	九州沖縄農業研究センター
JP3-174		降旗	初佳	九大・理	JG1-12		松本	経	北大・院・水産
		古川	昭雄	奈良女子大	JP3-19		松元	淳	新潟大・農
JE3-13		部奈	千晶	琉球大・理工			松本	忠夫	放送大・教養
		逸見	泰久	熊本大・沿岸域センター			松山	周平	京大・院・農
JP3-192		保木本	達也	愛媛大・院			真鍋	徹	北九州市立自・歴博

JES53 参加登録者一覧

発表	懇 名 前	所 属	発表	懇 名 前	所 属
JC1-6	真野 泉	愛媛大・院・敬和学園高	JP3-14	目黒 伸一	国際生態学センター
JP3-211	真野 浩行	筑波大・生命共存	JP1-179	莫 文紅	農業環境技術研究所
JP1-320	馬谷原 武之	日大・院・生物資源	JP1-248	舞木 昭彦	北大・院・水産
	鞠子 茂	筑波大・院・生命環境		持田 浩治	京大・理
JP1-168	三浦 収	東北大・生命科学	JP1-314	持田 美和	明治大・農
	三浦 慎悟	新潟大・農	JP1-120	本村 健	中野市教育委員会
JC3-4	三浦 優子	千葉大・自然科学	JF3-1	百瀬 邦泰	愛媛大・農
J11-2	三浦 優太	京大・農	JP1-68	森 章	サイモンフレーザー大
JF3-12	三浦 徹	北大・地球環境	JF1-13	森 麻美	奈良女大・院・人間文化
JP1-158	三上 修	九大・理		森 茂太	森林総研・東北
JP1-318	三上 光一	長野市立博物館	JP1-151	森 照貴	北大・苫小牧
JH3-6	三木 健	京大・生態研セ	JX2-3	森 洋佑	北大・地環研
	三木 直子	岡山大	JP1-277	森 貴久	帝京科学大
JC3-9	右田 千春	東大・院・農	JP1-227	森 早苗	大阪市大・院・理
JP3-114	三嶋 賢太郎	秋田県大・院	JP3-108	森下 和路	京大・院・農
JP1-173	三島 慎一郎	農業環境技術研究所		森藤 倫子	筑波大・生物
JP3-154	水野 敦	信州大・院・農	JX5-1	森長 真一	東北大・院・生命科学
	水野 晃子	東北大・生命科学		森野 真理	吉備国際大
	水町 衣里	京大・院・農	JG1-5	森本 元	立教大・院・理
	三田村 理子	茨城大	JP1-184	森元 伸吾	新潟大・農
JP1-103	三橋 弘宗	兵庫県立・人と自然博	JP3-269	森本 直子	琉球大・理工
JP3-84	皆川 礼子	東京農大	JP1-273	森本 正俊	茨城大・理
JP3-109	南出 俊郎	千葉大・自然科学	JP1-281	諸澤 崇裕	筑波大・生物資源
JX9-5	嶺田 拓也	農業工学研究所	JP1-266	矢ヶ崎 朋樹	国際生態学センター
JP1-303			JP1-35	谷亀 高広	千葉大・自然科学
	宮内 大策	横浜国大・環境情報	JP3-35	八木 貴信	森林総研・東北
JP1-22	宮城 和章	神戸大・自然科学	JP1-83	矢澤 佳子	千葉大・園芸
JP3-193	宮崎 玄	北大・院・水産		八代 裕一郎	流域圏科学研究センター
JP3-50	宮崎 円	富山大・理工	JP1-155	八杉 公基	京大・院・理
JP1-3	宮崎 祐子	奈良県森林技術センター	JP1-230	安田 泰輔	山梨県環境科学研究所
	宮崎 由佳	森林文化アカデミー	JP1-13	安元 暁子	九大・理
JF3-14	宮崎 智史	北大・地球環境	JB1-12	谷内 茂雄	総合地球環境学研究所
	宮沢 良行	九大・演習林	JP3-258	柳 真一	岡山大・院・環境
	宮下 直	東大・院・農	JP3-10	柳沢 直	岐阜県立森林文化アカデミ
JP1-321	宮下 衛	国立環境研究所		柳沢 康信	愛媛大・理
JX12-2			JP3-316	柳 洋介	東大・院・農
JP3-189	宮竹 貴久	岡山大・院・環境		矢野 舞依子	鳥取大・農
JP1-207	深山 景亮	東京農工大・院	JL-3	矢原 徹一	九大・理
JP1-23	宮本 尚子	北海道育種場		矢部 恒晶	森林総研・九州
JP3-306	宮本 康	島根大・汽水研セ	JE1-2	矢部 徹	国立環境研究所
JP3-235	宮脇 成生	建設環境研究所	JH3-9	山内 淳	京大・生態研センター
	向井 宏	北大・厚岸臨海実験所	JP1-99	山浦 悠一	東大・農
JP3-124	六車 秀士	北大・院・水産	JP3-89	山岸 洋貴	北大・院・環境科学
J13-10	宗田 一男	横浜国大・院・環境情報	JG3-2	山北 剛久	千葉大・院・自然科学
JK2-2			JP1-70	山口 健太	横浜国大・院・環境情報
JP1-170	村岡 裕由	岐阜大・流域圏センター	JP3-265	山口 幸	奈良女大・人間文化
J13-3	村上 裕	愛媛県立衛生環境研究所		山口 典之	立教大・理
	村上 宜之	京府大・院・森林環境	JP1-41	山口 恭弘	中央農研・鳥獣害研
JP3-5	村上 雄秀	国際生態学センター	JP1-73	山口 友平	新潟大・農
JP1-164	村上 正志	北大・苫小牧	JP1-221	山口 和香子	東北大・理
JP3-219	村中 孝司	東大・農	JP3-119	山倉 拓夫	大阪市大・院・理
JG1-4	村松 大輔	京大・理			

JES53 参加登録者一覧

発表	懇名前	所属	発表	懇名前	所属
JP3-260	山崎 梓	京大・院・農	JP3-121	吉野 元	東北大・院・生命科学
JP1-88	山崎 実希	東北大・院・農	JP3-322	吉原 佑	東大・農
	山崎 理正	京大・農		吉丸 博志	森林総合研究所
JP3-251	山崎 裕治	富山大・理	JP3-94	吉村 謙一	神戸大・自然科学
JP3-288	山崎 健介	広島大	J11-12	吉村 昌悟	島根大・生物資源
JP1-224	山下 聡	総合地球環境学研究所	JP1-137	吉村 真由美	森林総研・関西
	山下 英恵	東大・院・農学生命	JP1-2	吉本 敦子	金沢大・教育
JP1-177	山田 勝雅	千葉大・自然科学	JE3-3	吉本 治一郎	京大・院・農
JP1-154	山田 梢恵	北教大・札幌	JH3-7	吉山 浩平	京大・生態学研究センター
	山田 浩之	北大・院・農	JE1-4	米田 健	鹿児島大・農
JP1-316	山田 文雄	森林総合研究所	JB3-2	梁 乃申	国立環境研究所
JP3-319	山田 雅仁	北大・低温研		和 愛軍	東大・院・保全生態
J13-6	大和 政秀	KANSO テクノ生環研	JB3-5	和 穎 朗太	京大・生態学研究センター
JE1-11	山名 郁実	大阪市大・院・理	JP1-288	若菜 勇	阿寒湖畔EMC
JP1-231	山中 みのり	滋賀県大・院		若松 伸彦	横国大・院・環境情報
JP1-292	山中 裕樹	京大・生態研	JL-1	鷲谷 いづみ	東大・農学生命
JE3-8	山村 則男	京大・生態学研究センター	JX11-3	和田 直也	富山大・極東地域研
	山村 靖夫	茨城大・理	JB1-5	渡辺 一哉	北里大・獣医畜産
	山室 真澄	産業技術総合研究所	JP3-127	渡辺 勝敏	京大・院・理
JP1-196	山本 昭範	筑波大・院・環境科学		渡邊 園子	広大・国際協力
	山本 聡子	上越環境科学センター		渡辺 恒大	北大・環境
JX10-1	山本 晋	岡山大・環境		渡辺 肇	高岡法科大・教養
JE1-6	山本 哲朗	横浜国大・院・環境情報		渡辺 守	筑波大・生物
JP1-167	山本 智子	鹿児島大・水産	JP1-130	渡辺 正宏	北大・FSC
JP3-206	山本 朋範	東北大・院・生命科学	JK2	綿貫 豊	北大・水産
JP1-228	山本 直明	東北大・院・生命科学	JP3-239	巨 悠哉	東大・農
	山元 得江	秋田県大・森林			
JP3-282	湯浅 卓	東京農工大・連合農学			
JP3-248	養松 郁子	日本海区水産研究所			
JP1-289	横井 謙一	近畿大・院・農			
JP1-47	横井 智之	京大・院・農			
	横尾 誠	九大・院・理			
	横沢 正幸	農業環境技術研究所			
J13-11	横畑 泰志	富山大・理			
JX8					
JP1-244	横溝 裕行	九大・理			
JP3-234	横山 潤	東北大・生命科学			
JP1-299	横山 泰宏	明治大・農			
JP3-301	吉尾 政信	東大・農			
JP1-143	吉岡 明良	東大・農			
JP1-26	吉川 徹朗	京大・院・農			
	吉川 正人	東京農工大・農			
JP1-249	吉田 勝彦	国立環境研			
JP3-120	吉田 圭一郎	横浜国立大			
JK1					
JX4-6	吉田 丈人	Cornell University			
JP3-320	吉田 友彦	東海大・院・海洋			
JP3-321	吉田 保志子	中央農研・鳥獣害研究室			
JP1-319	吉田 康子	筑波大・生命環境			
	吉田 洋	山梨県環境科学研究所			
JP3-272	吉竹 晋平	広大・院・生物圏			
JP1-18	吉田 俊也	北大・FSC			

JES53 参加登録者一覧

発表	懇	名前	所属
JD111		Ahimsa Campos-Arceiz	The University of Tokyo
JP3-46		Almaz Borjigidai	東北大・生命科学
JP1-253		Amiri Bahman Jabbarian	広大・院
JP3-209		Amporn Wiwegweaw	Department of Biology, Faculty of Science, Shinshu University
JD103		Arndt Telschow	Center for Ecological Research, Kyoto University
JD102		Ben Adams	Kyushu University
JK1-3		Carroll, Scott P	University of California-Davis
JP1-218		Chan-Ryul Park	Division of Forest Ecology, Korea Forest Research Institute
JP3-151		Cornette Richard	北大・地球環境
JP1-215		Dennis Dye	JAMSTEC Frontier Research System for Global Change
JD1-4		Fenglin, M A	Shanghai forest management station
		Feroz S M	University of the Ryukyus
JP3-68		Hideyuki Shimizu	National Institute for Environmental Studies
		Ho Sang Kang	Seoul National University
		Hotes, Stefan	東大・院・農
JP1-147		Ida Kinasih	Kanazawa University
JP1-148		Indah Trisnawati D T	Kanazawa University
JP3-41		Jeong-Jin Bae	Institute of Low Temperature Science
		Kangkuso Analuddin	琉球大・院・理工
JK1-1		Kinnson, Michael T	University of Maine
		Majid Olia	National Institute for Agro-Environmental Sciences
JD106		Maria Luisa Sasil-Orbita	Akkeshi Marine Station, Hokkaido University
		Mayinja James	Golden Institute of Sciences-Wabutungulu
JD110		Md. Moniruzzaman Sarker	University of the Ryukyus
		Mohammad Zabed Hossain	Hirosaki University
		Mohammed Abubakar Kuta	441 Welfare Ass.
JP3-250		Munidasa Dulee	筑波大・生命環境
		Mutari Issah	441 Welfare Ass.
JD109		Palitha Jayaekara	University of Tokyo
JP1-49		Ramadhani Eka Putra	Graduate School of Natural Science and Technology, Kanazawa University
JX7-3		Groves, Richard	CSIRO, Australia
JX7-1		Cowie, Robert	Univ. of Hawaii, USA
		Shan-Huah Wu	Institute of Ecology and Evolutionary Biology, National Taiwan University
		Tzu-Hsin Yang	Institute of Ecology and Evolutionary Biology, National Taiwan University
JD107		Udayani Rose Weerasinghe	The University Museum, University of Tokyo
JP3-69		Wang Yin	阪大・院・理
		Xi Yunguan	Nanjing Institute of Environmental Sciences, SEPA, China
		Yan Wang	Shanghai forest management station

EAFES2 Participant List

Presentation	Name	
	Abdullah, Saiful Arif	Hiroshima University, Japan
EP35, ES 6	Abe, Harue	Toho University, Japan
ED210	Abe, Shin	Tottori University, Japan
EP152	Akiyama, Reiko	Kyoto University, Japan
EA307	Aoda, Tadao	Niigata University, Japan
EP148	Aoyagi, Yukiko	Hokkaido Univ., Japan
EG403	Arakaki, Seiji	Kyushu University, Japan
EP144	Araki, Masatake	FFPRI Kyushu, Japan
	Aseidu, Frank	Kwahu South Commercial Farmers Association, Ghana
EP137	Bae, Jeong-Jin	Institute of Low Temperature Science, Korea
ES 3	Bai, Xuemei	Institute for Global Environmental Strategies, Japan
EP69, ES 9	Bazarova, Valentina B.	Pacific Institute of geography FEB RUS, Russia
	Bezrukova, Elena	Institute of Geochemistry SB RAS, Russia
	Boakye, Ernest	Kwahu South Commercial Farmers Association, Ghana
ES 7	Breckle, Siegmard	University of Utsunomiya, Japan
ES 14	Cao, Mingkui	Institute of Geographical Science and Natural Resources Research, Chinese Academy of Sciences, China
ES 10	Cao, Wenzhi	Environmental Science Research Centre, China
EP126	Chen, Jin	National Institute for Environmental Studies, Japan
	Chen, Sophia Shuang	Nanjing Institute of Geography and Limnology, Chinese Academy of Sciences, China
ES 12, 13	Cho, Do-Soon	The Catholic University of Korea, Korea
	Cho, Yong-joo	Seoul National University, Korea
EH201, ES 2	Chon, Tae-Soo	Pusan University, Korea
ES 6	Corlett, Richard	The University of Hong Kong , China
EP73	Cui, Xianghui	China National Research and Development Centre Combating Desertification(RDCCD) , China
ES 3, 7	Da, Liangjun	East China Normal University, China
ED204	de Guia, Anna Pauline	Hokkaido University, Japan
EPS	de Vries, Frits Penning	MAIRS Office-Monsoon Asia Integrated Regional Studies, China, China
EH203	Diane, Abdoulaye	Yokohama National University, Japan
EA403	Dirksen, Oleg	Institute of Volcanology and Seismology FED RAS, Russia
EA404, ES 9	Dirksen, Veronika	Institute of Volcanology and Seismology FED RAS, Russia
ED205	Do, Yuno	Pusan National University, Korea
	Dong, Yawen	Nanjing Institute of Geography and Limnology, Chinese Academy of Sciences, China
	Dong-sook, Park	Seoul National University, Korea
EG203	Dong-Xiu, Wu	Institute of Botany, The Chinese Academy of Sciences, China
EG202	Dye, Dennis	JAMSTEC Frontier Research Center for Global Change, Japan
EPS	Fang, Jing Yun	Peking University, China
	Feng, Zhaozhong	Research Center for Eco-Environmental Sciences, Chinese Academy of Sciences, China
EP95	Feroz, S. M.	University of the Ryukyus, Japan
EPS, ES5	Fu, Bojie	Research Centre for Eco-Environmental Sciences, China, China
EP12	Fuchikawa, Taro	Center for ecological research, Kyoto Univ., Japan
EP160	Fujihara, Michiro	Inst. Natural & Environmental Sciences, University of Hyogo/Awaji Landscape Planning & Horticulture Academy, Japan
ED203	Fujii, Hisashi	Kyoto Gakuen University, Japan
EP118	Fujimaki, Reiji	Yokohama National University, Japan
ES 7	Fujiwara, Kazue	Yokohama National University, Japan
ES 5	Fukamachi, Katsue	Kyoto Prefectural University, Japan
EP133	Fukasawa, Yu	kyoto university, Japan
EP75	Ganzei, Kirill	Far East State University, Russia
ES 14	Gao, Lupeng	Institute of Geography and Natural Resource Research, China

EAFES2 Participant List

Presentation	Name	
EP87	Goka, Koichi	National Institute for Environmental Studies, Japan
ES 14	Gu, Song	Northwest Institute of Plateau Biology, The Chinese Academy of Sciences, China
EP43	Guan, Lili	South China Botany Garden, Chinese Academy of Science, China
	Guo, Yuqi	Zhengzhou University, China
	Gurung, Chandra Bahadur	Kantipur Forest Conservation Forum, Nepal
	Ha, Kyong	National Institute for Environmental Studies, Japan
	Han, Dong Uk	Seoul National University, Korea
ES 4	Han, Myung-Soo	College of Natural Science, Korea
ES 12	Hara, Toshihiko	Hokkaido University, Japan
ES 11	Harada, E.	Tokushima University, Japan
EP14	Haramoto, Shinji	University of Toyama, Japan
EP5	Haramura, Takashi	Department of Zoology, Graduate School of Science, Kyoto University, Japan
EP34	Hasegawa, Masami	Geographical Ecology, Toho University, Japan
EP76	Hashimoto, Hiroshi	Kyoto University, Japan
EP104	Hayasaka, Daisuke	Yokohama National University, Japan
EP71	He, Aijun	China and Japan, China
EP6	Henmi, Yasuhisa	Kumamoto University, Japan
EA305	Hidaka, Kazumasa	Collage of Agriculture, Ehime University, Japan
EP18	Himuro, Chihiro	Kyoto University, Japan
EP114	Hirai, Keizo	Forestry and Forest Products Research Institute, Japan
ES 14	Hirata, Ryuichi	National Institute for Environmental Studies, Japan
EP37	Hirata, Toshiyuki	Field Science Center for Northern Biosphere, Hokkaido Univ., Japan
EP124	Hirota, Mitsuru	National Institute for Environmental Studies, Japan
ES 12, EP154	Homma, Kosuke	Field Center for Sustainable Agriculture and Forestry, Niigata University, Japan
EP38	Honda, Yukio	Graduate School of Agricultural and Life Sciences, The University of Tokyo, Japan
ES 11	Hong, Sun-Kee	Forest Science Institute, Korea
EH403	Hong, Zhou	Yunnan University, China
EP150	Honjo, Masanori	The University of Tokyo, Japan
EP51	Hosogi, Daisuke	National Institute for Land and Infrastructure Management, Japan
EF204	Hossain, Zabed	Hirosaki University, Japan
EF207	Hotes, Stefan	Graduate School of Agricultural and Life Sciences, The University of Tokyo, Japan
	Hou, Xiangyang	Department of science and Technology Management, Chinese Academy of Agricultural Sciences, China
EG210	Hu, Chunsheng	The Center for Agricultural Resources Research, Institute of Genetics and Developmental Biology, Chinese Academy of Sciences, China
ES 3	Huang, Guangyu	Chongqing University, China
	Huang, Jinlou	Key Lab of Systems Ecology, Research Center for Eco-Environmental Sciences, The Chinese Academy of Sciences, China
ES 3	Huang, Shu-Li	National Taipei University, Taiwan
ES 3	Hwang, Kyung-Soo	Cheju National University, Korea
	Ida Kinasih	Kanazawa University, Japan
EP16	Ide, Jun-Ya	Laboratory of Insect Ecology, Graduate School of Agriculture, Kyoto University, Japan
ES 9	Igarashi, Yaeko	
ES 13	Ihm, B.S.	
EP11	Ikeda, Hiroshi	Graduate School of Agricultural and Life Sciences, The University of Tokyo, Japan
EP85	Ikeda, Tohru	Hokkaido University, Japan
EP115	Inatomi, Motoko	FRCGC-JAMSTEC, Japan
	Indah Trisnawati D T	Kanazawa University, Japan
ES 2	Irie, Haruyuki	Hiroshima University, Japan

EAFES2 Participant List

Presentation	Name	
ES 6	ISAGI, Yuji	Hiroshima University, Japan
EA304	Ishida, Ken	University of Tokyo, Japan
EP49	Ishihara, Masae	Kyoto University, Japan
EP78	Ishii, Jun	The University of Tokyo, Japan
ES 13, EP138	Ishikawa, Sin-Ichi	Faculty of Social and Information Studies, Gunma University, Japan
ES 10	Itayama, Tomoaki	National Institute for Environmental Studies, Japan
EH206	Ito, Hiroka	University of Kagoshima, Japan
ES 11	Ito, K.	Kyushu Inst. Tech, Japan
EP33	Ito, Takehiko	Arid Land Research Center, Tottori University, Japan
EP99	Itoh, Kouji	The University of Tokyo, Japan
EP122	Itoh, Masayuki	Kyoto University, Japan
ED202	Iwai, Noriko	University of Tokyo, Japan
ES 6	Izhaki, Ido	University of Haifa, ISRAEL
EPS	Jae, Chun Choe	Seoul National University, Korea, Korea
EF203	Jang, Inyoung	Ewha Womans University, Korea
EP65	Jang, Min-Ho	National Institute for Environmental Studies, Japan
	Joo, Gea-Jae	Dept. Biology, Pusan National University, Korea
ES 6, EA301	Jordano, Pedro	Consejo Superior de Investigaciones Cientificas (CSIC), Spain
ES 12	Jun , Eun Jin	Korea Forest Research Institute, Korea
	Jun, Mi Sun	Seoul National University, Korea
EP68	Jung, Jong-Mun	Busan Water Authority, Korea
EG204	Jung, Soohyun	Ewha Womans University, Korea
ED209	Kadoya, Taku	Inst. Agri. & Life Sci., The University of Tokyo, Japan
EP128	Kagotani, Yasuyuki	The University of Shiga Prefecture, Japan
ES 11	Kamada, Mahito	Tokushima University, Japan
EP42	Kameda, Kayoko	Lake Biwa Museum, Japan
EP13	Kamimura, Yoshitaka	Department of Ecology and Systematics, Hokkaido University, Japan
EP110	Kamitani, Takafumi	Yokohama National University, Japan
EP60	Kanaya, Gen	Center for Northeast Asian Studies, Tohoku University, Japan
EP136	Kanazashi, Ayako	Forestry and Forest Products Reseach Institute, Japan
EF202	Kaneko, Nobuhiro	Yokohama National University, Japan
EG207	Kang, Daeseok	Pukyung National University, China
ES 11	Kang, H.	Ewha Womans University, Korea
	Kang, Ho Sang	Seoul National University, Korea
EP93	Kangkuso, Analuddin	University of the Ryukyus, Indonesia
EP3	Kano, Yuichi	Mie University, Japan
EP54	Kasim, Ma'ruf	Hokkaido University, Indonesia
ED201	Kasuya, Eiti	Department of Biology, Kyushu University, Japan
ES 9	Katamura, Fumitaka	
EP112	Kato, Tomomichi	Frontier Research Center for Global Change, Japan
EP62	Kato, Yoshikazu	Graduate School of Science, Kyoto University , Japan
	Katuwal, Santa Kumar	Pegasus English Boarding School, Nepal
ES 10	Kawabata, Zen'ichiro	Research Institute for Humanity and Nature, Japan
EP88	Kawada, Kiyokazu	National Institute for Agro-Environmental Sciences, Japan
EA303	Kawai, Takashi	Kyushu University, Japan
EP106	Kawanishi, Motohiro	Teikyo University Senior High School, Japan
EP120	Kawano, Tatsuichiro	Kyoto Prefectural University, Japan
EP123	Kazuya, Nishina	Nagoya university, Japan
EP70	Kensuke, Yamazaki	Hiroshima Univ., Japan
ES 9, EA405	Khazina, Irina	Institute of petroleum geology SB RAS, Russia

EAFES2 Participant List

Presentation	Name	
ED306	Kikuchi, Kikuchi, Akira	Hiroshima University, Japan
ED301	Kikuzawa, Kihachiro	Ishikawa Prefectural University, Japan
	Kim, Eui Jae	Seoul National Univ., Korea
EPS, ES5, 11	Kim, Eun-Shik	Kookmin University, Korea
ED312	Kim, Gu Yeon	Dept. Biology, Pusan National University, Korea
EP67	Kim, Hyun-Woo	Sunchon National University, Korea
	Kim, In Sjung	Seoul National University, Korea
ES 5	Kim, Jae-Eun	Graduate School for International Development and Cooperation Hiroshima University, Japan
ES 13	Kim, N.O.	
ES 12	Kim, RaeHyun	Korea University, Korea
EP121	Kim, Seong-Deog	Chungnam National University, Korea
EF208	Kim, Seon-young	EWHA Univ., Korea
	Kim, You Seung	Korea University, Korea
EP130	Kim, Young-Min	Chung-nam university, Korea
EP24	Kishi, Shigeki	Laboratory of Insect Ecology, Graduate School of Agriculture, Kyoto university, Japan
ES 9, ED304	Klimin, Mikhail	Institute for Aquatic and Ecological Problems of the Far Eastern Branch of the Russian Academy of Sciences, Russia
EP159	Kobayashi, Makoto	Graduate school of Environmental Science, Hokkaido University, Japan
EP98	Kobayashi, Yoshiko	Graduate School of Environment and Information Sciences, Yokohama National University, Japan
EP66	Kochi, Kaori	Hokkaido Institute of Technology, Japan
EP79	Koh, Insu	Graduate School of Environmental Studies, Seoul National University, Korea
EPS	Kohyama, Takashi	Global Land Project, Hokkaido University, Japan, Japan
EH208	Koike, Fumito	Yokohama National University, Japan
EP27	Kondo, Natsuko	National Institute of Environmental Studies, Japan
EP47	Konuma, Akihiro	National Institute for Agro-Environmental Sciences, Japan
ED303	Koyama, Kohei	Laboratory of Plant Ecology, Ishikawa Prefectural University, Japan
ES 7	Krestov, Pavel	Institute of Biology and Soil Science, Russia
ES 9, EA401	Krivonogov, Sergey	United Institute of Geology, Geophysics and Mineralogy SB RAS, Russia
EP64	Kuki, Naoko	Graduate Sch. of Agr. Sci., Shinshu U., Japan
ES 4, EA306	Kunii, Hidenobu	Shimane University, Japan
EP41	Kunitake, Yoko	National Institute of Environmental Studies, Japan
EG401	Kurimoto, Miyoko	Amakusa Marine Biological Laboratory, Japan
EP26	Kusumoto, Kaori	Hokkaido University, Japan
	Kwame Osei, Richard	Kwahu South Commercial Farmers Association, Ghana
EH401	Kwon, Jino	Korea Forest Research Institute, Korea
EA310	Kwon, Ohseok	NIAST, RDA, Korea
ES 2	Lee, Eun-Ju	Seoul National University, Korea
ES 2	Lee, Hak Young	Chonnam National University, Korea
ES 2	Lee, Hyo Hye Mi	Seoul National University, Korea
ES 13	Lee, J-S	
	Lee, Kyoo	Seoul National University, Korea
EP113	Lee, Mi-Sun	Gifu University, Japan
EG206	Lee, Seung-Hoon	Department of Environmental Science and Engineering, Ewha Womans University, Korea
ES 13	Lee, W.J	
ES 12	Lee, Woo-Kyun	Division of Environmental Science and Ecological Engineering, Korea Natural Reserve Department, National Wildlife Research Center, State Forestry Administration/Institute of Forest Ecology, Environment and Protection, the Chinese Academy of Forestry, China
	Li, Diqiang	Key Lab of Systems Ecology, Research Center for Eco-Environmental Sciences, Chinese Academy of Sciences, China
	LI, Feng	Key Lab of Systems Ecology, Research Center for Eco-Environmental Sciences, Chinese Academy of Sciences, China
ED305	Li, Pingping	Institute of Agriculture Engineering, Jiangsu University, China

EAFES2 Participant List

Presentation	Name	
ES 11	Li, Xiuzhen	CAS, China
ES 5	Li, Yan	Xinjiang Institute of Ecology and Geography, CAS, China
ES 14, EG205	Liang, Naishen	National Institute for Environmental Studies, Japan
ES 10	Liu, Dengyi	Anhui Normal University, China
ES 5	Liu, Guobin	Institute of Soil & Water Conservation, China
ES 10	Lu, Yitong	Shanghai Jiaotong University, China
	Lupeng, Gao	CERN, Institute of Geographical Sciences and Natural Resources Research, CAS, China
ES 4	Ma, Fenglin	Shanghai forest management station, China
ES 5	Ma, Keming	Research Center for Eco-Environmental Sciences, China
EP17	Makino, Wataru	Tohoku University, Japan
EP72	Masuda, Michiko	Nagoya Institute of Technology, Japan
EP141	Masuzawa, Takehiro	Shizuoka university, Japan
EA313	Matsuda, Hiroyuki	Yokohama National University, Japan
EP149	Matsui, Kiyoshi	Nara University of Education, Japan
EP55	Matsui, Tomomi	Graduate School of Science and Technology, Chiba University, Japan
EA302	Matsuki, Sawako	Hokkaido Forestry Research Institute, Japan
ES 11, EH405	Matsuno, Hazuki	Museum of Nature and Human Activities, Hyogo, Japan
	Miao, Hong	Research Center for Eco-Environmental Sciences, Chinese Academy of Sciences (RCEES-CAS), China
EP140	Miki, Naoko	Okayama University, Japan
EF206	Miki, Takeshi	Center for Ecological Research, Kyoto University, Japan
EPS	Mitchell, Myron J.	State University of New York, Syracuse, USA
EP90	Miyauchi, Daisaku	Yokohama National University, Graduate School of Environment and Information Sciences, Japan
ED308	Miyazawa, Yoshiyuki	University Forest of Kyushu, Kyushu University, Japan
EP134	Mizumachi, Eri	Graduate School of Agriculture, Kyoto University, Japan
ES 7	Mochida, Y	Yokohama National University, Japan
	Moon, Tae-Young	Kosin University, Korea
EP135	Mori, Akira	Simon Fraser University, Canada
	Mori, Shigeta	Tohoku Res. Ctr., Forestry and Forest Products Res. Ctr., Japan
ES 5	Morino, Mari	Kibi International University, Japan
ES 1	Morimoto, Nobuo	National Agricultural Research Center, Japan
ED208	Munidasa, Dulee	University of Tsukuba, Sri-Lankan
EP61	Murakami, Yasuyuki	Graduate School of Agriculture, Kyoto Prefecture University, Japan
EG402	Muramatsu, Daisuke	kyoto-university, Japan
EP145	Nagase, Honami	Graduate School of Bioagricultural Sciences, Nagoya University, Japan
EP2	Nagata, Junco	Forestry and Forest Products Research Institute, Japan
EP97	Naito, Kazuaki	Institute of Natural and Environmental Sciences, University of Hyogo, Japan
EP80	Nakagiri, Nariyuki	University of Hyogo, Japan
	Nakai, Katsuki	Lake Biwa Museum, Japan
EP151	Nakamura, Koh	University of the Ryukyus, Japan
EP44	Nakamura, Takuma	Kyoto Prefectural University, Graduate School of Agriculture, Japan
ES 7	Nakamura, Yukito	Tokyo University of Agriculture, Japan
EP52	Nakano, Daisuke	Hokkaido University, Japan
EP53	Nakazawa, Takefumi	Center for Ecological Research, Kyoto University, Japan
EA309	Naoto, Kamata	Kanazawa Univeristy, Japan
EP94	Narita, Ryo	Kyoto University, Japan
EP57	Nishihiro, Jun	The University of Tokyo, Japan
ES 12	NISHIMURA, Naoyuki	Nagoya Sangyo University, Japan
	Niu, Dong	Chinese Academy of Sciences, China

EAFES2 Participant List

Presentation	Name	
EP132	Noda, Hibiki	Institute of Agriculture and Life Science, The University of Tokyo, Japan
ES 2	Noda, Takashi	Faculty of Environmental Earth Science, Japan
EP143	Nomura, Naofumi	Graduate school for human and environmental studies, Kyoto university, Japan
EP101	Nomura, Toshie	Kyoto prefectural university, Japan
EP89	Obata, Kazuo	Ibaraki Nature Museum, Japan
EP102	Ohishi, Mami	Niigata University, Japan
ES 7	Ohno, Keiichi	Yokohama National University, Japan
ED206	Ohsawa, Masashi	Yamanashi Forest Research Institute, Japan
EP146	Ohtani, Masato	University of Tokyo, Japan
EP117	Ohte, Nobuhito	Kyoto University, Japan
ES 14	Ohtsuka, Toshiyuki	Ibaraki University, Japan
EP82	Okada, Hisako	Meiji University, Japan
ED207	Okubo, Kumiko	Dep. of Agr., Shinshu University, Japan
EP77	Okuda, Takehiro	Graduate School of Environmental Science, Hokkaido Univ., Japan
EP56	Onoda, yukio	Center for Ecological Research, Japan
EP81	Ooishi, Yoshitaka	Kyoto University, Japan
ED302	Osawa, Akira	Ryukoku University, Japan
EP109	Osono, Takashi	Graduate School of Agriculture, Kyoto University, Japan
EP21	Ota, Hiroshi	Graduate school of Life Science, Tohoku University, Japan
EP28	Otsuka, Kimio	Tokyo Medical and Dental University, Japan
	Ouyang, Zhiyun	Research Center for Eco-Environmental Science, Chinese Academy of Sciences, China
EP30	Ozaki, Kenichi	Forestry and Forest Products Research Institute, Japan
EH402	Park, Chan-Ryul	Division of Forest Ecology, Korea Forest Research Institute, Korea
	Park, Dong-sook	Seoul National University, Korea
ES 10	Park, Ho-Dong	Shinshu University, Korea
EP129	Park, Jung Hyuk	Chung-Nam university, Korea
EH408	Park, Soonyoung	Ewha Womans Univ., Korea
EP139	Park, Yong-Mok	Cheongju University, Korea
ES 2, EA312	Park, Young-Seuk	Kyung Hee University, Korea
	Perez Kuroki, Ana Jagui	Hiroshima University, IDEC, Venezuela
ES 4, EH209	Qin, Pei	Halophte Research Lab, Nanjing Univ., China
EF205	Qu, Laiye	Hokkaido University, China
EA308	Ruan, Chengjiang	College of Life Science, Dalian Nationalities University, China
ES 7, EH207	Safronova, Irina	Komarov Botanical Institute RAS, Russia
EP58	Saito, Hiromi	Kyusyu University, Japan
EP125	Sakai, Toru	The university of Tokyo, Japan
EP105	Sakio, Hitoshi	Forest Laboratory, Saitama Prefectural Agriculture & Forestry Research Center, Japan
EP131	Sano, Junji	Tottori University Forests, FSC, Japan
ES 1	Sang, Weiguo	Chinese Academy of Sciences, China
EP100	Sasaki, Naoko	Research Institute for Humanity and Nature (RIHN), Japan
EP48	Sasaki, Takehiro	The University of Tokyo, Japan
ED309	Sasil-Orbita, Maria Luisa	Akkeshi Marine Station, Field Science Center For Northern Biosphere, Hokkaido University, Philippines
ES 5, EH404	Satake, Akiko	Princeton University, USA
	Sato, Ken	Hokkai-Gakuen University, Japan
EP29	Sato, Shigeo	Shikoku Research Center, Forestry and Forest Products Research Institute, Japan
EP4	Sato, Takuya	Department of Bioresources, Graduate School of Mie University, Japan
ES 3	schulz, niels	United Nations University, Institute of Advanced Studies, Sympo
EP142	Seki, Takeshi	Tohoku Research Center, Forestry and Forest Products Research Institute, Japan

EAFES2 Participant List

Presentation	Name	
ED311	Shefferson, Richard	FFPRI, Japan
EP156	Shen, Haihua	The University of Tokyo, Japan
EG208	Shi, Xiao-Qing	Key lab of system ecology, Research center for eco-environmental sciences, CAS, China
ES 9	Shichi, Koji	
EP74	Shigenori, Karasawa	Nagoya University, Japan
EP7	Shikano, Shuichi	Center for Northeast Asian Studies, Tohoku Univ., Japan
	Shim, hyo jung	Seoul National University, Korea
ES 6	Shimada, Takuya	Forestry and Forest Products Research Institute, Japan
EP119	Shimamura, Tetsuya	DPRI, Kyoto University, Japan
EP46	Shimizu, Hideyuki	National Institute for Environmental Studies, Japan
EP1	Shimoda, Katsumasa	Nagasaki University, Japan
EP155	Shimono, Ayako	National Institute for Environmental Studies, Japan
EP107	Shiraishi, Takako	Earth Environment Science graduate course, Ritssho University, Japan
ES 12	Son, Yowhan	Korea University, Korea
ES 7	Song Yongchang	East China Normal University, China
	Song, Fuqiang	Zhejiang Forestry University, China
EF209	Song, Keunyea	Ewha womans university, Korea
ES 2	Song, Mi-Young	
	Song, Uhram	Seoul National University, Korea
ES 7	Song, Yongchang	East China Normal University, China
ES 10	Song, Yufang	Institute of Applied Ecology, CAS, China
EP31	Sugiura, Shinji	Forestry and Forest Products Research Institute, Japan
EP116	Sumida, Akihiro	Institute of Low Temperature Science, Hokkaido University, Japan
EG209	Sun, Shucun	Virginia Institute of Marine Science, College of William and Mary, USA
EP91	Suwa, Rempei	University of the Ryukyus, Japan
ES 6	Suyama, Yoshihisa	Tohoku University, Japan
EP86	Suzuki, Takao	Graduate School of Life Sciences, Tohoku University, Japan
EP32	Suzuki, Wajiro	Forestry and Forest Products Research Institute, Japan
	Takafushi, Tsuyoshi	Amakusa Marine Biological Laboratory, Kyushu University, Japan
EP9	Takafushi, Tsuyoshi	Amakusa Marine Biological Laboratory, Kyushu University, Japan
EH210	Takagawa, Shinichi	The University of Tokyo, Japan
ES 14	Takagi, Kentaro	Hokkaido University, Japan
ES 9	Takahara, Hikaru	Kyoto Prefectural University, Japan
EP157	Takahashi, Kazuaki	The University of Tokyo, Japan
ES 14	Takanashi, Satoru	Kyoto University, Japan
EP8	Takegaki, Takeshi	Nagasaki University, Japan
ES 4, EH407	Takemon, Yasuhiro	Water Resources Research Center, DPRI, Kyoto University, Japan
EP15	Takeuchi, Tsuyoshi	Department of Zoology, Graduate School of Science, Kyoto-University, Japan
EPS	Tanaka, Nobuyuki	Forest and Forestry Products Research Institute, Japan, Japan
EP96	Tanaka, Ryoko	Yokohama National University, Japan
ES 10	Tang, Jingchun	Nankai University, China
ES 10	Tang, Shirong	Guangzhou University, China
ES 14	Tao, Bo	Institute of Geographical Science and Natural Resources Research, Chinese Academy Sciences, China
	Tao, Fulu	University of Tsukuba, Japan
ES 7	Tateishi, Ryutaro	Chiba University, Japan
ES 6, EP50	Terakawa, Mari	IDEC, Hiroshima University, Japan
EF201	Tian, Xingjun	School of Life Science, Nanjing University, China
ES 12	TODA, Motomu	Hokkaido University, Japan
EP147	Tohyama, Hironori	Kyushu University, Japan

EAFES2 Participant List

Presentation	Name	
ES 2	Tokita, Kei	Osaka University, Japan
EP45	Tsuge, Mitsuru	Arid Land Research Center, Tottori University, Japan
EP158	Tsujino, Ryou	Center for Ecological Research Kyoto University, Japan
EG405	Uehara, Takashi	Kyushu University, Japan
EH202	Wakamatsu, Nobuhiko	Graduate School of Environment and Information Science, Yokohama National University, Japan
ES 1	Wan, Fang-Hao	Center for Management of Invasive Alien Species, Ministry of Agriculture, China, China
	Wang, Mengben	Institute of Loess Plateau, Shanxi University, China
ES 5	Wang, Qinxue	National Institute for Environmental Studies, Japan
ES 4	Wang, Ruiyong	School of Life Sciences, Nanjing University, China
ES 3, 7	Wang, Rusong	Research Center for Eco-Environmental Sciences, China
ES 14	Wang, Shaoqiang	Institute of Geographic Sciences and Natural Resources Research, China
	Wang, Xiaohe	Research Center for Eco-Environmental Sciences, CAS, China
EH406	Wang, Xuequan	China National Research and Development Centre Combating Desertification (RDCCD), China
	Wang, Yan	Shanghai forest management station, China
	Wang, Guo, Wang, Renqing, Weihua, Yufang	Ecology and Diversity Graduate School of Shandong University, China
	Watanabe, Sonoko	Hiroshima University, Japan
ES 4	Xi, Yunguan	Nanjing Institute of Environmental Sciences, SEPA, China, China
	xiao, yi	Research Center for Eco-Environmental Sciences, Chinese Academy of Sciences, China
	Xing, Zhong	Chongqing University, China
ES 11, EG201	Xiong, Zaiping	IDEC, Hiroshima university, Japan
ES 1	Yamada, Fumio	Forestry and Forest Products Research Institute, Japan
ES 11	Yamada, H.	Hokkaido Univ, Japan
EP36	Yamaguchi, Yasuhiro	Wild. Manage. Lab., National Agricultural Research Center, Japan
EP39	Yamaji, Keiko	University of Tsukuba, Japan
ED310	Yamamoto, Fukuju	Tottori University, Japan
EP22	yamamoto, yasue	Akita Prefectural University, Japan
ES 9	Yamamuro, Masumi	Geological Survey of Japan, Japan
EP63	Yamanaka, Hiroki	Center for Ecological Research, Japan
EP19	Yamasaki, Azusa	Laboratory of Insect Ecology Graduate School of Agriculture Kyoto University, Japan
EP153	Yamasaki, Michimasa	Kyoto University, Japan
EP25	Yamashita, Hanae	The University of Tokyo, Japan
EP10	Yamazaki, Yuji	Toyama University, Japan
	Yan, Shuiyu	Chongqing University, China
	Yanai, Seiji	Hokkaido Institute of Technology, Japan
EF210	Yanyou, Wu	Institute of Agricultural Engineering, Jiangsu University, China
	Yao, Shimou	Nanjing Institute of Geography and Limnology, Chinese Academy of Sciences, China
EP23	Yashiki, Ayako	University of the Ryukyues, Japan
EP111	Yashiro, Yuichiro	River Basin Research Center, Japan
	Yi, Jong Young	Seoul National University, Korea
ES 9, EA402	Yi, Sangheon	Korea Institute of Geoscience and Mineral Resources (KIGAM), Korea
EP20	Yokoi, Tomoyuki	Laboratory of Insect Ecology, Graduate School of Agriculture, Kyoto University, Japan
EA311	Yokomizo, Hiroyuki	Kyushu Univ., Japan
EH205	Yoko-o, Makoto	Amakusa Marine Biological Laboratory, Kyushu University, Japan, Japan
EP108	Yonemura, Seiichiro	NIAES, Japan
EG404	Yoon, Ju-Duk	Dept. Biology, Pusan National University, Korea
EP40	Yoshikawa, Tetsuro	Graduate School of Agriculture, Kyoto University, Japan

EAFES2 Participant List

Presentation	Name	
ES 7, EH204	You, Haimei	Integrated vegetation mapping in Asia, China
ES 1	You, Minsheng	Fujian Agriculture and Forestry University, China
	Yu, Guirui	Institute of Geographic Sciences and Natural Resources Research, Chinese Academy of Sciences, China
ES 6	Yumoto, Takakazu	Research Institute for Humanity and Nature, Japan
ES 5	Zhang, Bin	Institute of Soil Science, Chinese Academy of Sciences, China
	Zhang, Pengcheng	University of Tsukuba, China
ES 10	Zhang, Qian-ru	Key Laboratory of Terrestrial Ecological Process, Chinese Academy of Sciences, China
	Zhang, Youjun	Institute of Vegetables and Flowers, Chinese Academy of Agricultural Science, China
ES 5	Zhao, Xueyong	Cold and Arid Regions Environment and Engineering Research Institute, Chinese Academy of Sciences, China
	Zheng, Hua	Research Center for Eco-Environmental Sciences, Chinese Academy of Sciences, China
ES 10	Zhou, Qi-xing	Institute of Applied Ecology, Chinese Academy of Sciences, China
ES 1	Zu, Yuangang	Northeast Forestry University, China

第 54 回日本生態学会大会(2007 年 3 月松山)のご案内

来年度の第 54 回日本生態学会大会は、四国松山の地で開催されることとなりました。数十年ぶりの当地での開催となる今回の大会ですが、以前とは異なり参加者総数 2000 名を超える勢いでその規模も格段と大きくなり、その発展は喜ばしい限りです。一方で、皆さんをお迎えする愛媛大学を中心とした松山の生態学会員の集まりはこじんまりとしたものです。皆様にご不自由やご迷惑をおかけしないようにと、今から身の引き締まる思いです。何かと行き届かない面もあるかとは思いますが、どうか奮ってご参加ください。

坊ちゃん列車も走るのんびりとした温泉都市松山ですが、日ごろの喧騒からのがれて、ゆっくりと湯につかりながら、また、瀬戸の小魚でも嗜みながら、学問の世界に浸っていただければ幸いです。

それでは大会実行委員会一同、皆様の御来松を心よりお待ちしております。

大会会長 柳沢 康信

大会日程：2007 年 3 月 19 日(月)から 23 日まで

会場：愛媛大学共通教育講義棟、法文学部講義棟、総合情報メディアセンター
〒790-0826 松山市文京町 1 - 3

問い合わせ連絡先：大森 浩二

Tel:089-927-9643; Fax: 089-927-9630

(ohmori@sci.ehime-u.ac.jp)

愛媛大学沿岸環境科学研究センター

〒790-0826 松山市文京町 2 - 5